

## 6 . 地 域 の 概 要

## 6. 地域の概況

### 6.1 自然的状況

#### 6.1.1 大気環境

##### (1) 気象

計画地最寄りの気象観測所として、仙台管区気象台(仙台市宮城野区五輪 1-3-15 仙台第 3 合同庁舎)がある。仙台管区気象台の位置を図 6.1-1に示す。

仙台管区気象台における平成 14 年～平成 23 年の 10 年間の気象の概況及び、平成 23 年の気象の概況は、表 6.1-1～表 6.1-2に示すとおりである。

##### ア．気温の状況

平成 14 年～平成 23 年の 10 年間の平均気温は 12.7℃，最高気温の平均値は 23.8℃，最低気温の平均値は 4.6℃である。

平成 23 年の平均気温は 12.9℃，最高気温の平均値は 24.5℃，最低気温の平均値は 4.5℃である。

##### イ．降水量の状況

平成 14 年～平成 23 年の 10 年間の平均年間降水量は 1,303mm である。平成 23 年の年間降水量は 1,214mm と過去 10 年間の平均値に対して約 7%少ない。

##### ウ．風向・風速の状況

平成 14 年～平成 23 年の 10 年間の年間平均風速は 3.1m/秒，風向は南東が卓越している。

平成 23 年の年間平均風速は 3.2m/秒，風向は年間を通して南東が卓越しており，月別では 5 月～9 月までが南東，他の月は西北西または北北西の風が卓越している。

表 6.1-1 気象の概況(仙台管区気象台：平成 14 年～平成 23 年)

月	項目	気温 ( )			降水量 ( mm )	日照時間 ( 時間 )	平均風速 ( m/秒 )	最多風向
		平均	最高	最低				
1 月		2.0	11.8	-4.6	49.3	150.4	3.6	西北西
2 月		2.6	13.4	-4.6	34.4	152.0	3.5	北北西
3 月		5.2	17.8	-2.9	58.6	179.3	3.8	西北西
4 月		10.4	23.9	1.3	91.5	187.3	3.6	南東
5 月		15.0	26.4	6.3	122.7	174.0	3.1	南東
6 月		19.4	30.9	11.2	129.2	151.1	2.7	南東
7 月		22.5	32.5	16.1	210.2	114.2	2.5	南東
8 月		24.3	34.4	17.2	144.5	139.1	2.5	南東
9 月		21.1	31.7	12.2	146.1	127.7	2.7	北北西
10 月		15.6	25.7	5.7	163.8	144.7	2.9	北北西
11 月		9.8	20.9	0.4	80.7	140.0	3.1	北北西
12 月		4.6	15.9	-2.9	72.9	130.1	3.4	北北西
年間		12.7	23.8	4.6	1,303	1,790	3.1	南東

出典：「気象観測(電子閲覧室)」<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>(平成 24 年 1 月閲覧)

1：年間における各項目は以下のとおり。

気温：月平均気温，月平均最高(低)気温の 10 年間における平均値

降水量：月合計降水量の年間における合計値 日照時間：月合計日照時間の年間合計値

平均風速：月平均風速の年間における平均値 最多風向：月最多風向の年間における最多風向

表 6.1-2 気象の概況(平成 23 年)

月	項目	気温 ( )			降水量 ( mm )	日照時間 ( 時間 )	平均風速 ( m/秒 )	最多風速
		平均	最高	最低				
1 月		0.5	9.1	-7	8.5	158.8	3.6	西北西
2 月		3.2	14	-2.6	52.0	175.3	3.4	北北西
3 月		3.8	19.6	-4.1	43.5	179.7	3.5	西北西
4 月		10.0	21.3	-0.9	55.0	212.1	3.7	西北西
5 月		15.6	27.5	7.7	222.5	191.5	3.6	南東
6 月		20.6	34.4	9.2	135.0	184.0	2.8	南東
7 月		24.8	34.6	16.1	96.5	159.2	2.5	南東
8 月		24.9	35.4	17.2	51.0	130.4	2.4	南東
9 月		22.1	32.9	12.6	362.5	136.4	3.3	南東
10 月		15.9	27.2	7.1	107.0	171.2	3.1	北北西
11 月		10.5	22.6	1.5	35.0	141.0	2.8	北北西
12 月		3.4	15.2	-2.9	45.5	150.5	3.4	西北西
年間		12.9	24.5	4.5	1,214	1,990	3.2	南東

出典：「気象観測(電子閲覧室)」<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>(平成 24 年 1 月閲覧)

1：年間における各項目は以下のとおり。

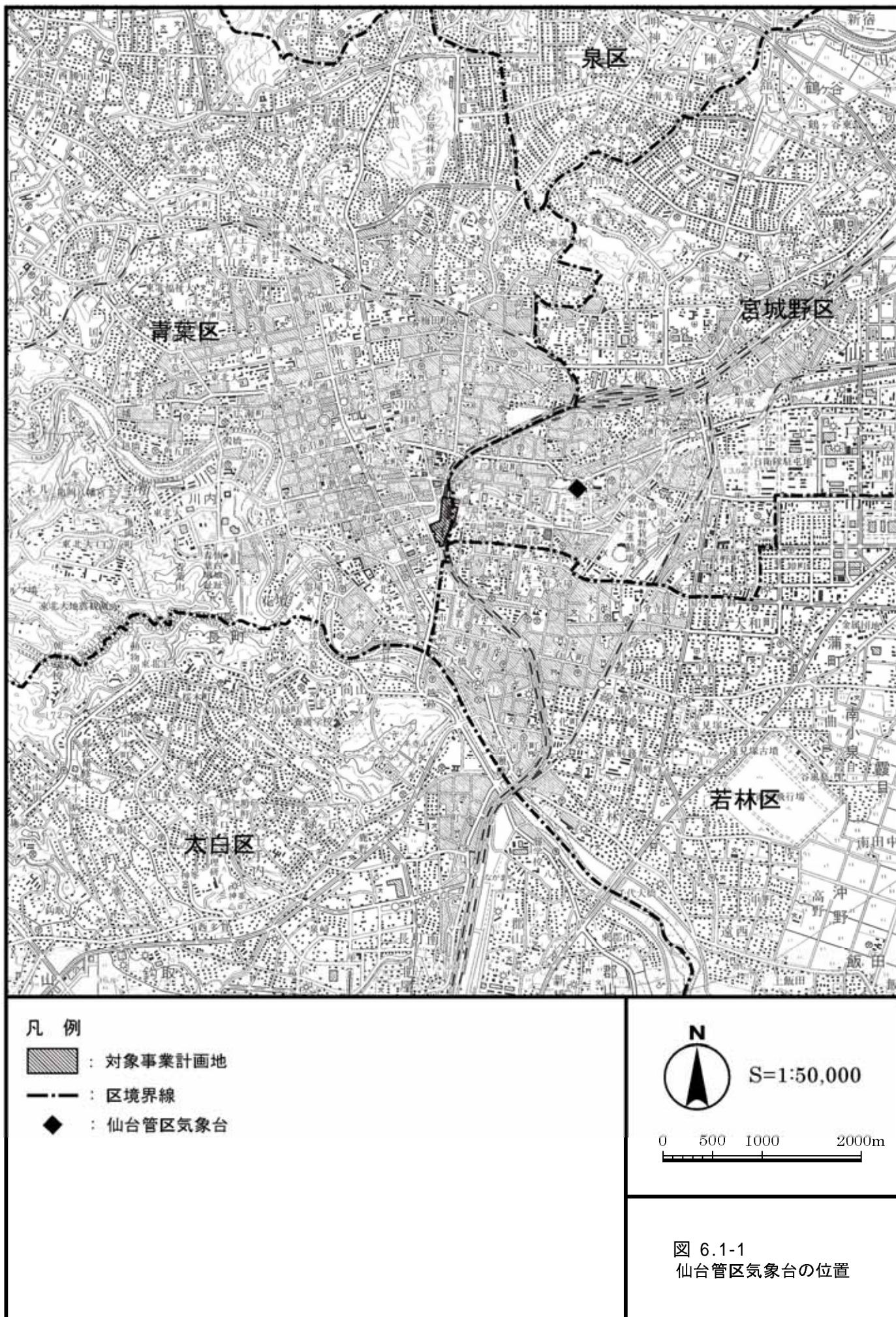
気温：平均気温は平均気温の月平均値，最高(低)気温は，日最高(低)気温の最大(低)値

降水量：月合計降水量

最多風向：月最多風向

平均風速：月平均値

日照時間：月合計日照





## (2) 大気質

### ア．大気汚染の状況

調査範囲内には大気汚染常時監視測定局として、一般環境大気測定局が4局(鶴谷、榴岡、長町、中山)、自動車排出ガス測定局が4局(五橋、苦竹、木町、台原)が設置されており、各測定局の測定項目等は、表 6.1-3～表 6.1-4に示すとおりである。

また、常時監視測定局以外に、二酸化窒素の簡易測定が調査範囲内の12地点で行われている。常時監視測定局及び簡易測定地点の位置は、図 6.1-2に示すとおりである。なお、簡易測定地点での調査は平成20年度以降には実施されていない。

表 6.1-3 大気汚染常時監視測定局測定項目

測定局種別	地点 No.	測定局名	二酸化 いおう	二酸化 窒素	光化学 オキシ ダント	浮遊粒子 状物質	一酸化 炭素	非メタン 炭化水素
一般環境大気	1	鶴谷						
	2	榴岡						
	3	長町						
	4	中山						
自動車排出ガス	1	五橋						
	2	苦竹						
	3	木町						
	4	台原		( )		( )	( )	

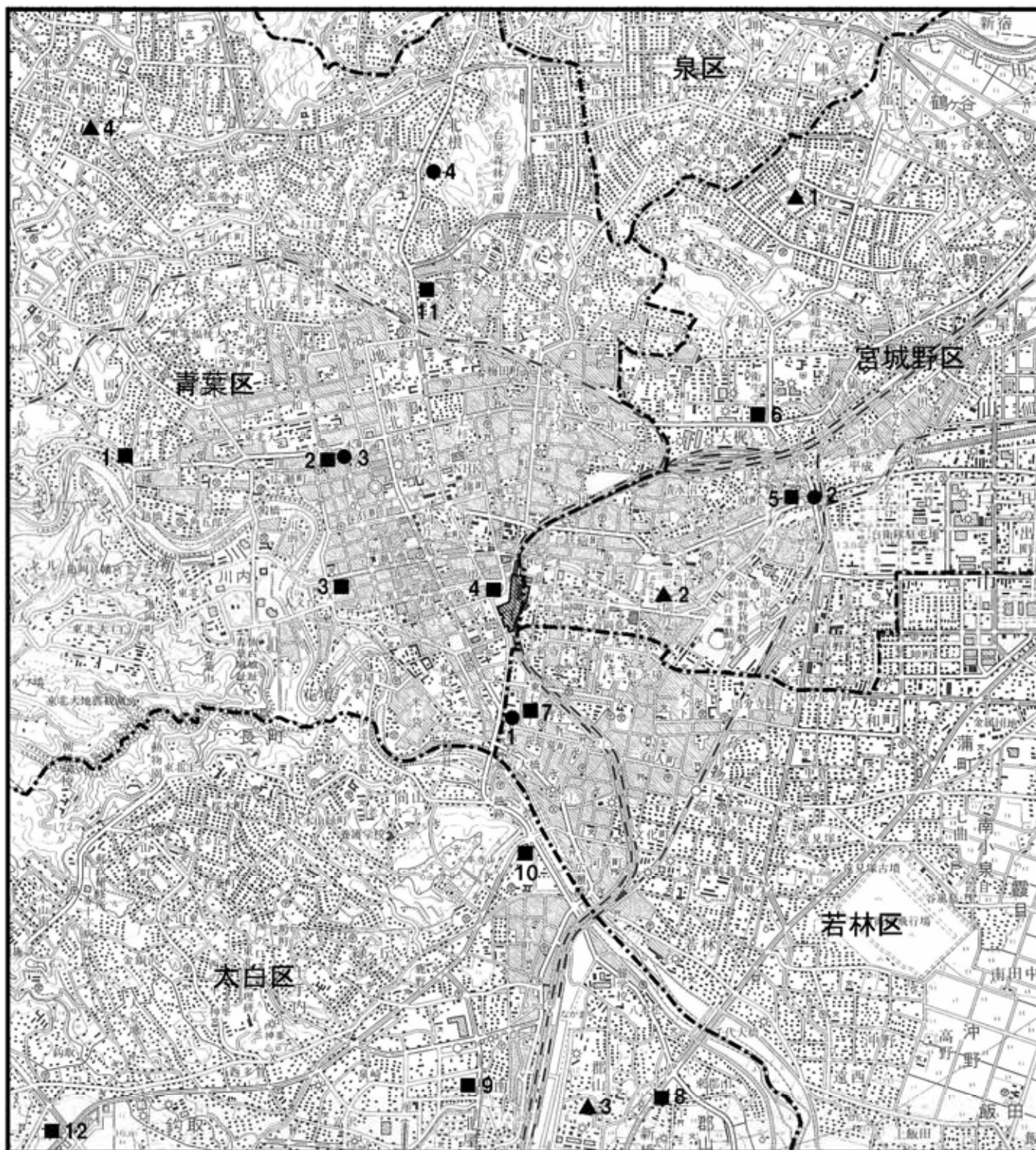
：台原測定局は、平成20年度に廃止され、測定時間が環境基準の評価対象となる年間6,000時間に満たなかったため、( )書きとした。

出典：「公害関係資料集」(平成21年版及び平成23年版 仙台市環境局)

表 6.1-4 簡易測定地点及び測定項目

地点 No.	測定局名	用途地域	二酸化窒素 (サンプラー法)	
			平成18年度	平成19年度
1	八幡五丁目	第一種住居地域		
2	木町局	商業地域		
3	大町二丁目	商業地域		
4	中央一丁目	商業地域		
5	苦竹	商業地域		
6	幸町五丁目	工業地域		
7	五橋局	商業地域		
8	郡山北目	準工業地域		
9	長町南三丁目	第二種住居地域		
10	根岸町	第二種住居地域		
11	台原局	近隣商業地域		
12	山田岩崎	市街化調整区域		

出典：「公害関係資料集」(平成19年版及び平成20年版 仙台市環境局)



#### 凡 例

■ : 対象事業計画地

--- : 区境界線

▲ : 一般環境大気測定局(1~4)

● : 自動車排出ガス測定局(1~4)

■ : 簡易測定地点(1~12)

出典:「公害関係資料集」(平成20年版 仙台市環境局)  
「公害関係資料集」(平成19年版 仙台市環境局)  
「公害関係資料集」(平成18年版 仙台市環境局)



S=1:50,000

0 500 1000 2000m

図 6.1-2  
大気測定局の位置

## 二酸化いおう(SO<sub>2</sub>)

平成 22 年度における二酸化いおう測定結果は表 6.1-5 ,平成 18 年度～平成 22 年度までの 5 年間に  
 における年平均値及び 2%除外値の経年変化は表 6.1-6に示すとおりである。

平成 22 年度における一般環境大気測定局の榴岡測定局,中山測定局,自動車排出ガス測定局の  
 苦竹測定局の 1 時間値の最高値はそれぞれ 0.022ppm ,0.009ppm ,0.014ppm ,日平均値の 2%除  
 外値は 0.002ppm ,0.002ppm ,0.003ppm であり,短期的評価及び長期的評価とも環境基準を達  
 成している。

また,経年変化は,いずれの測定局でも横ばい傾向を示している。

表 6.1-5 二酸化いおう測定結果(平成 22 年度)

種別	測定局	用途地域	有効測定日数	測定時間	年平均値	短期的評価					長期的評価		
						1 時間値が 0.1ppm を超えた時間数とその割合		日平均値が 0.04ppm を超えた日とその割合		1 時間値の最高値	日平均値の 2% 除外値	日平均値が 0.04ppm を超えた日が 2 日以上連続したことの有無	環境基準の長期的評価による日平均値が 0.04ppm を超えた日数
			日	時間	ppm	時間	%	時間	%	ppm	ppm	有×・無○	日
一般環境	榴岡	商	353	8492	0.001	0	0.0	0	0.0	0.022	0.002		0
	中山	住	269	6445	0.001	0	0.0	0	0.0	0.009	0.002		0
自排	苦竹	商	355	8504	0.001	0	0.0	0	0.0	0.014	0.003		0

環境基準：1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり,かつ,1 時間値が 0.1ppm 以下であること。

出典：「公害関係資料集」(平成 23 年版 仙台市環境局)

表 6.1-6 二酸化いおう経年変化(平成 18 年度～平成 22 年度)

単位：ppm

種別	測定局	年度		18	19	20	21	22
		項目						
一般環境	榴岡	年平均値		0.000	0.000	0.001	0.001	0.001
		日平均値の 2%除外値		0.002	0.002	0.002	0.002	0.002
	中山	年平均値		0.001	0.001	0.000	0.001	0.001
		日平均値の 2%除外値		0.002	0.003	0.002	0.002	0.002
自排	苦竹	年平均値		0.002	0.001	0.001	0.001	0.001
		日平均値の 2%除外値		0.005	0.004	0.003	0.003	0.003

環境基準：1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり,かつ,1 時間値が 0.1ppm 以下であること。

出典：「公害関係資料集」(平成 23 年版 仙台市環境局)

## 二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)

平成 22 年度における二酸化窒素測定結果は、表 6.1-7、平成 18 年度～平成 22 年度までの 5 年間に  
おける年平均値及び年間 98% 値の経年変化は表 6.1-8 に示すとおりである。

日平均値が 0.04ppm を超えた日は、自動車排出ガス測定局の苦竹測定局で 3 日、同じく自動車  
排出ガス測定局の五橋測定局で 1 日観測されたが、その他の測定局においては観測されていない。  
日平均値の年間 98% 値は、0.019～0.036ppm であり、全測定局で環境基準の長期的評価は達成し  
ている。

また、経年変化は、各測定局の年平均値、日平均値の年間 98% 値はいずれも低減傾向である。

表 6.1-7 二酸化窒素測定結果(平成 22 年度)

種別	測定局	用途地域	有効測定日数	測定時間	年平均値	1 時間値の最大値	1 時間値が 0.2ppm を超えた時間数とその割合		1 時間値が 0.1ppm 以上 0.2ppm 以下の時間数とその割合		日平均値が 0.06ppm を超えた日とその割合		日平均値が 0.04ppm を超えた日とその割合		日平均値の年間 98% 値	98% 値評価による日平均値が 0.06ppm を超えた日数
			日	時間	ppm	ppm	時間	%	時間	%	日	%	日	%	ppm	日
一般環境	鶴谷	住	355	8517	0.010	0.054	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.021	0
	榴岡	商	356	8554	0.011	0.055	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.024	0
	長町	住	357	8565	0.011	0.057	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.023	0
	中山	住	267	6437	0.008	0.049	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.019	0
自排	五橋	商	332	7986	0.019	0.061	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.3	0.034	0
	苦竹	商	356	8542	0.021	0.067	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	0.8	0.036	0
	木町	商	359	8586	0.019	0.066	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.031	0

環境基準：1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内またはそれ以下であること。

出典：「公害関係資料集」(平成 23 年版 仙台市環境局)

表 6.1-8 二酸化窒素経年変化(平成 18 年度～平成 22 年度)

単位：ppm

種別	測定局	年度		18	19	20	21	22
		項目						
一般環境	鶴谷	年平均値		0.012	0.013	0.011	0.011	0.010
		日平均値の年間 98% 値		0.030	0.029	0.025	0.024	0.021
	榴岡	年平均値		0.015	0.015	0.013	0.013	0.011
		日平均値の年間 98% 値		0.029	0.030	0.030	0.028	0.024
	長町	年平均値		0.013	0.014	0.012	0.012	0.011
		日平均値の年間 98% 値		0.027	0.028	0.024	0.025	0.023
	中山	年平均値		0.011	0.010	0.009	0.008	0.008
		日平均値の年間 98% 値		0.022	0.021	0.020	0.019	0.019
自動車排ガス	五橋	年平均値		0.023	0.023	0.021	0.020	0.019
		日平均値の年間 98% 値		0.037	0.036	0.035	0.035	0.034
	苦竹	年平均値		0.032	0.026	0.022	0.022	0.021
		日平均値の年間 98% 値		0.045	0.042	0.037	0.042	0.036
	木町	年平均値		0.022	0.022	0.019	0.019	0.019
		日平均値の年間 98% 値		0.034	0.035	0.031	0.032	0.031

環境基準：1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内またはそれ以下であること。

出典：「公害関係資料集」(平成 23 年版 仙台市環境局)



### 光化学オキシダント(Ox)

平成 22 年度における光化学オキシダント測定結果は表 6.1-9,平成 18 年度～平成 22 年度までの 5 年間における 1 時間値が 0.06ppm を超えた日数及び時間数の経年変化は表 6.1-10に示すとおりである。

鶴谷測定局, 榴岡測定局, 長町測定局, 中山測定局では, 昼間の 1 時間値が 0.06ppm を超えた時間がそれぞれ 203 時間 (39 日), 130 時間 (25 日), 223 時間 (53 日), 318 時間 (57 日) 発生し, 昼間の 1 時間値の最高値は鶴谷測定局で 0.105ppm, 榴岡測定局で 0.094ppm, 長町測定局で 0.095ppm, 中山測定局で 0.090ppm と, 全測定局で環境基準 (0.06ppm) を超えている。

また, 経年変化は, 1 時間値が 0.06ppm を超えた日数及び時間数が, いずれの測定局でも平成 19 年度あるいは平成 20 年度で最大となった。平成 21 年度以降の時間数は減少傾向がみられる。

表 6.1-9 光化学オキシダント測定結果(平成 22 年度)

種別	測定局	用途地域	昼間測定日数	昼間測定時間	昼間 1 時間値の年平均値	1 時間値が 0.06ppm を超えた時間数とその割合		1 時間値が 0.12ppm を超えた時間数とその割合		昼間の 1 時間値の最高値	昼間の 1 時間値の日最高 1 時間値の年平均値
			日	時間	ppm	日	時間	日	時間	ppm	ppm
一般環境	鶴谷	住	362	5353	0.032	39	203	0	0	0.105	0.044
	榴岡	商	364	5363	0.031	25	130	0	0	0.094	0.042
	長町	住	364	5373	0.034	53	223	0	0	0.095	0.047
	中山	住	278	4058	0.037	57	318	0	0	0.090	0.049

：昼間とは 5 時から 20 時までの時間帯をいう。

環境基準：1 時間値が 0.06ppm 以下であること。

出典：「公害関係資料集」(平成 23 年版 仙台市環境局)

表 6.1-10 光化学オキシダント経年変化(平成 18 年度～平成 22 年度)

種別	測定局	年度		18	19	20	21	22
		項目						
一般環境	鶴谷	1 時間値が 0.06ppm を超えた	日数(日)	9	59	56	36	39
			時間数(時間)	31	313	339	254	203
	榴岡	1 時間値が 0.06ppm を超えた	日数(日)	37	64	45	39	25
			時間数(時間)	168	288	280	255	130
	長町	1 時間値が 0.06ppm を超えた	日数(日)	46	65	62	45	53
			時間数(時間)	196	319	347	316	223
	中山	1 時間値が 0.06ppm を超えた	日数(日)	38	76	64	46	57
			時間数(時間)	162	395	408	314	318

環境基準：1 時間値が 0.06ppm 以下であること。

出典：「公害関係資料集」(平成 23 年版 仙台市環境局)

# 浮遊粒子状物質(SPM)

平成 22 年度における浮遊粒子状物質測定結果は表 6.1-11 ,平成 18 年度～平成 22 年度までの 5 年間における年平均値及び 2%除外値の経年変化は表 6.1-12に示すとおりである。

環境基準の長期的評価・短期的評価については、ともに全ての測定局で達成している。

また、経年変化について、年平均値・日平均値の 2%除外値とともに横ばいまたはやや低減傾向にある。

表 6.1-11 浮遊粒子状物質測定結果(平成 22 年度)

種別	測定局	用途地域	有効測定日数	測定時間	年平均値	短期的評価					長期的評価		
						1 時間値が 0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数とその割合		日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日とその割合		1 時間値の最高値	日平均値の 2% 除外値	日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日が 2 日以上連続したことの有無	環境基準の長期的評価による日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数
						時間	%	時間	%	mg/m <sup>3</sup>	mg/m <sup>3</sup>	有×・無	日
一般環境	鶴谷	住	357	8574	0.019	0	0.0	0	0.0	0.126	0.048		0
	榴岡	商	360	8648	0.018	0	0.0	0	0.0	0.194	0.058		0
	長町	住	361	8651	0.017	0	0.0	0	0.0	0.133	0.043		0
	中山	住	263	6459	0.013	0	0.0	0	0.0	0.063	0.043		0
自排	五橋	商	358	8614	0.020	0	0.0	0	0.0	0.132	0.051		0
	苦竹	商	353	8555	0.014	0	0.0	0	0.0	0.097	0.039		0
	木町	商	359	8638	0.018	0	0.0	0	0.0	0.182	0.044		0

環境基準：1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m<sup>3</sup>以下であり、かつ、1 時間値が 0.20mg/m<sup>3</sup>以下であること。

出典：「公害関係資料集」(平成 23 年版 仙台市環境局)

表 6.1-12 浮遊粒子状物質経年変化(平成 18 年度～平成 22 年度)

単位：mg/m<sup>3</sup>

種別	測定局	年度		18	19	20	21	22
		項目						
一般環境	鶴谷	年平均値		0.013	0.013	0.017	0.016	0.019
		日平均値の 2%除外値		0.041	0.039	0.045	0.040	0.048
	榴岡	年平均値		0.020	0.021	0.020	0.016	0.018
		日平均値の 2%除外値		0.048	0.062	0.059	0.047	0.058
	長町	年平均値		0.016	0.016	0.018	0.017	0.017
		日平均値の 2%除外値		0.043	0.041	0.045	0.042	0.043
	中山	年平均値		0.014	0.020	0.019	0.010	0.013
		日平均値の 2%除外値		0.039	0.056	0.058	0.037	0.043
自動車排ガス	五橋	年平均値		0.029	0.029	0.028	0.024	0.020
		日平均値の 2%除外値		0.052	0.062	0.064	0.052	0.051
	苦竹	年平均値		0.022	0.017	0.018	0.014	0.014
		日平均値の 2%除外値		0.047	0.040	0.047	0.041	0.039
	木町	年平均値		0.020	0.019	0.018	0.018	0.018
		日平均値の 2%除外値		0.051	0.050	0.051	0.041	0.044

環境基準：1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m<sup>3</sup>以下であり、かつ、1 時間値が 0.20mg/m<sup>3</sup>以下であること。

出典：「公害関係資料集」(平成 23 年版 仙台市環境局)

# 一酸化炭素(CO)

平成 20 年度における一酸化炭素測定結果は、表 6.1-13、平成 16 年度～平成 20 年度までの 5 年間における年平均値及び 2%除外値の経年変化は表 6.1-14に示すとおりである。

仙台市内の自動車排出ガス測定局において、一酸化炭素を測定している局は、平成 15 年度以降では台原測定局と将監測定局、平成 21 年度から北根測定局があり、将監測定局と北根測定局は調査範囲にはない。

台原測定局は、平成 20 年度に廃止され、測定時間が環境基準の評価対象となる年間 6,000 時間に満たなかったが、1 時間値の最高値は 3.1ppm、日平均値の 2%除外値は 0.9ppm であり、環境基準の短期的評価及び長期的評価とも達成している。

また、経年変化は低減傾向がみられる。

表 6.1-13 一酸化炭素測定結果(平成 20 年度)

種別	測定局	用途地域	有効測定日数	測定時間	年平均値	短期的評価						長期的評価			
						8 時間値が 20ppm を超えた回数とその割合		日平均値が 10ppm を超えた日数とその割合		1 時間値が 30ppm 以上となったことのある日とその割合		1 時間値の最高値	日平均値の年間 2% 除外値	日平均値が 10ppm を超えた日が 2 日以上連続したことの有無	環境基準の長期的評価による日平均値が 10ppm を超えた日数
						回	%	日	%	日	%				
自排	台原	近商	225	5537	(0.6)	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(3.1)	(0.9)	( )	(0)

環境基準：1 時間値の 1 日平均値が 10ppm 以下であり、かつ、1 時間値の 8 時間平均値が 20ppm 以下であること。

出典：「公害関係資料集」(平成 21 年版 仙台市環境局)

表 6.1-14 一酸化炭素経年変化(平成 16 年度～平成 20 年度)

単位：ppm

種別	測定局	年度	16	17	18	19	20
		項目					
自排	台原	年平均値	1.0	0.9	0.8	0.7	( 0.6 )
		日平均値の 2%除外値	1.7	1.8	1.6	1.4	( 0.9 )

環境基準：1 時間値の 1 日平均値が 10ppm 以下であり、かつ、1 時間値の 8 時間平均値が 20ppm 以下であること。

( ) 内は有効測定時間未満の測定値。

出典：「公害関係資料集」(平成 21 年版 仙台市環境局)

# 非メタン炭化水素(NMHC)

平成 22 年度における非メタン炭化水素測定結果は表 6.1-15，平成 18 年度～平成 22 年度までの 5 年間ににおける年平均値及び 6～9 時の年平均値の経年変化は表 6.1-16に示すとおりである。

非メタン炭化水素には環境基準が設定されていないが，光化学オキシダントの生成防止のための「大気中炭化水素濃度指針」(昭和 51 年 8 月 17 日 環大企 220 号)として「6～9 時の 3 時間平均値が 0.20～0.31ppmC の範囲にあること」と示されている。

榴岡測定局、五橋測定局では、6～9 時の 3 時間平均値が 0.30ppmC を超えた日がそれぞれ 5 日，11 日発生している。また，経年変化は，各測定局とも低減傾向がみられる。

表 6.1-15 非メタン炭化水素測定結果(平成 22 年度)

種別	測定局	用途地域	測定時間	年平均値	6～9 時における年平均値	6～9 時測定日数	6～9 時の 3 時間平均値		6～9 時の 3 時間平均値が 0.20ppmC を超えた日数とその割合		6～9 時の 3 時間平均値が 0.30ppmC を超えた日数とその割合	
			日	ppmC	ppmC	日	最高値	最低値	日	%	日	%
							ppmC	ppmC				
一般環境	榴岡	商	7828	0.07	0.08	341	0.41	0.00	18	5.3	5	1.5
自排	五橋	商	8120	0.19	0.19	355	0.45	0.06	142	40.0	11	3.1

出典：「公害関係資料集」(平成 23 年版 仙台市環境局)

表 6.1-16 非メタン炭化水素経年変化(平成 18 年度～平成 22 年度)

単位：ppmC

種別	測定局	年度		18	19	20	21	22
		項目						
一般環境	榴岡	年平均値		0.10	0.07	0.08	0.07	0.07
		6～9 時における年平均値		0.11	0.09	0.09	0.08	0.08
自排	五橋	年平均値		0.22	0.21	0.18	0.19	0.19
		6～9 時における年平均値		0.22	0.20	0.18	0.19	0.19

出典：「公害関係資料集」(平成 23 年版 仙台市環境局)



# 簡易測定結果(二酸化窒素)

平成 18 年度及び平成 19 年度における二酸化窒素の簡易測定結果は表 6.1-17に示すとおりである。なお、平成 20 年度以降には二酸化窒素の簡易測定は実施されていない。

二酸化窒素は 0.017～0.033ppm であり、住居系地域では 0.020ppm～0.022ppm、商業地域では 0.021ppm～0.033ppm、工業地域では 0.020ppm～0.027ppm、市街化調整区域では 0.017ppm であり、全ての地域で環境基準を達成している。

表 6.1-17 簡易測定結果(平成 18 年度・平成 19 年度)

地点 No.	測定地点名	用途地域	二酸化窒素 年平均値(ppm)	
			平成 18 年度	平成 19 年度
1	八幡五丁目	第一種住居地域	0.021	0.022
2	木町局	商業地域	0.021	-
3	大町二丁目	商業地域	0.022	0.022
4	中央一丁目	商業地域	0.033	0.033
5	苦竹	商業地域	0.028	-
6	幸町五丁目	工業地域	0.020	-
7	五橋局	商業地域	0.022	-
8	郡山北目	準工業地域	0.027	0.025
9	長町南三丁目	第二種住居地域	0.021	-
10	根岸町	第二種住居地域	0.020	-
11	台原局	近隣商業地域	0.024	
12	山田岩崎	市街化調整区域	0.017	

環境基準:1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内またはそれ以下であること。

出典:「公害関係資料集」(平成 19 年・平成 20 年版 仙台市環境局)

### 降下ばいじん量の状況

平成 13 年度における降下ばいじん量の測定結果は表 6.1-18, 及び図 6.1-3 に, 平成 9 年度～平成 13 年度までの 5 年間における経年変化は表 6.1-19 に示すとおりである。調査地点は図 6.1-4 に示すとおりである。

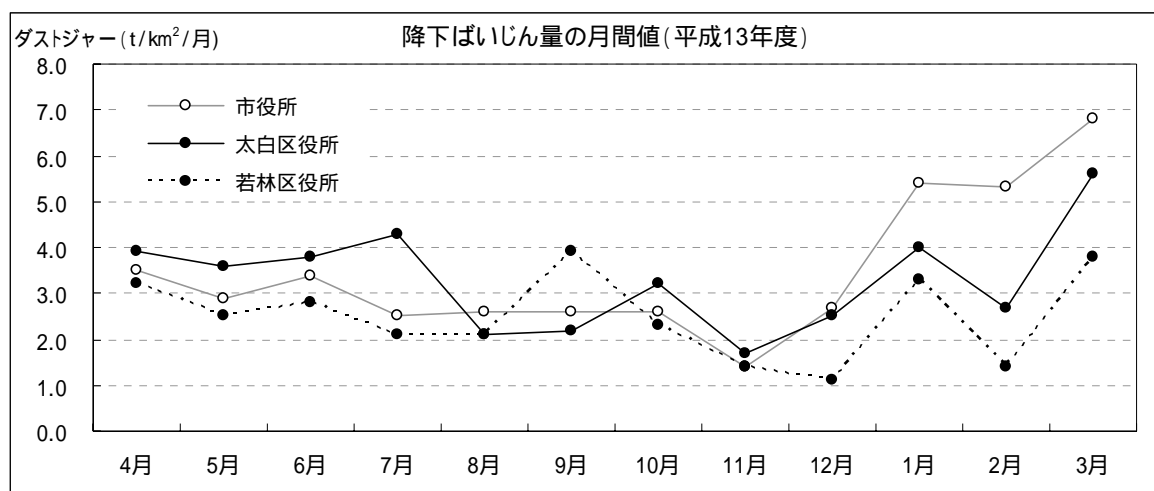
降下ばいじん量は, 冬季では高く, その他の季節では低い傾向を示しており, 経年変化は, 市役所, 太白区役所, 若林区役所, 中央, 中原, 榴岡では増加傾向, 木町では低減傾向がみられる。なお, 平成 13 年度以降は調査が実施されていない。

表 6.1-18 降下ばいじん量の月間値 (平成 13 年度)

単位: t/km<sup>2</sup>/月

地点 No.	測定地点名	降下ばいじん量の月間値 (平成 13 年度)											
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1	市役所	3.5	2.9	3.4	2.5	2.6	2.6	2.6	1.4	2.7	5.4	5.3	6.8
2	太白区役所	3.9	3.6	3.8	4.3	2.1	2.2	3.2	1.7	2.5	4.0	2.7	5.6
3	若林区役所	3.2	2.5	2.8	2.1	2.1	3.9	2.3	1.4	1.1	3.3	1.4	3.8

出典: 「公害関係資料集」(平成 14 年版 仙台市環境局)



出典: 「公害関係資料集」(平成 14 年版 仙台市環境局)

図 6.1-3 降下ばいじん量の月間値(平成 13 年度)

表 6.1-19 降下ばいじん量の経年推移 (平成 9 年度～13 年度)

単位: t/km<sup>2</sup>/月

地点 No.	測定地点名	降下ばいじん量の経年推移 (平成 9 年度～13 年度)				
		9	10	11	12	13
1	市役所	2.2	1.9	2.1	3.0	3.5
2	太白区役所	2.3	3.1	2.4	3.1	3.3
3	若林区役所	2.2	2.3	2.2	3.3	2.5
4	中央	3.8	3.3	3.0	4.1	-
5	中原	2.4	2.7	1.9	2.6	-
6	榴岡	2.3	2.3	2.8	3.4	-
7	木町	7.0	6.5	5.6	5.7	-

出典: 「公害関係資料集」(平成 14 年版 仙台市環境局)



## アスベスト

平成 18 年度～平成 22 年度におけるアスベストの経年変化は表 6.1-20に示すとおりである。

経年変化は、いずれに地点においても期間中の増減があるものの、平成 22 年度の測定結果は、平成 18 年度から低減傾向にある。

表 6.1-20 アスベストの経年推移（平成 18 年度～22 年度）

単位：本/L

地点 No.	測定地点名	アスベストの経年推移（平成 18 年度～22 年度）				
		18	19	20	21	22
1	榴岡測定局	0.26	0.34	0.20	0.33	0.17
2	榴岡レストハウス	0.27	0.29	0.22	0.23	0.16
3	若林区役所	0.41	0.23	0.15	0.24	0.20
4	中野測定局	0.38	0.36	0.32	0.19	0.21
5	仙台市役所	0.40	0.29	0.19	0.18	0.22
6	五橋測定局	0.43	0.28	0.22	0.18	0.23
7	仙台市体育館	0.39	0.22	0.21	0.22	0.16

表中の数値は幾何平均値である。

出典：「公害関係資料集」(平成 23 年版 仙台市環境局)

## 大気質に係る苦情の状況

仙台市における過去 5 年間の大気質に係る苦情件数の推移は、表 6.1-21に示すとおりである。

ばい煙の苦情件数は 5～10 件／年で推移しており、平成 22 年度は 8 件である。粉じんの苦情件数について、平成 19 年度は 24 件と一時的に増加したが、他の年は 5～8 件／年であり、平成 22 年度は 6 件である。

表 6.1-21 大気質に係る苦情件数の経年変化(平成 18 年度～平成 22 年度)

単位：件

項目 \ 年度	18	19	20	21	22
ばい煙	9	10	5	7	8
粉じん	8	24	5	8	6

出典：「公害関係資料集」(平成 23 年版 仙台市環境局)



# 発生源の状況

「公害関係資料集」(平成 21 年版 仙台市環境局)によると、平成 20 年度の仙台市における大気汚染防止法に基づくばい煙発生施設届出件数は 1,656 施設、事業場は 757 事業場であり、粉じん発生施設数は 71 施設、事業場数は 10 事業場であった。

平成 19 年度に対して、ばい煙発生施設数及び事業場数、粉じん発生施設数及び事業場数は減少している。

図 5.2-1 に示す関係地域範囲内における大気汚染防止法に基づくばい煙発生施設届出件数は、表 6.1-22 及び図 6.1-5 に示すとおり、ＪＲ東日本仙台駅をはじめ、仙台市の中心市街地であることを反映してオフィスビル、商業ビル、ホテル、学校施設など 219 事業場ある。また、粉じん発生施設届出件数は、表 6.1-23 及び図 6.1-6 に示すとおり、青葉区小田原八丁目及び若林区三百人町にある製綿施設が 2 事業場ある（いずれも平成 22 年 3 月 31 日現在、仙台市環境局への公文書開示請求による）。

表 6.1-22 大気汚染防止法(ばい煙)に基づく発生施設数

区名	発生施設所在地	事業場数	区名	発生施設所在地	事業場数
青葉区	一番町 1 丁目	10	青葉区	錦町 1 丁目	3
	一番町 2 丁目	15		錦町 2 丁目	1
	一番町 3 丁目	7		二日町	4
	一番町 4 丁目	10		本町 1 丁目	11
	五橋 1 丁目	7		本町 2 丁目	18
	五橋 2 丁目	1		本町 3 丁目	3
	大手町	1	宮城野区	小田原 1 丁目	3
	大町 1 丁目	1		小田原弓ノ町	1
	大町 2 丁目	5		五輪 1 丁目	4
	小田原 4 丁目	1		清水沼 1 丁目	1
	花京院 1 丁目	6		榴ヶ岡	1
	春日町	1		榴岡 1 丁目	5
	片平 1 丁目	3		榴岡 2 丁目	1
	片平 2 丁目	4		榴岡 3 丁目	2
	上杉 1 丁目	8		榴岡 4 丁目	5
	上杉 3 丁目	1		榴岡 5 丁目	3
	北目町	3	若林区	鉄砲町	1
	国分町 1 丁目	1		荒町	1
	国分町 2 丁目	3		五橋 3 丁目	2
	国分町 3 丁目	4		清水小路	2
	米ヶ袋 3 丁目	2		新寺 1 丁目	3
	立町	3		新寺 2 丁目	1
	中央 1 丁目	10		土樋	1
	中央 2 丁目	14		元茶畑	1
	中央 3 丁目	6		連坊 1 丁目	1
	中央 4 丁目	11		連坊 2 丁目	1
	土樋 1 丁目	1			

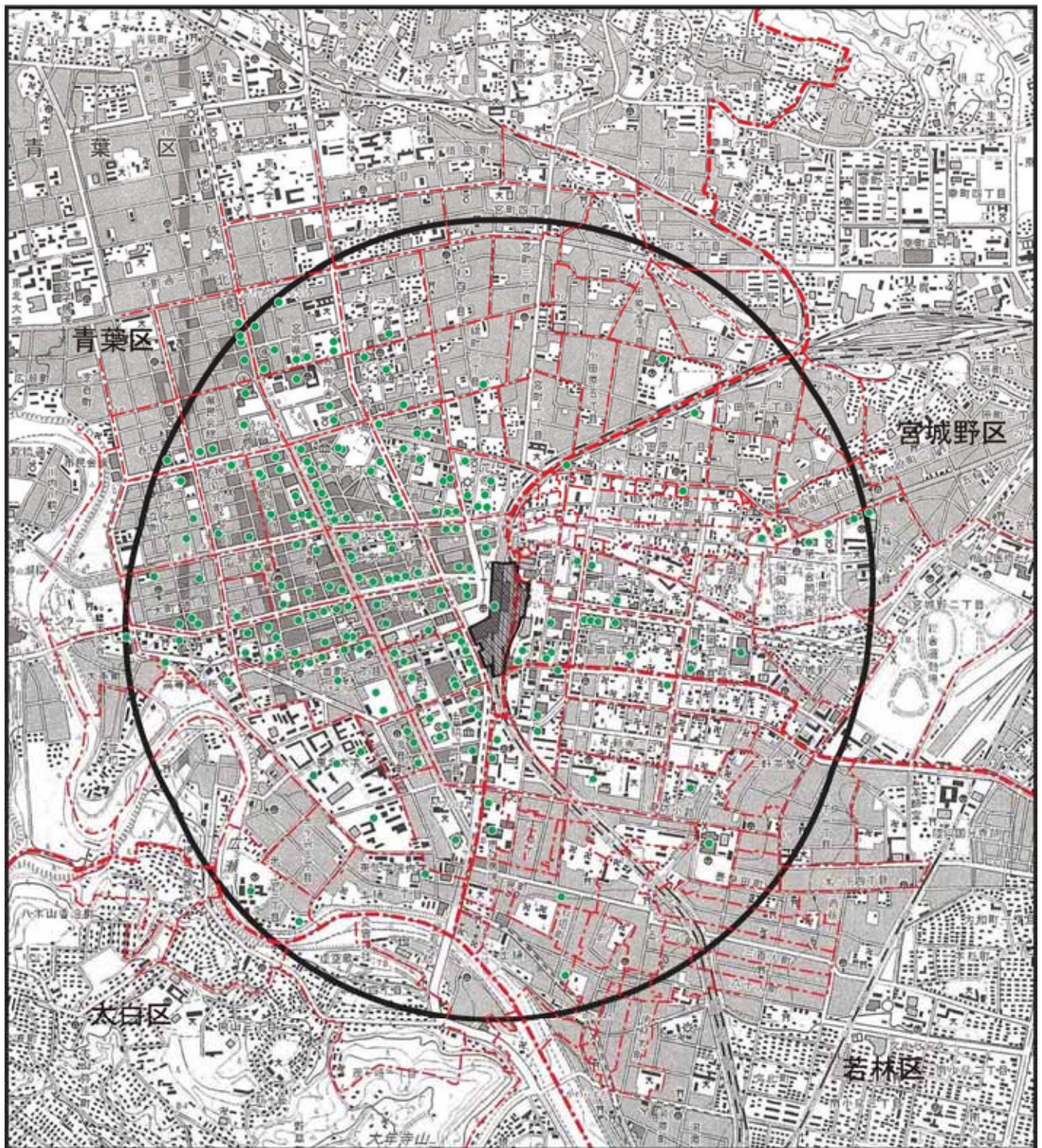
出典：仙台市環境局への公文書開示請求（平成 22 年 3 月 31 日）

表 6.1-23 公害防止条例(粉じん)に基づく発生施設数






区名	発生施設所在地	事業場数	区名	発生施設所在地	事業場数
青葉区	小田原 8 丁目	1	若林区	三百人町	1

出典：仙台市環境局への公文書開示請求（平成 22 年 3 月 31 日）





凡 例

-  : 対象事業計画地
-  : 関係地域の範囲(対象事業計画地から1500mの範囲)
-  : 区境界
-  : 町丁目界
-  : 大気汚染防止法(ばい煙)に基づく発生施設



S=1:25,000

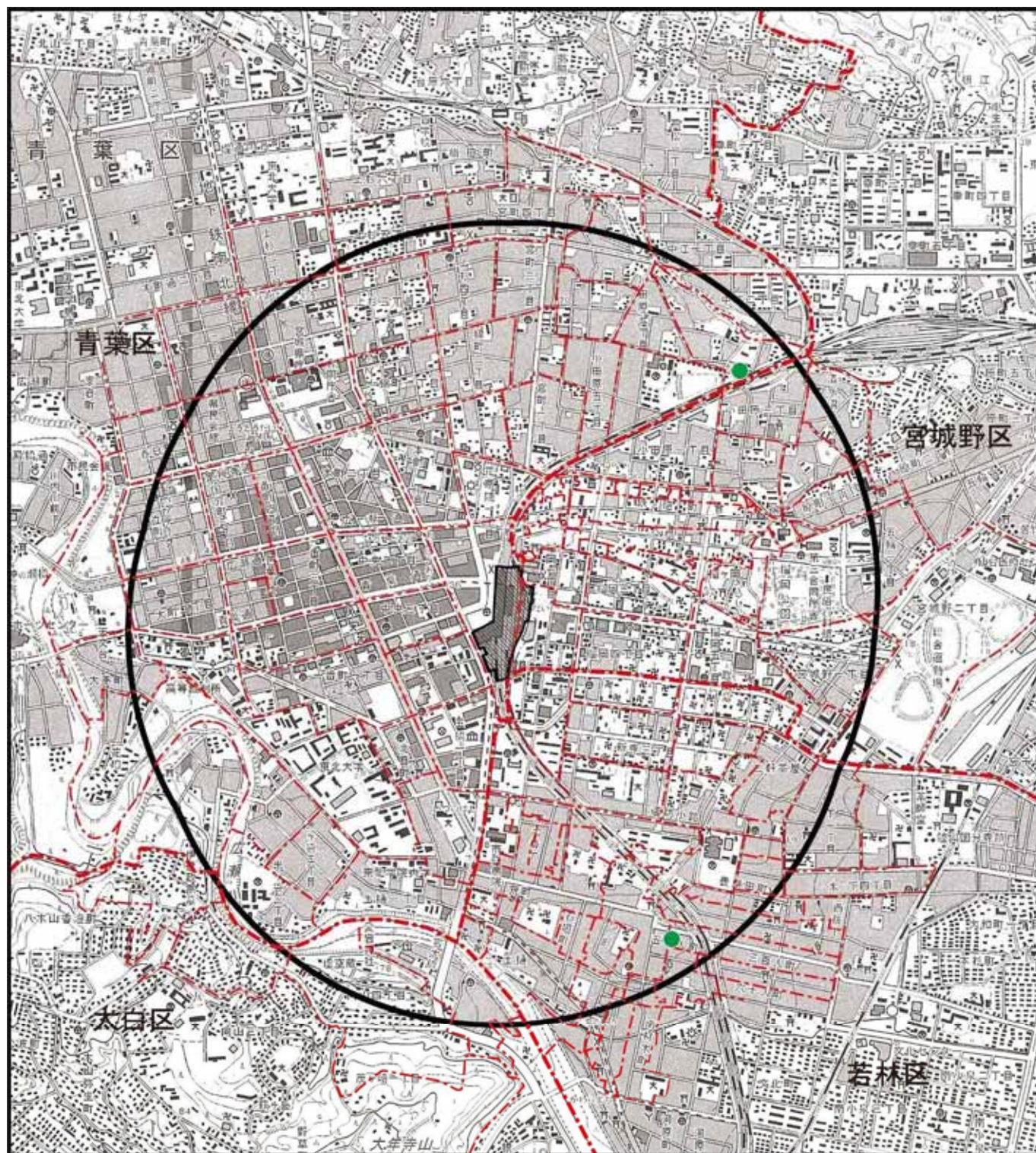
0 250 500 1000m

図 6.1-5






大気汚染防止法(ばい煙)に  
基づく発生施設

出典：仙台市環境局への公文書開示請求（平成22年3月31日）





凡 例

-  : 対象事業計画地
-  : 関係地域の範囲(対象事業計画地から1500mの範囲)
-  : 区境界
-  : 町丁目界
-  : 公害防止条例(粉じん)に基づく発生施設



S=1:25,000

0 250 500 1000m

図 6.1-6  
公害防止条例(粉じん)に  
基づく発生施設

出典：仙台市環境局への公文書開示請求（平成22年3月31日）



(3) 騒音

ア．騒音の状況

環境騒音

調査範囲において、平成 13 年度に環境騒音測定が 51 地点で実施されている。測定結果は、表 6.1-24 及び表 6.1-25、表 6.1-26 に示すとおりであり、No.13 青葉山「青葉区川内三の丸跡」で昼間、夜間ともに環境基準を超過している。他の測定地点ではすべて環境基準を達成している。

表 6.1-24 環境騒音測定結果(平成 13 年度)(1/3)

単位：dB

地点 No.	対象区域名	測定地点	用途地域	環境 基準 類型	測定結果 ( $L_{Aeq}$ )		環境基準	
					昼間	夜間	昼間	夜間
1	川平	青葉区西勝山	一種低層	A	41 ( )	38 ( )	55	45
2	中山	青葉区中山 1 丁目	一種低層	A	43 ( )	38 ( )	55	45
3	貝ヶ森	青葉区貝ヶ森 1 丁目	一種低層	A	42 ( )	39 ( )	55	45
4	水の森	青葉区水の森 1 丁目	一種低層	A	42 ( )	39 ( )	55	45
5	双葉ヶ丘	青葉区双葉ヶ丘 1 丁目	一種低層	A	44 ( )	36 ( )	55	45
6	旭ヶ丘	青葉区旭ヶ丘 3 丁目	一種低層	A	44 ( )	37 ( )	55	45
7	台原	青葉区台原 6 丁目	二種中高層	A	42 ( )	33 ( )	55	45
8	小松島	青葉区小松島 4 丁目	二種中高層	A	44 ( )	38 ( )	55	45
9	国見	青葉区国見 1 丁目	二種中高層	A	44 ( )	40 ( )	55	45
10	北山	青葉区新坂町	一種住居	B	41 ( )	36 ( )	55	45
11	角五郎	青葉区八幡 3 丁目	二種中高層	A	40 ( )	36 ( )	55	45
12	川内	青葉区川内三十人町	二種住居	B	45 ( )	44 ( )	55	45
13	青葉山	青葉区川内三の丸跡	二種中高層	AA	51 (×)	41 (×)	50	40
14	通町	青葉区北山 1 丁目	二種住居	B	42 ( )	40 ( )	55	45
15	梅田町	青葉区梅田町	二種住居	B	44 ( )	38 ( )	55	45
16	花京院	青葉区小田原 6 丁目	近隣商業	C	43 ( )	37 ( )	60	50
17	仙台中央	青葉区国分町 1 丁目	商業	C	53 ( )	48 ( )	60	50
18	米ヶ袋	青葉区米ヶ袋 3 丁目	二種住居	B	41 ( )	37 ( )	55	45
19	鶴ヶ谷東	宮城野区鶴ヶ谷東 1 丁目	一種低層	A	45 ( )	45 ( )	55	45

：測定結果のカッコ内は、環境基準の適合状況について示す。○ = 適合，× = 超過

：時間の区分は、「騒音に係る環境基準について」(平成 10 年 9 月 環告 64)に基づく。

昼間 6:00～22:00、夜間 22:00～6:00。

出典：「公害関係資料集」(平成 14 年版 仙台市環境局)



表 6.1-25 環境騒音測定結果(平成 13 年度)(2/3)

単位: dB

地点 No.	対象区域名	測定地点	用途地域	環境 基準 類型	測定結果 ( $L_{Aeq}$ )		環境基準	
					昼間	夜間	昼間	夜間
20	燕沢	宮城野区燕沢東 3 丁目	二種中高層	A	43 ( )	37 ( )	55	45
21	鶴ヶ谷	宮城野区鶴ヶ谷 4 丁目	一種低層	A	44 ( )	42 ( )	55	45
22	幸町	宮城野区幸町 2 丁目	一種住居	B	43 ( )	36 ( )	55	45
23	新田	宮城野区新田 4 丁目	一種住居	B	41 ( )	37 ( )	55	45
24	仙台東	宮城野区鉄砲町	商業	C	47 ( )	43 ( )	60	50
25	宮城野原	宮城野区銀杏町	近隣商業	C	44 ( )	39 ( )	60	50
26	萩野町	宮城野区萩野町 4 丁目	近隣商業	C	43 ( )	39 ( )	60	50
27	新寺	若林区新寺 3 丁目	近隣商業	C	45 ( )	41 ( )	60	50
28	河原町	若林区弓ノ町	二種住居	B	44 ( )	40 ( )	55	45
29	木ノ下	若林区木ノ下 1 丁目	二種住居	B	41 ( )	40 ( )	55	45
30	南小泉	若林区南小泉 4 丁目	二種住居	B	42 ( )	40 ( )	55	45
31	若林	若林区若林 1 丁目	二種住居	B	42 ( )	42 ( )	55	45
32	卸町	若林区卸町 3 丁目	商業	C	54 ( )	43 ( )	60	50
33	中倉	若林区中倉 2 丁目	一種住居	B	42 ( )	37 ( )	55	45
34	荒井	若林区荒井字押口	二種住居	B	44 ( )	39 ( )	55	45
35	霞目	若林区沖野 3 丁目	一種住居	B	48 ( )	45 ( )	55	45
36	沖野	若林区沖野 6 丁目	一種低層	A	43 ( )	41 ( )	55	45
37	鉤取	太白区上野山 1 丁目	一種低層	A	43 ( )	40 ( )	55	45
38	山田西多賀 沿線	太白区山田上ノ台	一種住居	B	50 ( )	44 ( )	55	45
39	八木山南	太白区八木山南 3 丁目	一種低層	A	44 ( )	36 ( )	55	45
40	金剛沢	太白区金剛沢 1 丁目	一種低層	A	42 ( )	36 ( )	55	45
41	八木山	太白区八木山香澄町	二種住居	B	47 ( )	40 ( )	55	45

: 測定結果のカッコ内は、環境基準の適合状況について示す。 = 適合, × = 超過

: 時間の区分は、「騒音に係る環境基準について」(平成 10 年 9 月 環告 64)に基づく。

昼間 6:00 ~ 22:00, 夜間 22:00 ~ 6:00。

出典:「公害関係資料集」(平成 14 年版 仙台市環境局)

表 6.1-26 環境騒音測定結果(平成 13 年度)(3/3)

単位：dB

地点 No.	対象区域名	測定地点	用途地域	環境 基準 類型	測定結果 ( $L_{Aeq}$ )		環境 基準	
					昼間	夜間	昼間	夜間
42	松が丘	太白区青山 2 丁目	一種低層	A	42 ( )	36 ( )	55	45
43	緑ヶ丘	太白区緑ヶ丘 2 丁目	一種低層	A	45 ( )	39 ( )	55	45
44	西多賀	太白区西多賀 5 丁目	一種住居	B	45 ( )	39 ( )	55	45
45	大年寺	太白区向山 2 丁目	二種中高層	A	48 ( )	43 ( )	55	45
46	根岸	太白区長町 2 丁目	二種住居	B	42 ( )	37 ( )	55	45
47	長町副都心	太白区郡山 1 丁目	工業	C	45 ( )	40 ( )	60	50
48	長町南	太白区長町南 2 丁目	二種住居	B	48 ( )	42 ( )	55	45
49	富沢	太白区泉崎 1 丁目	二種中高層	A	45 ( )	40 ( )	55	45
50	郡山東	太白区郡山字穴田西	一種住居	B	45 ( )	44 ( )	55	45
51	南光台南	泉区南光台南 2 丁目	一種低層	A	46 ( )	42 ( )	55	45

：測定結果のカッコ内は、環境基準の適合状況について示す。○ = 適合，× = 超過

：時間の区分は、「騒音に係る環境基準について」(平成 10 年 9 月 環告 64)に基づく。

昼間 6:00～22:00，夜間 22:00～6:00。

出典：「公害関係資料集」(平成 14 年版 仙台市環境局)

### 道路交通騒音

調査範囲においては，図 6.1-7に示す箇所で自動車騒音測定が実施されており，平成 22 年度には表 6.1-27に示すように，道路交通騒音測定が一般国道 4 号，一般国道 45 号，県道仙台泉線等の 12 評価区間（10 路線）で実施されている。また，平成 18 年度から平成 21 年度の測定結果は，表 6.1-28から表 6.1-31に示すとおりである。

平成 22 年度における各路線の環境基準達成状況は，54%～100%であり，昼間，夜間とも達成したのは，12 評価区間のうち主要地方道仙台南環状線，主要地方道荒浜原町線，県道荒井荒町線（若林区荒井字高屋敷～かすみ町），県道仙台館腰線，一般国道 4 号（太白区根岸町～八本松 2 丁目），市道六丁目鶴谷線，市道川内南小泉線，県道荒井荒町線（若林区遠見塚 3 丁目～2 丁目）の 8 評価区間である。

平成 18 年度から平成 22 年度の自動車騒音測定による路線の環境基準達成状況のうち，達成率が低いのは，平成 18 年度の一般国道 4 号（太白区中田 5 丁目～郡山 4 丁目）の 13%及び主要地方道仙台松島線（宮城野区原町 3 丁目～燕沢東 2 丁目）の 59%，平成 22 年度の一般国道 286 号（太白区根岸町～鹿野 1 丁目）の 54%の 3 評価区間である。このうち，一般国道 4 号（太白区中田 5 丁目～郡山 4 丁目）は平成 19 年度以降の測定では，84～92%と達成率が上がっている。

表 6.1-27 自動車騒音測定結果(平成 22 年度)

路線 No.	評価対象道路				評価結果		
	路線名	評価区間	評価区 間の 延長	住居等 評価対 象戸数	環境基準達成状況		
					昼間・夜間 とも達成	昼間のみ 達成	夜間のみ 達成
		始点 終点					
			(km)	(戸)	達成率(%) 達成戸数(戸)	達成率(%) 達成戸数(戸)	達成率(%) 達成戸数(戸)
1	一般国道 4 号	太白区 中田 5 丁目	3.0	270	89	9	0
		太白区 郡山 4 丁目			241	24	0
2	一般国道 45 号	青葉区 本町 3 丁目	3.8	3,957	99	1	0
		宮城野区 原町 3 丁目			3,911	46	0
3	県道仙台泉線	青葉区 昭和町	2.4	1,154	88	12	0
		青葉区 双葉ヶ丘 1 丁目			1,020	134	0
4	一般国道 286 号	太白区 根岸町	1.4	634	54	3	0
		太白区 鹿野 1 丁目			344	21	0
5	主要地方道 仙台南環状線	太白区 八木山本町 2 丁目	1.2	384	100	0	0
		太白区 八木山南 4 丁目			384	0	0
6	主要地方道 荒浜原町線	若林区 大和町 5 丁目	1.4	699	100	0	0
		若林区 志波町			699	0	0
7	県道 荒井荒町線	若林区 荒井字高屋敷	1.1	339	100	0	0
		若林区 かすみ町			339	0	0
8	県道 仙台館腰線	太白区 鹿野 1 丁目	3.8	1,125	100	0	0
		太白区 西中田 3 丁目			1,124	1	0
9	一般国道 4 号	太白区 根岸町	1.3	635	100	0	0
		太白区 八本松 2 丁目			635	0	0
10	市道 六丁目鶴谷線	宮城野区 燕沢 2 丁目	1.7	537	100	0	0
		宮城野区 自由が丘			537	0	0
11	市道 川内南小泉線	若林区 志波町	2.1	845	100	0	0
		若林区 古城 3 丁目			845	0	0
12	県道 荒井荒町線	若林区 遠見塚 3 丁目	1.2	710	100	0	0
		若林区 遠見塚 2 丁目			710	0	0

自動車騒音に関する環境基準については、表 6.2-47 参照。  
出典：「公害関係資料集」(平成 23 年版 仙台市環境局)

表 6.1-28 自動車騒音測定結果(平成 21 年度)

路線 No.	評価対象道路				評価結果		
	路線名	評価区間	評価区 間の 延長	住居等 評価対 象戸数	環境基準達成状況		
					昼間・夜間 とも達成	昼間のみ 達成	夜間のみ 達成
		始点 終点			達成率(%) 達成戸数(戸)	達成率(%) 達成戸数(戸)	達成率(%) 達成戸数(戸)
1	一般国道 4 号	太白区 中田 5 丁目 13 番	3.0	270	84	11	0
		太白区 郡山 4 丁目 15 番			228	29	0
2	一般国道 45 号	青葉区 本町 3 丁目 9 番	3.8	3,957	87	13	0
		宮城野区 原町 3 丁目 7 番			3,426	531	0
3	県道仙台泉線	青葉区 昭和町 3 番	2.4	1,154	100	0	0
		青葉区 双葉ヶ丘 1 丁目 1 番			1,154	0	0
4	一般国道 48 号	青葉区 二日町 13 番	2.2	2,318	82	8	0
		青葉区 八幡 3 丁目 4 番			1,893	180	0
5	県道 荒井荒町線	若林区 一本杉 7 番	0.8	353	100	0	0
		若林区 保春院前丁			353	0	0
6	市道 館西町線	宮城野区 五輪 2 丁目 15 番	1.8	735	96	3	0
		宮城野区 宮千代 2 丁目 1 番			708	25	0
7	市道 長町折立線	太白区 八木山本町 2 丁目 33 番	0.9	459	100	0	0
		太白区 八木山本町 2 丁目 2 番			459	0	0
8	一般国道 4 号	太白区 あすと長町 3 丁目	1.7	245	99	0	0
		太白区 八本松 2 丁目 2			242	0	0
9	県道 大衡仙台線	泉区 上谷刈字立脇	1.8	425	100	0	0
		青葉区 水の森 3 丁目 41 番			425	0	0

自動車騒音に関する環境基準については、表 6.2-47 参照。  
出典：「公害関係資料集」(平成 22 年版 仙台市環境局)



表 6.1-29 自動車騒音測定結果(平成 20 年度)

路線 No.	評価対象道路				評価結果		
	路線名	評価区間	評価区 間の 延長	住居等 評価対 象戸数	環境基準達成状況		
					昼間・夜間 とも達成	昼間のみ 達成	夜間のみ 達成
		始点 終点			達成率(%) 達成戸数(戸)	達成率(%) 達成戸数(戸)	達成率(%) 達成戸数(戸)
1	一般国道 4 号	太白区 中田 5 丁目 13 番	3	268	91	8	0
		太白区 郡山 4 丁目 15 番			244	21	0
2	一般国道 45 号	青葉区 本町 3 丁目 9 番	3.8	3,957	99	0	0
		宮城野区 原町 3 丁目 7 番			3,955	2	0
3	県道仙台泉線	仙台市青葉区 昭和町 3 番	2.4	1,116	100	0	0
		仙台市青葉区 双葉ヶ丘 1 丁目 1 番			1,116	0	0
4	一般国道 4 号	仙台市若林区 若林 5 丁目 6 番	3.3	671	99	0	0
		仙台市若林区 大和町 5 丁目 33 番			670	1	0
5	県道 井土長町線	仙台市若林区 今泉字久保田東	3.5	1,100	100	0	0
		仙台市若林区 若林 7 丁目 1 番			1,100	0	0
6	市道 北六番丁線	仙台市青葉区 堤通雨宮町 2 番	1.4	1,062	100	0	0
		仙台市青葉区 宮町 5 丁目 2 番			1,062	0	0
7	市道新寺通線	仙台市若林区 新寺 1 丁目 4 番	1.3	1,408	99	0	0
		仙台市宮城野区 西宮城野 6 番			1,403	0	0

自動車騒音に関する環境基準については、表 6.2-47 参照。  
出典：「公害関係資料集」(平成 21 年版 仙台市環境局)

表 6.1-30 自動車騒音測定結果(平成 19 年度)

路線 No.	評価対象道路				評価結果		
	路線名	評価区間	の 延長 評価区 間	住居等 評価対 象戸数	環境基準達成状況		
					昼間・夜間 とも達成	昼間のみ 達成	夜間のみ 達成
		始点 終点			達成率(%) 達成戸数(戸)	達成率(%) 達成戸数(戸)	達成率(%) 達成戸数(戸)
1	一般国道 4 号	太白区 中田 5 丁目 13 番	3	264	92	7	0
		太白区 郡山 4 丁目 15 番			244	19	0
2	一般国道 45 号	青葉区 本町 3 丁目 9 番	3.8	3,285	99	2	0
		宮城野区 原町 3 丁目 7 番			3,282	0	0

自動車騒音に関する環境基準については、表 6.2-47参照。

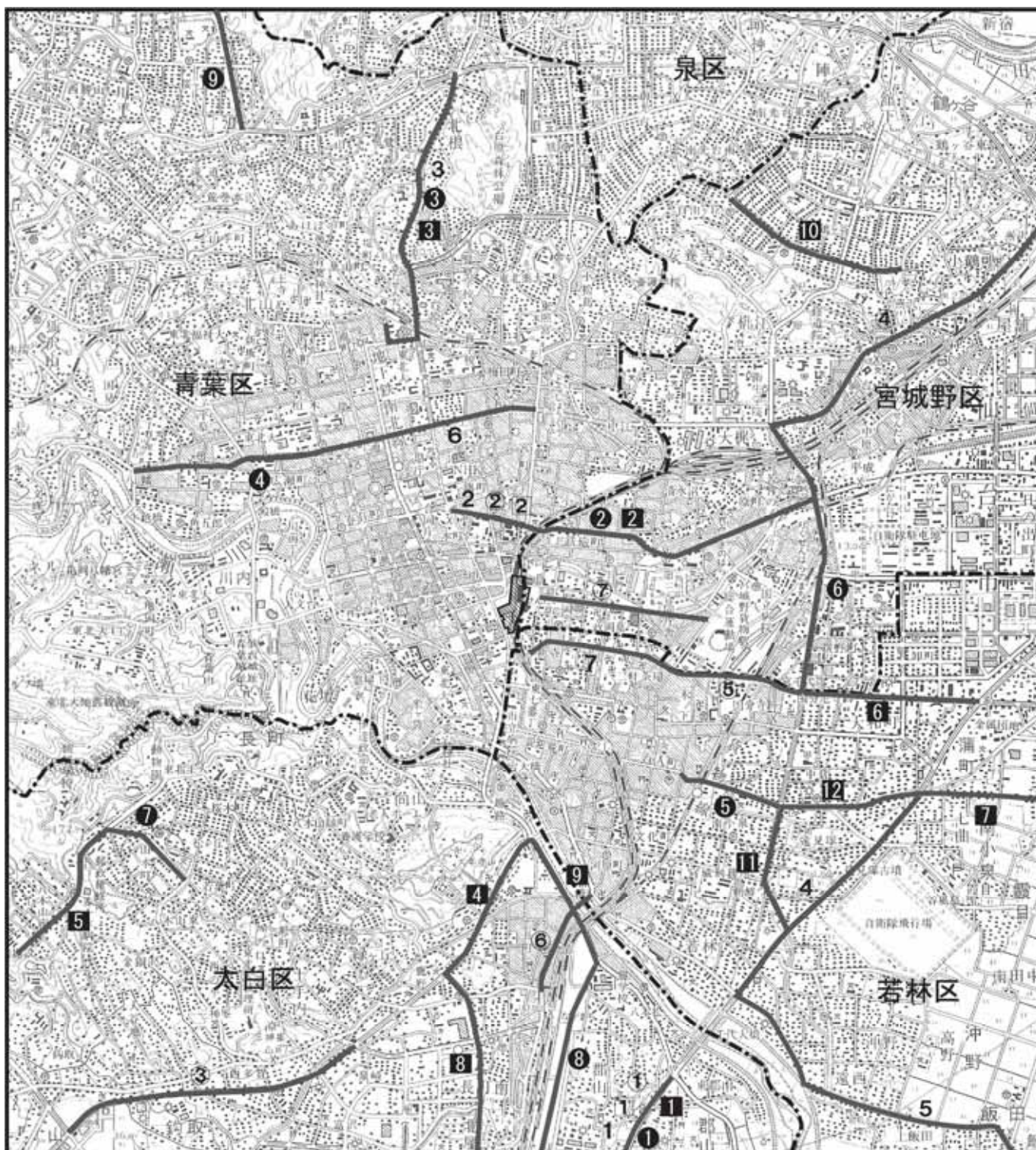
出典：「公害関係資料集」(平成 20 年版 仙台市環境局)

表 6.1-31 自動車騒音測定結果(平成 18 年度)

路線 No.	評価対象道路				評価結果		
	路線名	評価区間	の 延長 評価区 間	住居等 評価対 象戸数	環境基準達成状況		
					昼間・夜間 とも達成	昼間のみ 達成	夜間のみ 達成
		始点 終点			達成率(%) 達成戸数(戸)	達成率(%) 達成戸数(戸)	達成率(%) 達成戸数(戸)
1	一般国道 4 号	太白区 中田 5 丁目 13 番	3	264	13	6	0
		太白区 郡山 4 丁目 15 番			35	15	0
2	一般国道 45 号	青葉区 本町 3 丁目 9 番	3.8	3,295	99	1	0
		宮城野区 原町 3 丁目 7 番			3,250	44	0
3	一般国道 286 号	太白区 鹿野 3 丁目 4 番	3.2	505	96	0	0
		太白区 山田字谷地田			486	0	0
4	主要地方道 仙台松島線	宮城野区 原町 3 丁目 8 番	3.9	1,802	59	11	0
		宮城野区 燕沢東 2 丁目 9 番			1,059	191	0
5	主要地方道 荒浜原町線	若林区 志波町 11 番	1.3	716	93	7	0
		若林区 木ノ下 1 丁目 7 番			664	48	0
6	一般国道 4 号	太白区 長町 3 丁目 5 番	1	1,583	86	14	0
		若林区 河原町 1 丁目 7 番			1,361	222	0
7	市道 宮城野通線	宮城野区 榴岡 2 丁目 5 番	1.5	725	100	0	0
		宮城野区 宮城野 1 丁目 9 番			725	0	0

自動車騒音に関する環境基準については、表 6.2-47参照。

出典：「公害関係資料集」(平成 19 年版 仙台市環境局)



# 凡 例

-  : 対象事業計画地
-  : 区境界線
- 平成22年度(1~12)
- 平成21年度(1~9)
-  : 平成20年度(1~7)
- 平成19年度(1~2)
- 平成18年度(1~7)

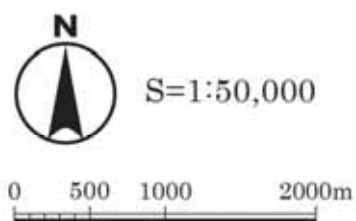


図 6.1-7  
自動車騒音測定区間

出典:「公害関係資料集」(平成19~23年版 仙台市環境局)

#### 騒音に係る苦情の状況

仙台市における過去 5 年間の騒音に係る苦情件数の推移は、表 6.1-32 に示すとおりである。過去 5 年間の苦情件数について、平成 18 年度は最大の 151 件で、19 年度・20 年度は減少したが、21 年度には 139 件と増加した。平成 22 年度は 126 件である。

表 6.1-32 騒音に係る苦情件数の経年変化(平成 18 年度～平成 22 年度)

単位：件

年度 項目	18	19	20	21	22
騒音	151	121	109	139	126

出典：「公害関係資料集」(平成 23 年版 仙台市環境局)

#### 発生源の状況

仙台市における騒音規制法に基づく特定建設作業届出状況は、表 6.1-33 に示すとおりである。

平成 22 年度の全 276 件のうち、工事種別ではビル等工事が 146 件を占めている。また、作業内容においてはさく岩機を使用する作業が 172 件を占めている。

表 6.1-33 騒音規制法に基づく特定建設作業届出状況(平成 22 年度)

作業内容 工事種別	ビル等 工事	上下水道 工事	道路河川 等工事	その他の 工事	合計
くい打機くい抜機を使用する作業	31		14	16	61
びょう打機を使用する作業					-
さく岩機を使用する作業	98	12	22	40	172
空気圧縮機を使用する作業	2	7	1	7	17
コンクリートプラントを設けて行う作業					-
バックホウを使用する作業	15	1	6	4	26
トラクターショベルを使用する作業					-
ブルドーザーを使用する作業					-
計	146	20	43	67	276

出典：「公害関係資料集」(平成 23 年版 仙台市環境局)

図 5.2-1 に示す関係地域範囲内における騒音規制法に基づく発生施設届出件数は、表 6.1-34 及び図 6.1-8 に示すとおり、J R 東日本仙台駅をはじめ、オフィスビル、商業ビル、ホテル、駐車場、印刷所、学校施設など 299 事業場ある。また、宮城県公害防止条例に基づく発生施設届出件数は、表 6.1-35 及び図 6.1-9 に示すとおり、269 事業場ある（いずれも平成 22 年 3 月 31 日現在、仙台市環境局への公文書開示請求による）。

表 6.1-34 騒音規制法に基づく発生施設数

区名	発生施設所在地	事業場数	区名	発生施設所在地	事業場数
青葉区	一番町 1 丁目	8	青葉区	錦町 1 丁目	4
	一番町 2 丁目	11		錦町 2 丁目	3
	一番町 3 丁目	15		福沢町	2
	一番町 4 丁目	12		二日町	7
	五橋 1 丁目	6		本町 1 丁目	7
	五橋 2 丁目	2		本町 2 丁目	17
	大手町	1		本町 3 丁目	7
	大町 1 丁目	1		宮町 2 丁目	1
	大町 2 丁目	7		宮町 4 丁目	2
	小田原 7 丁目	1	宮城野区	小田原 1 丁目	3
	小田原 8 丁目	2		小田原金剛院丁	1
	霊屋下	1		小田原山本丁	1
	花京院 1 丁目	6		五輪 1 丁目	4
	花京院 2 丁目	1		榴岡 1 丁目	7
	春日町	1		榴岡 2 丁目	4
	片平 1 丁目	2		榴岡 3 丁目	1
	片平 2 丁目	8		榴岡 4 丁目	8
	上杉 1 丁目	12		榴岡 5 丁目	4
	上杉 3 丁目	5		名掛丁	1
	上杉 4 丁目	1		東六番丁	1
	北目町	3		宮城野 1 丁目	1
	国分町 1 丁目	3		元寺小路	1
	国分町 2 丁目	10	若林区	五橋 3 丁目	2
	国分町 3 丁目	9		裏柴田町	1
	米ヶ袋 1 丁目	1		清水小路	3
	米ヶ袋 2 丁目	1		新寺 1 丁目	3
	米ヶ袋 3 丁目	1		土樋	3
	立町	4		土樋 1 丁目	1
	中央 1 丁目	15		東七番丁	2
	中央 2 丁目	16		東八番丁	1
	中央 3 丁目	15		東九番丁	1
	中央 4 丁目	10		弓ノ町	1
	土樋 1 丁目	1		連坊 2 丁目	1
	中江 2 丁目	1			

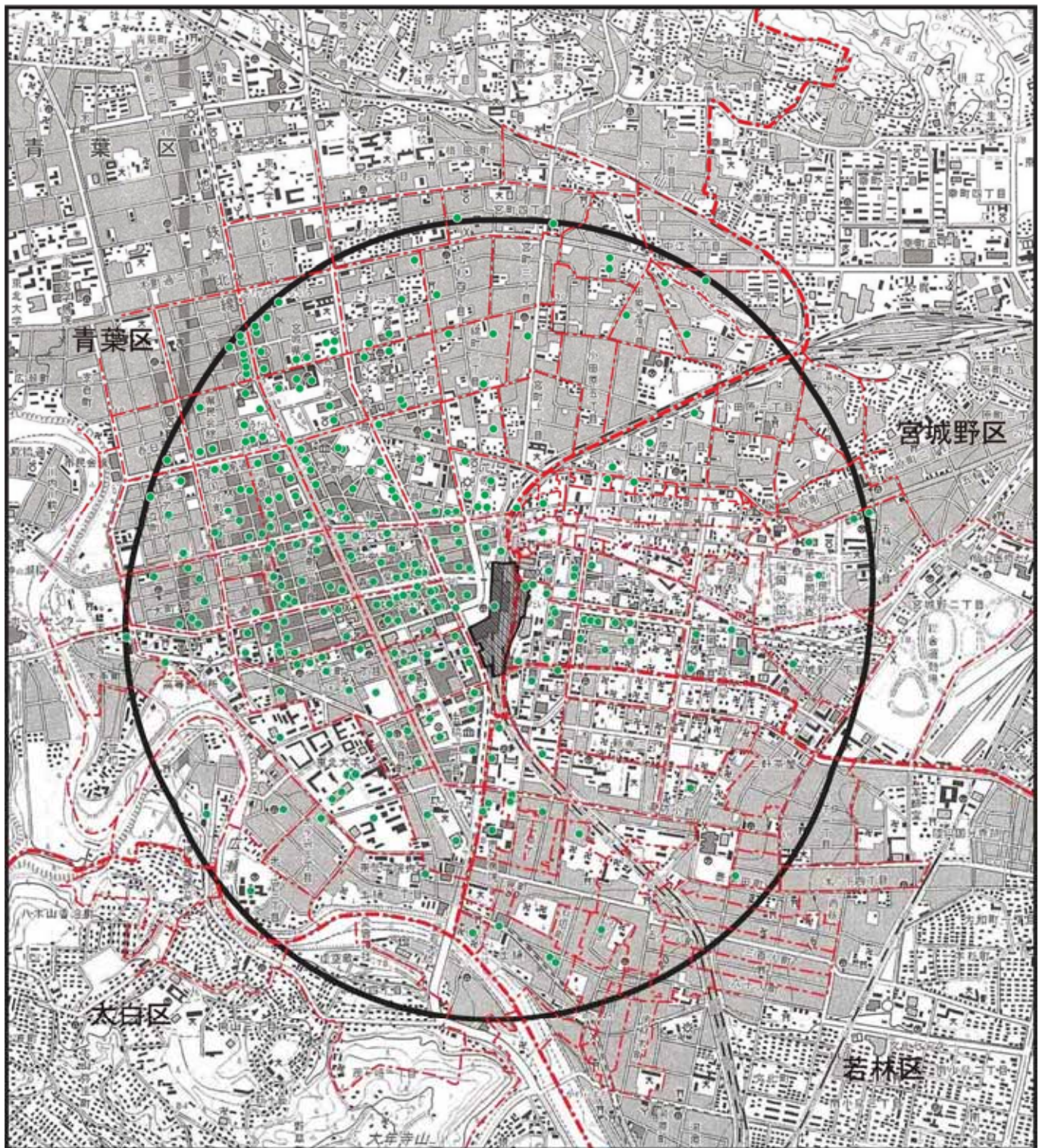
出典：仙台市環境局への公文書開示請求（平成 22 年 3 月 31 日）



表 6.1-35 公害防止条例(騒音)に基づく発生施設数

区名	発生施設所在地	事業場数	区名	発生施設所在地	事業場数
青葉区	一番町 1 丁目	11	青葉区	二日町	4
	一番町 2 丁目	16		本町 1 丁目	11
	一番町 3 丁目	14		本町 2 丁目	17
	一番町 4 丁目	11		本町 3 丁目	8
	五橋 1 丁目	2	宮城野区	小田原 1 丁目	5
	五橋 2 丁目	3		小田原 2 丁目	1
	大町 1 丁目	5		小田原 3 丁目	2
	大町 2 丁目	7		小田原広丁	1
	霊屋下	1		車町	1
	小田原 6 丁目	1		五輪 1 丁目	3
	小田原 8 丁目	2		清水沼 1 丁目	1
	花京院 1 丁目	1		榴ヶ岡	1
	花京院 2 丁目	1		榴岡 1 丁目	1
	春日町	1		榴岡 2 丁目	3
	片平 1 丁目	5		榴岡 3 丁目	5
	片平 2 丁目	4		榴岡 4 丁目	4
	上杉 1 丁目	9		榴岡 5 丁目	1
	上杉 3 丁目	1		鉄砲町	4
	上杉 4 丁目	1		名掛丁	1
	北目町	3	若林区	穀町	1
	国分町 1 丁目	3		三百人町	1
	国分町 2 丁目	9		清水小路	2
	国分町 3 丁目	5		新寺 1 丁目	3
	米ヶ袋 1 丁目	1		新寺 2 丁目	1
	米ヶ袋 2 丁目	1		新寺 3 丁目	1
	米ヶ袋 3 丁目	1		新寺 5 丁目	1
	立町	3		畳屋丁	1
	中央 1 丁目	9		土樋	2
	中央 2 丁目	12		東七番丁	1
	中央 3 丁目	11		東九番丁	1
	中央 4 丁目	11		元茶畑	1
	土樋 1 丁目	1		連坊 1 丁目	2
	錦町 1 丁目	7		連坊 2 丁目	1
	錦町 2 丁目	3			

出典：仙台市環境局への公文書開示請求（平成 22 年 3 月 31 日）



凡 例

- : 対象事業計画地
- : 関係地域の範囲(対象事業計画地から1500mの範囲)
- : 区境界
- : 町丁目界
- : 騒音規制法に基づく発生施設



S=1:25,000

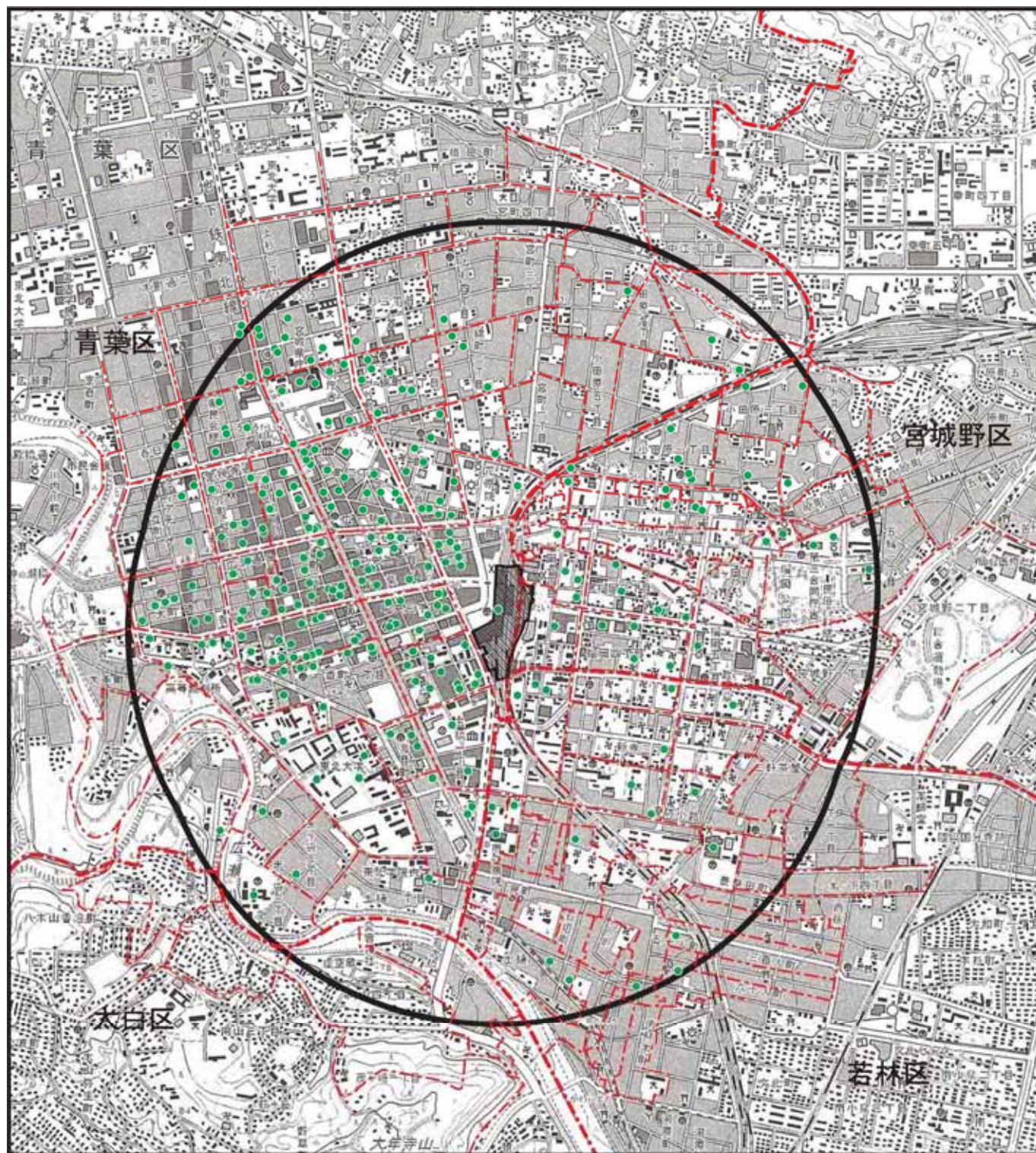
0 250 500 1000m

図 6.1-8






騒音規制法に基づく発生施設

出典：仙台市環境局への公文書開示請求（平成22年3月31日）





凡 例

-  : 対象事業計画地
-  : 関係地域の範囲(対象事業計画地から1500mの範囲)
-  : 区境界
-  : 町丁目界
-  : 公害防止条例(騒音)に基づく発生施設



S=1:25,000

0 250 500 1000m

図 6.1-9

公害防止条例(騒音)に  
基づく発生施設

出典：仙台市環境局への公文書開示請求（平成22年3月31日）



(4) 振動

ア．振動の状況

道路交通振動

調査範囲において，一般国道 4 号，一般国道 45 号で自動車振動測定が実施されており，平成 11 年度の測定結果は表 6.1-36に示すとおりである。なお，調査地点は図 6.1-10に示すとおりである。

各測定地点の振動レベル(L<sub>10</sub>)は 38～53dB であり要請限度(70dB)を下回っている。

表 6.1-36 自動車交通振動測定結果(平成 11 年度)

単位：dB

番号	道路名	測定場所	用途 地域	区域 区分	要請 限度 (昼間)	振動 レベル L <sub>10</sub> (昼間)
1	一般国道 4 号 仙台バイパス	太白区郡山北目宅地 44-2	準工業	第二種	70	53
2	一般国道 45 号	宮城野区原町二丁目 4-45	商業	第二種	70	38

第二種区域区分の要請限度は昼間（8 時～19 時）70dB 以下，夜間（19 時～8 時）65dB 以下。  
出典：「公害関係資料集」(平成 12 年版 仙台市環境局)

振動に係る苦情の状況

仙台市における過去 5 年間の振動に係る苦情件数の推移は，表 6.1-37に示すとおりである。過去 5 年間の苦情件数について，平成 22 年度は最小の 2 件であり，その前は 4～14 件の間で推移し，平成 21 年度は最大の 14 件である。

表 6.1-37 振動に係る苦情件数の経年変化(平成 18 年度～平成 22 年度)

単位：件

項目 \ 年度	18	19	20	21	22
振動	13	4	10	14	2

出典：「公害関係資料集」(平成 23 年版 仙台市環境局)

発生源の状況

仙台市における振動規制法に基づく特定建設作業届出状況は，表 6.1-38に示すとおりである。

平成 22 年度の全体 208 件のうち，工事種別ではビル等工事が 119 件，作業内容ではブレーカーを使用する作業が 138 件を占める。

表 6.1-38 振動規制法に基づく特定建設作業届出状況(平成 22 年度)

単位：件

作業内容 \ 工事種別	ビル等 工事	上下水道 工事	道路河川 等工事	その他の 工事	合計
くい打機くい抜機を使用する作業	36		17	16	69
鉄球を使用して破壊する作業					-
舗装粉碎機を使用する作業			1		1
ブレーカーを使用する作業	83	4	18	33	138
計	119	4	36	49	208

出典：「公害関係資料集」(平成 23 年版 仙台市環境局)

図 5.2-1 に示す関係地域範囲内での振動規制法に基づく発生施設届出件数は、表 6.1-39及び図 6.1-11に示すとおり、印刷所や東北大学の研究施設、病院施設など 18 事業場ある。また、宮城県公害防止条例に基づく発生施設届出件数は、表 6.1-40及び図 6.1-12に示すとおり、ＪＲ東日本仙台駅をはじめ、オフィスビル、商業ビル、ホテル、学校施設など 300 事業場ある（いずれも平成 22 年 3 月 31 日現在、仙台市環境局への公文書開示請求による）。

表 6.1-39 振動規制法に基づく発生施設数

区名	発生施設所在地	事業場数	区名	発生施設所在地	事業場数
青葉区	一番町 1 丁目	1	青葉区	中江 2 丁目	1
	一番町 2 丁目	1		錦町 1 丁目	1
	一番町 4 丁目	1		本町 2 丁目	1
	五橋 1 丁目	1	宮城野区	五輪 1 丁目	1
	五橋 2 丁目	1		榴岡 2 丁目	1
	片平 2 丁目	3	若林区	裏柴田町	1
	北目町	1		清水小路	1
	国分町 2 丁目	1		土樋	1

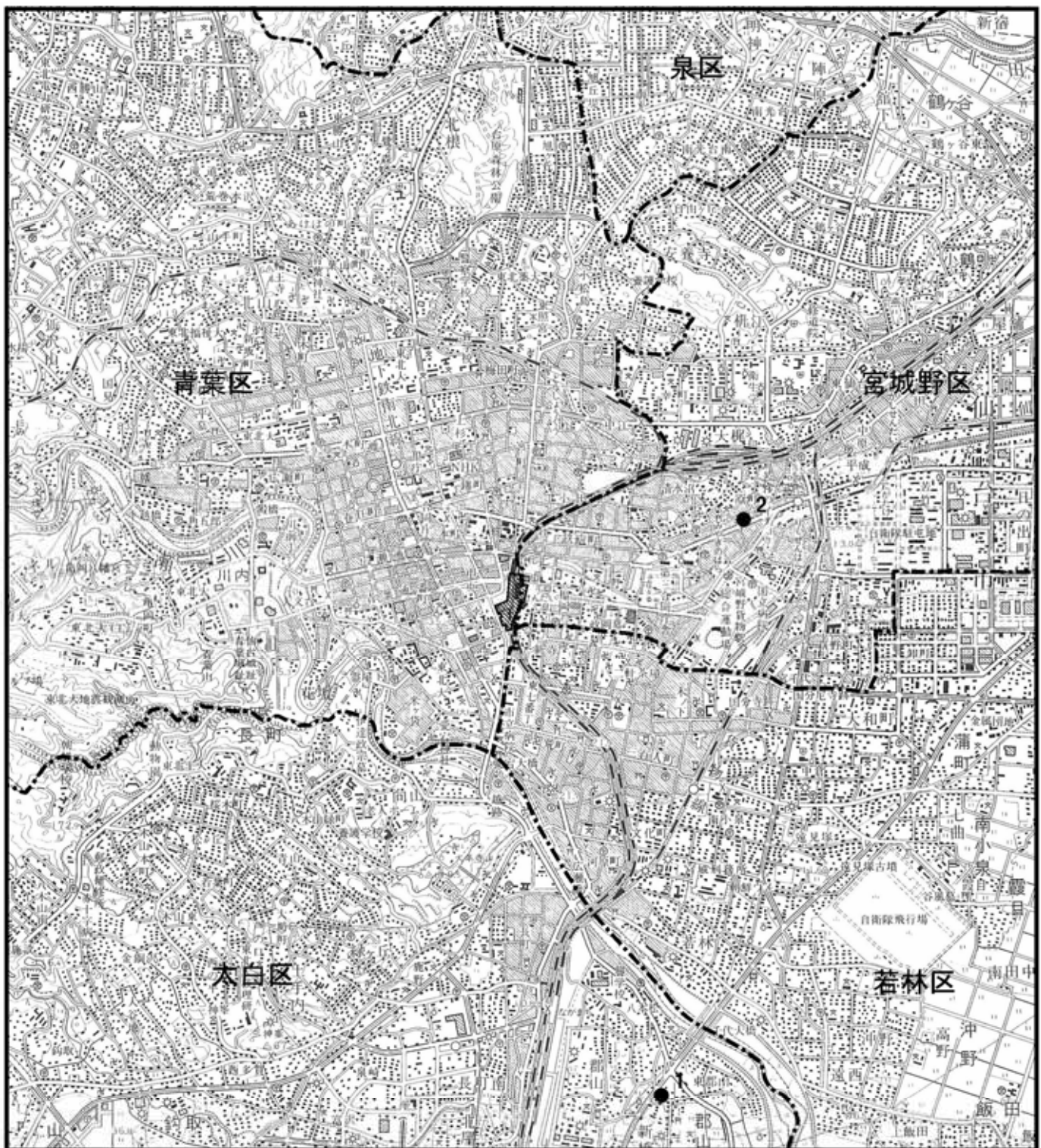
出典：仙台市環境局への公文書開示請求（平成 22 年 3 月 31 日）






表 6.1-40 公害防止条例(振動)に基づく発生施設数

区名	発生施設所在地	事業場数	区名	発生施設所在地	事業場数
青葉区	一番町 1 丁目	11	青葉区	二日町	7
	一番町 2 丁目	11		本町 1 丁目	7
	一番町 3 丁目	14		本町 2 丁目	20
	一番町 4 丁目	13		本町 3 丁目	4
	五橋 1 丁目	9		宮町 2 丁目	1
	五橋 2 丁目	7		宮町 4 丁目	2
	大手町	2	太白区	越路	1
	大町 1 丁目	2	宮城野区	小田原 1 丁目	6
	大町 2 丁目	7		小田原 2 丁目	2
	小田原 4 丁目	1		小田原 3 丁目	1
	小田原 5 丁目	1		小田原金剛院丁	2
	小田原 7 丁目	1		小田原広丁	1
	花京院 1 丁目	5		車町	1
	春日町	2		五輪 1 丁目	5
	片平 2 丁目	11		榴ヶ岡	1
	上杉 1 丁目	10		榴岡 1 丁目	3
	上杉 3 丁目	1		榴岡 2 丁目	4
	上杉 5 丁目	1		榴岡 3 丁目	5
	北目町	1		榴岡 4 丁目	7
	国分町 1 丁目	7		榴岡 5 丁目	5
	国分町 2 丁目	5		名掛丁	1
	国分町 3 丁目	6		東六番丁	1
	米ヶ袋 3 丁目	1		東十番丁	1
	立町	6	若林区	清水小路	1
	中央 1 丁目	18		新寺 1 丁目	8
	中央 2 丁目	10		新寺 2 丁目	1
	中央 3 丁目	11		新寺 5 丁目	1
	中央 4 丁目	11		土樋	1
	土樋 1 丁目	2		東七番丁	1
	中江 1 丁目	1		元茶畑	1
	錦町 1 丁目	5		連坊 1 丁目	1
	錦町 2 丁目	3		連坊小路	1

出典：仙台市環境局への公文書開示請求（平成 22 年 3 月 31 日）



凡 例

-  : 対象事業計画地
-  : 区境界線
-  : 自動車交通振動測定地点(1~2)



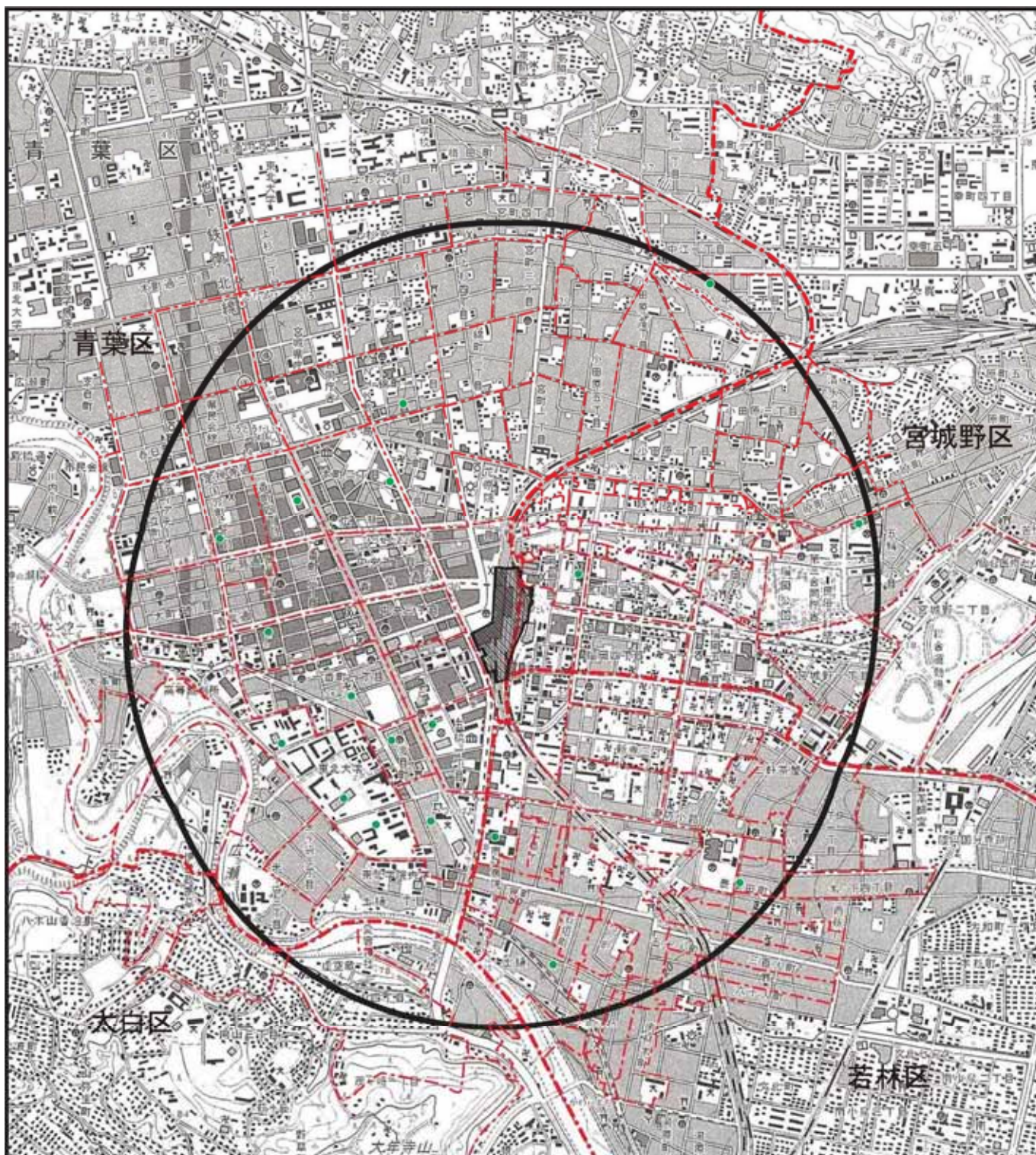
S=1:50,000

0 500 1000 2000m






図 6.1-10  
自動車交通振動測定地点

出典:「公害関係資料集」(平成12年版 仙台市環境局)





凡 例

-  : 対象事業計画地
-  : 関係地域の範囲(対象事業計画地から1500mの範囲)
-  : 区境界
-  : 町丁目界
-  : 振動規制法に基づく発生施設

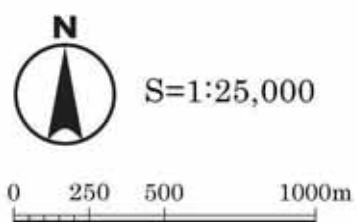
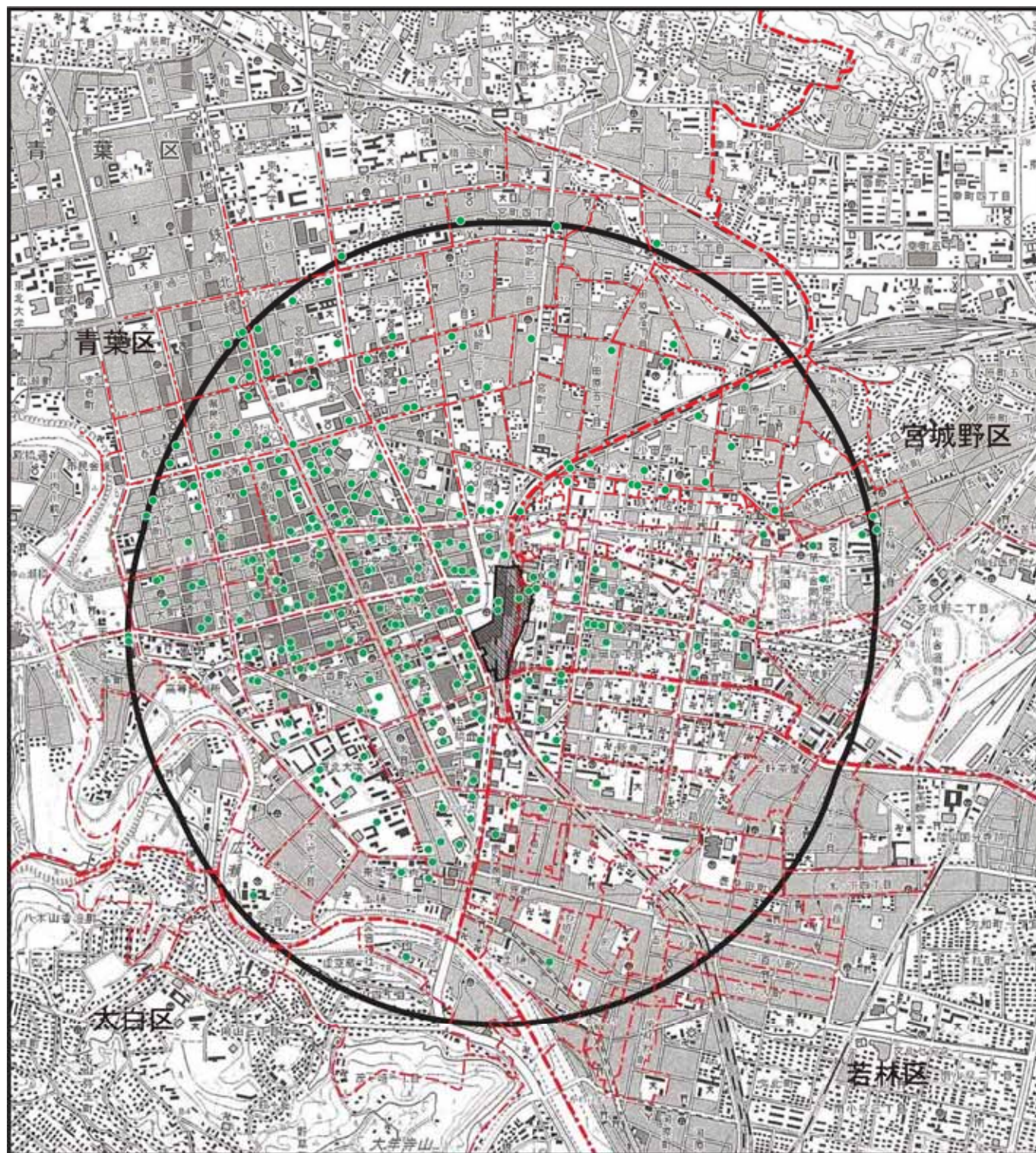


図 6.1-11






振動規制法に基づく発生施設

出典：仙台市環境局への公文書開示請求（平成22年3月31日）





凡 例

-  : 対象事業計画地
-  : 関係地域の範囲(対象事業計画地から1500mの範囲)
-  : 区境界
-  : 町丁目界
-  : 公害防止条例(振動)に基づく発生施設



S=1:25,000

0 250 500 1000m

図 6.1-12

公害防止条例(振動)に  
基づく発生施設

出典：仙台市環境局への公文書開示請求（平成22年3月31日）



(5) 低周波音

ア．低周波音の状況

低周波音に係る苦情の状況

仙台市環境局環境部環境対策課によると、低周波音に関する苦情・相談は、平成 16 年度～平成 20 年度にかけて 4 件、平成 20 年度には 1 件が寄せられているが、環境局の資料では騒音苦情・相談として取り扱われている。また、平成 21 年度及び平成 22 年度は低周波音に関する苦情・相談は寄せられていない。

発生源の状況

市街地周辺には青葉山トンネル等があるが、調査範囲には、低周波音の発生源となると考えられる高架道路、トンネル及び工場は存在しない。

(6) 悪臭

ア．悪臭の状況

悪臭に係る苦情の状況

仙台市における過去 5 年間の悪臭に係る苦情件数の推移は、表 6.1-41 に示すとおりである。

平成 22 年度は全体 19 件のうち、発生源がサービス業・その他が 8 件と最も多く、次いで個人住宅・アパート・寮の 4 件の順であった。

表 6.1-41 悪臭に係る苦情件数の経年変化(平成 18 年度～平成 22 年度)

単位：件

発生源区分 \ 年度	18	19	20	21	22
畜産農業	5	3			1
飼料・肥料製造工場		1		2	
食料品製造工場		1	1	1	3
化学工場					
その他の製造工場	3	2	1		
サービス業・その他	7	3	3	8	8
移動発生源					
建設作業現場	3		3	3	
下水・用水		1			
ごみ集積所	1				1
個人住宅・アパート・寮	3	4	1	3	4
不明	3		4	7	2
計	25	15	13	24	19

出典：「公害関係資料集」(平成 23 年版 仙台市環境局)

発生源の状況

「公害関係資料集」(平成 22 年版 仙台市環境局)によると、悪臭に係る苦情件数が多い発生源区分は、「悪臭に係る苦情の状況」に示すサービス業・その他、次いで個人住宅・アパート・寮である。

サービス業・その他の発生源としては、廃棄物処理業・飲食店・医療機関等であり、個人住宅・アパート・寮では、ごみ焼き、浄化槽等である。

## 6.1.2 水環境

### (1) 水質

#### ア．水質汚濁の現状

##### 水質の概況

調査範囲では、南側を流れる広瀬川の愛宕橋、北側を流れる梅田川の大田見橋、杉戸橋、枯木橋の計4地点で水質測定が実施されている。水質調査地点は図 6.1-13に示すとおりである。

平成 22 年度における各測定地点の測定結果は表 6.1-42～表 6.1-44に示すとおりである。

調査結果は、生活環境項目については広瀬川の愛宕橋、梅田川の大田見橋、枯木橋では pH が環境基準値を超える月がみられる。また、広瀬川の愛宕橋で大腸菌群数が環境基準値を超える月がみられる。

広瀬川（愛宕橋）で水質のダイオキシン類監視調査が実施されおり、その結果は、表 6.1-45のとおりであり、平成 19 年度から 22 年度のいずれも環境基準を満たしている。

表 6.1-42 地表水の水質調査結果(生活環境項目 平成 22 年度)

河川名	地点名	環境基準		pH	DO (mg/ℓ)	BOD (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)	大腸菌群数 (MPN/100mℓ)
		類型 (1)	達成 期間 (2)	最小 ～最大 (年平均) 75%値	最小 ～最大 (年平均) 75%値	最小 ～最大 (年平均) 75%値	最小 ～最大 (年平均) 75%値	最小～最大 (年平均) 75%値
広瀬川	愛宕橋	B	□	7.4 ～8.6 (7.9) 8.5	9.7 ～15 (12) 13	<0.5 ～1.1 (0.8) 0.9	1 ～13 (4) 6	2.2×10 <sup>2</sup> ～3.5×10 <sup>4</sup> (8.6×10 <sup>3</sup> ) 1.1×10 <sup>4</sup>
梅田川	大田見橋	C	イ	7.8 ～8.8 (8.1) 8.2	9.2 ～15 (12) 14	<0.5 ～1.2 (0.7) 0.8	<1 ～3 (2) 2	4.9×10 <sup>2</sup> ～3.3×10 <sup>4</sup> (9.8×10 <sup>3</sup> ) 1.4×10 <sup>4</sup>
	杉戸橋	C	イ	7.9 ～8.5 (8.1) 8.1	8.3 ～15 (11) 14	<0.5 ～1.0 (0.6) 0.6	<1 ～6 (2) 3	1.7×10 <sup>2</sup> ～1.3×10 <sup>5</sup> (2.2×10 <sup>4</sup> ) 2.4×10 <sup>4</sup>
	枯木橋	C	イ	8.1 ～9.0 (8.4) 8.5	8.7 ～14 (11) 13	<0.5 ～0.9 (0.6) 0.5	<1 ～7 (2) 2	1.3×10 <sup>2</sup> ～1.7×10 <sup>4</sup> (3.6×10 <sup>3</sup> ) 4.6×10 <sup>3</sup>
環境基準		B	-	6.5 以上 8.5 以下	5.0mg/ℓ 以上	3mg/ℓ 以下	25mg/ℓ 以下	5000MPN /100mℓ
		C	-	6.5 以上 8.5 以下	5.0mg/ℓ 以上	5mg/ℓ 以下	50mg/ℓ 以下	-

1：環境基準欄の類型は以下のとおり(河川)

- AA...水道 1 級，自然環境保全及び A 以下の欄に掲げるもの
- A...水道 2 級，水産 1 級，水浴及び B 以下の欄に掲げるもの
- B...水道 3 級，水産 2 級及び及び C 以下の欄に掲げるもの
- C...水産 3 級，工業用水 1 級及び D 以下の欄に掲げるもの
- D ...工業用水 2 級，農業用水及び E の欄に掲げるもの
- E...工業用水 3 級環境保全

2：環境基準欄の達成期間は以下のとおり

- イ...直ちに達成
- ロ...5 年以内に可及的すみやかに達成
- ハ...5 年を超える期間で可及的すみやかに達成

出典：「公害関係資料集」(平成 23 年版 仙台市環境局)

表 6.1-43 水質測定結果(健康項目 平成 22 年度)(1/2)

水域名	地点名	カドミウム		全シアン		鉛		六価クロム		砒素		総水銀	
		m/n	平均値	m/n	最高値	m/n	平均値	m/n	平均値	m/n	平均値	m/n	平均値
広瀬川	愛宕橋	0/4	<0.001	0/4	ND	0/4	<0.005	0/4	<0.02	0/4	<0.005	0/4	<0.0005
環境基準		0.003mg/ℓ 以下		検出されないこと。		0.01mg/ℓ 以下		0.05mg/ℓ 以下		0.01mg/ℓ 以下		0.0005mg/ℓ 以下	

水域名	地点名	アルキル水銀		PCB		ジクロロメタン		四塩化炭素		1,2-ジクロロエタン		1,1-ジクロロエチレン	
		m/n	平均値	m/n	平均値	m/n	平均値	m/n	平均値	m/n	平均値	m/n	平均値
広瀬川	愛宕橋	0/2	ND	0/2	ND	0/4	<0.002	0/4	<0.0002	0/4	<0.0004	0/4	<0.002
環境基準		検出されないこと。		検出されないこと。		0.02mg/ℓ 以下		0.002mg/ℓ 以下		0.004mg/ℓ 以下		0.02mg/ℓ 以下	

水域名	地点名	シス-1,2-ジクロロエチレン		1,1,1-トリクロロエタン		1,1,2-トリクロロエタン		トリクロロエチレン		テトラクロロエチレン		1,3-ジクロロプロペン	
		m/n	平均値	m/n	平均値	m/n	平均値	m/n	平均値	m/n	平均値	m/n	平均値
広瀬川	愛宕橋	0/4	<0.004	0/4	<0.0005	0/4	<0.0006	0/4	<0.002	0/4	<0.0005	0/4	<0.0002
環境基準		0.04mg/ℓ 以下		1mg/ℓ 以下		0.006mg/ℓ 以下		0.03mg/ℓ 以下		0.01mg/ℓ 以下		0.002mg/ℓ 以下	

水域名	地点名	チウラム		シマジン		チオベンカルブ		ベンゼン		セレン		硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	
		m/n	平均値	m/n	平均値	m/n	平均値	m/n	平均値	m/n	平均値	m/n	平均値
広瀬川	愛宕橋	0/4	<0.0006	0/4	<0.0003	0/4	<0.001	0/4	<0.001	0/4	<0.002	0/12	0.26
梅田川	大田見橋	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0/12	0.35
	杉戸橋	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0/12	0.41
	枯木橋	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0/12	0.34
環境基準		0.006mg/ℓ 以下		0.003mg/ℓ 以下		0.02mg/ℓ 以下		0.01mg/ℓ 以下		0.01mg/ℓ 以下		10mg/ℓ 以下	

1:「m/n」とは、「環境基準を越えた検体数/総検体数」である。

2:「ND」とは、定量下限値未満を示し、定量下限値は次のとおり。

全シアン(0.1mg/ℓ), アルキル水銀(0.0005mg/ℓ), PCB(0.0005mg/ℓ)

出典:「公害関係資料集」(平成 23 年版 仙台市環境局)

表 6.1-44 水質測定結果(健康項目 平成 22 年度)(2/2)

水域名	地点名	ふっ素		ほう素		1,4-ジオキシサン	
		m/n	平均値	m/n	平均値	m/n	平均値
広瀬川	愛宕橋	0/4	<0.08	0/4	0.09	0/4	<0.005
環境基準		0.8mg/ℓ 以下		1mg/ℓ 以下		0.05mg/ℓ 以下	

1:「m/n」とは、「環境基準を越えた検体数/総検体数」である。

出典:「公害関係資料集」(平成 23 年版 仙台市環境局)

表 6.1-45 水質のダイオキシン類監視結果(平成 19 年度~22 年度)

(単位:pg-TEQ/L)

年度	19	20	21	22
項目	0.071	0.040	0.059	0.048
ダイオキシン				
環境基準	1			

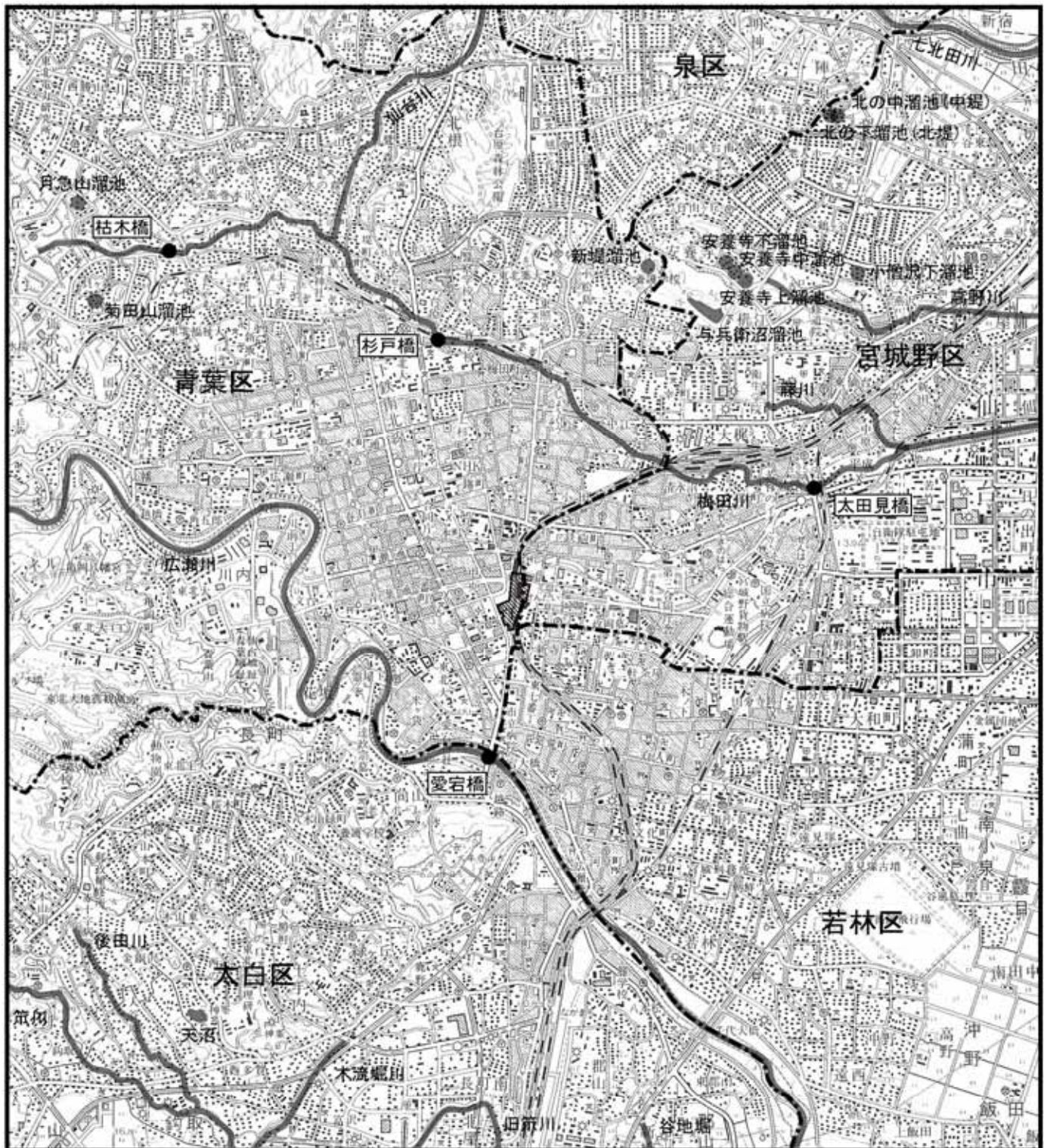
1 調査日:平成 19 年 9 月 4 日~5 日, 21 日, 12 月 12 日~14 日

平成 20 年 9 月 9 日~11 日, 11 月 26 日~12 月 1 日

平成 21 年 9 月 29 日~10 月 1 日, 11 月 25 日~11 月 27 日

平成 22 年 10 月 26 日~28 日

出典:「公害関係資料集」(平成 20 年版~平成 23 年版 仙台市環境局)



凡 例

▨ : 対象事業計画地

--- : 区境界線

● : 水質調査地点



S=1:50,000

0 500 1000 2000m

図 6.1-13

水質調査地点

出典:「公害関係資料集」(平成20年版 仙台市環境局)



発生源の状況

図 5.2-1 に示す関係地域範囲内での水質汚濁防止法による特定施設は表 6.1-46のとおりであり、「洗たく業の用に供する洗浄施設」が最も多くなっている。

また、関係地域範囲内での下水道法に基づく特定事業場は表 6.1-47のとおりであり「総床面積が 420m<sup>2</sup>以上の飲食店に設置されるちゅう房施設」が最も多く、次いで「写真現像業の用に供する自動式フィルム現像洗浄施設」となっている。

表 6.1-46 水質汚濁防止法による特定施設

No.	施設名称	施設数
67	洗たく業の用に供する洗浄施設	2
71	自動式車両洗浄施設	1
71 の 2	科学技術（人文科学のみに係るものを除く。）に関する研究，試験，検査又は専門教育を行う事業場で環境省令で定めるもの（ ）に設置されるそれらの業務の用に供する施設であって，次に掲げるもの イ 洗浄施設 ロ 焼入れ施設 環境省令で定める事業場は次に掲げる事業場とする 1 国又は地方公共団体の試験研究機関（人文科学のみに係るものを除く。） 2 大学及びその附属試験研究機関（人文科学のみに係るものを除く。） 3 学術研究（人文科学のみに係るものを除く。）又は製品の製造若しくは技術の改良，考案若しくは発明に係る試験研究を行う研究所（前 2 号に該当するものを除く。） 4 農業，水産又は工業に関する学科を含む専門教育を行う高等学校，専修学校，各種学校，高等専門学校，職員訓練施設又は職業訓練施設 5 保健所 6 検疫所 7 動物検疫所 8 植物検疫所 9 家畜保健衛生所 10 検査業に属する事業場 11 商品検査業に属する事業場 12 臨床検査業に属する事業場 13 犯罪鑑識施設	1
計		4

出典：水質汚濁防止法に基づく特定施設届出一覧（平成 22 年 3 月 31 日現在）

表 6.1-47 下水道法に基づく特定施設

No.	施設名称	施設数
3(イ)(ロ)	水産食料品製造業((イ)水産動物原料処理施設・(ロ)洗浄施設)	1
4(イ)(ロ)(ハ)	野菜又は果実を原料とする保存食料品製造業((イ)原料処理施設・(ロ)洗浄施設・(ハ)圧搾施設)	1
5	みそ、しょう油、食用アミノ酸、グルタミン酸ソーダ、ソース又は食酢の製造業	2
5(ロ)	みそ、しょう油、食用アミノ酸、グルタミン酸ソーダ、ソース又は食酢の製造業(洗浄施設)	2
8	パン若しくは菓子の製造業又は製あん業の用に供する粗製あんの沈でんそう	1
10(ロ)	飲料製造業(洗浄施設(洗びん施設を含む))	1
10(ロ)(ニ)	飲料製造業(洗浄施設(洗びん施設を含む))・ろ過施設	2
16	めん類製造業の用に供する湯煮施設	2
17	豆腐又は煮豆の製造業の用に供する湯煮施設	9
19(ニ)(ト)	紡績業又は繊維製品の製造業若しくは加工業((ニ)精練機及び精練そう・(ト)染色施設)	1
23の2(イ)	新聞業、出版業、印刷業又は製版業(自動式フィルム現像洗浄施設)	5
23の2(ロ)	新聞業、出版業、印刷業又は製版業(自動式感光膜付印刷版現像洗浄施設)	1
23の2(イ)(ロ)	新聞業、出版業、印刷業又は製版業((イ)自動式フィルム現像洗浄施設・(ロ)自動式感光膜付印刷版現像洗浄施設)	1
66の2	旅館業(旅館業法(昭和23年法律第138号)第2条第1項に規定するもので下宿営業を除く)	12
66の2(ハ)	旅館業(旅館業法(昭和23年法律第138号)第2条第1項に規定するもので下宿営業を除く)(入浴施設)	5
66の4	総床面積が360m <sup>2</sup> 以上の弁当仕出屋又は弁当製造業の用に供するちゅう房施設	1
66の5	総床面積が420m <sup>2</sup> 以上の飲食店(66の6及び66の7に掲げるものを除く <sup>(1)</sup> )に設置されるちゅう房施設	47
66の6	総床面積が630m <sup>2</sup> 以上のそば店、うどん店、すし店のほか、喫茶店その他の通常主食と認められる食事を提供しない飲食店(66の7 <sup>(1)</sup> に掲げるものを除く)に設置されるちゅう房施設	5
67	洗たく業の用に供する洗浄施設	21
68	写真現像業の用に供する自動式フィルム現像洗浄施設	38
68の2(イ)(ロ)(ハ)	病院(医療法(昭和23年法律第205号)第1条の5第1項に規定するものをいう)で病床数が300以上であるもの(ちゅう房施設・洗浄施設・入浴施設)	3
71	自動式車両洗浄施設	27
71の2	科学技術(人文科学のみに係るものを除く)に関する研究、試験、検査又は専門教育を行う以下の1～13の事業場に設置されるそれらの業務の用に供する施設であって、次に掲げるもの((イ)洗浄施設・(ロ)焼入れ施設) 1. 国又は地方公共団体の試験研究機関(人文科学のみに係るものを除く) 2. 大学及びその附属試験研究機関(人文科学のみに係るものを除く) 3. 学術研究(人文科学のみに係るものを除く)又は製品の製造若しくは技術の改良、考案、若しくは発明に係る試験研究を行う研究所(1・2に該当するものを除く) 4. 農業・水産又は工業に関する学科を含む専門教育を行う高等学校、高等専門学校、専修学校、各種学校、職員訓練施設又は職業訓練施設 5. 保健所 6. 検疫所 7. 動物検疫所 8. 植物検疫所 9. 家畜保健衛生所 10. 検査業に属する事業場 11. 商品検査業に属する事業場 12. 臨床検査業に属する事業場 13. 犯罪鑑識施設	2
71の2(イ)	科学技術(人文科学のみに係るものを除く)に関する研究、試験、検査又は専門教育を行う以下の1～13の事業場に設置されるそれらの業務の用に供する施設であって、次に掲げるもの((イ)洗浄施設) 1. 国又は地方公共団体の試験研究機関(人文科学のみに係るものを除く) 2. 大学及びその附属試験研究機関(人文科学のみに係るものを除く) 3. 学術研究(人文科学のみに係るものを除く)又は製品の製造若しくは技術の改良、考案、若しくは発明に係る試験研究を行う研究所(1・2に該当するものを除く) 4. 農業・水産又は工業に関する学科を含む専門教育を行う高等学校、高等専門学校、専修学校、各種学校、職員訓練施設又は職業訓練施設 5. 保健所 6. 検疫所 7. 動物検疫所 8. 植物検疫所 9. 家畜保健衛生所 10. 検査業に属する事業場 11. 商品検査業に属する事業場 12. 臨床検査業に属する事業場 13. 犯罪鑑識施設	16
74	特定事業場から排出される水(公共用水域に排出されるものを除く)の処理施設(し尿処理施設・下水道終末処理施設以外)	4
計		210

(1) 66の6: 総床面積が630m<sup>2</sup>以上のそば店、うどん店、すし店のほか、喫茶店その他の通常主食と認められる食事を提供しない飲食店(66の7に掲げるものを除く)に設置されるちゅう房施設

66の7: 総床面積が1,500m<sup>2</sup>以上の料亭、バー、キャバレー、ナイトクラブその他これに類する飲食店で設備を設けて客の接待をし、又は客にダンスをさせるものに設置されるちゅう房施設

出典: 下水道法に基づく特定施設届出一覧(平成22年3月31日現在)

## 水質に係る苦情の状況

仙台市における過去 5 年間の水質に係る苦情件数の推移は、表 6.1-48に示すとおりである。  
苦情件数は 3 件～7 件の間で推移しており、平成 22 年度は過去 5 年間のうち最大の 7 件である。

表 6.1-48 水質に係る苦情件数の経年変化(平成 17 年度～平成 21 年度)

項目 \ 年度	18	19	20	21	22
水質	5	6	6	3	7

出典：「公害関係資料集」(平成 23 年度版 仙台市環境局)

## (2) 底質

### ア．底質の状況

調査範囲では、広瀬川（愛宕橋）で底質のダイオキシン類監視調査が実施されている。なお、その他の調査は本調査範囲内では実施されていない。

広瀬川（愛宕橋）におけるダイオキシンの監視結果は、表 6.1-49のとおりであり、平成 19 年度～22 年度のいずれも環境基準を満たしている。

表 6.1-49 底質のダイオキシン類監視結果（平成 19 年度～22 年度）

（単位：pg-TEQ/g）

項目 \ 年度	19	20	21	22
ダイオキシン	0.64	0.59	0.85	0.49
環境基準	150			

1 調査日：平成 19 年 9 月 4 日～5 日，9 月 21 日，平成 20 年 9 月 9 日～11 日，平成 21 年 9 月 29 日～10 月 1 日，平成 22 年 10 月 26 日～28 日

出典：「公害関係資料集」(平成 19 年版～平成 22 年版 仙台市環境局)

## 底質汚染の発生源の状況

図 5.2-1 に示す関係地域範囲内では、土壌汚染対策法で規定する有害物質使用特定施設の届出は報告されていない。

### (3) 地下水汚染

#### ア．地下水汚染の状況

##### 地下水質の状況

調査範囲では，平成 22 年度に青葉区，宮城野区，若林区，太白区，泉区の 9 地域で地下水質調査(概況調査)が，青葉区，宮城野区，若林区，太白区の 10 地域で地下水質調査(継続監視調査)が実施されている。地下水質調査結果は，表 6.1-50～表 6.1-52に，調査地域は図 6.1-14に示すとおりである。

平成 22 年度における概況調査では，環境基準を超過している地区はない。

平成 22 年度における継続監視調査では，青葉区(第三次メッシュコード 5740-36-19) ，宮城野区(第三次メッシュコード 5740-37-24)及び若林区 B(第三次メッシュコード 5740-27-62)の 3 地区でテトラクロロエチレンが環境基準を超過している。また，青葉区(第三次メッシュコード 5740-36-18)で硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素，宮城野区(第三次メッシュコード 5740-37-13)で六価クロムが環境基準を超過している。

なお，平成 22 年度に調査範囲内でダイオキシン類の調査は実施されていない。



表 6.1-50 地下水質調査結果(概況調査)(1/2)

単位：mg/L

調査項目	地区	青葉区	青葉区	青葉区	宮城野区
	第三次メッシュコード	5740-36-46	5740-36-17	5740-26-99	5740-37-23
	調査日	H22.12.8	H22.12.8	H22.12.8	H22.12.2
	環境基準				
水温	-	15.2	16.3	14.6	14.7
pH	-	6.7	7.0	7.2	7.8
カドミウム	0.003	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
全シアン	検出されないこと	N D	N D	N D	ND
鉛	0.01	<0.005	<0.005	0.006	<0.005
六価クロム	0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
砒素	0.01	0.006	<0.005	<0.005	<0.005
総水銀	0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀	検出されないこと	N D	N D	N D	ND
PCB	検出されないこと	N D	N D	N D	ND
ジクロロメタン	0.02	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
四塩化炭素	0.002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	0.004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	0.1	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン	1	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
1,1,2-トリクロロエタン	0.006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	0.03	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	0.01	<0.0005	0.0047	0.0047	<0.0005
1,3-ジクロロプロペン	0.002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
チウラム	0.006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
シマジン	0.003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	0.02	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ベンゼン	0.01	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
セレン	0.01	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10	0.97	2.9	2.6	6.8
ふっ素	0.8	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08
ほう素	1.0	<0.01	0.04	0.02	0.02
1,4-ジオキサン	0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
塩化ビニルモノマー	0.002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002

：単位は、水温( ), pH( ), その他の調査項目は(mg/L)

出典：「公害関係資料集」(平成 23 年版 仙台市環境局)

表 6.1-51 地下水質調査結果(概況調査)(2/2)

単位：mg/L

調査項目	地区	若林区	若林区	若林区	太白区	泉区
	第三次メッシュコード	5740-27-93	5740-27-84	5740-27-83	5740-27-52	5740-36-69
	調査日	H23.1.27	H23.1.27	H23.1.27	H22.12.1	H23.1.13
	環境基準					
水温	-	15.8	14.4	14.9	15.7	13.0
pH	-	6.4	7.0	6.6	7.6	6.8
カドミウム	0.003	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
全シアン	検出されないこと	N D	N D	N D	N D	N D
鉛	0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
六価クロム	0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
砒素	0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
総水銀	0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀	検出されないこと	N D	N D	N D	N D	N D
PCB	検出されないこと	N D	N D	N D	N D	N D
ジクロロメタン	0.02	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
四塩化炭素	0.002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	0.004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	0.1	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン	1	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
1,1,2-トリクロロエタン	0.006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	0.03	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	0.01	0.0031	<0.0005	0.0078	<0.0005	<0.0005
1,3-ジクロロプロペン	0.002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
チウラム	0.006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
シマジン	0.003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	0.02	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ベンゼン	0.01	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
セレン	0.01	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10	4.6	0.68	3.8	0.29	0.40
ふっ素	0.8	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08
ほう素	1.0	0.05	0.02	0.06	0.04	<0.01
1,4-ジオキサン	0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
塩化ビニルモノマー	0.002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002

：単位は、水温( )，pH(-)，その他の調査項目は(mg/L)  
 出典：「公害関係資料集」(平成 23 年版 仙台市環境局)

表 6.1-52 地下水質調査結果(継続監視調査)

単位:mg/L

調査項目	地区	青葉区	宮城野区	若林区 A	若林区 B	太白区
	第三次メッシュコード	5740-36-19	5740-37-24	5740-27-62	5740-27-62	5740-27-51
	調査日 環境基準	H22.8.3	H22.8.3	H22.8.3	H22.8.3	H22.8.3
水温	-	13.9	16.2	15.1	15.3	18.5
pH	-	6.3	6.7	6.5	6.7	6.5
1,1-ジクロロエチレン	0.02	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
1,1,1-トリクロロエタン	1	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
トリクロロエチレン	0.03	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002
テトラクロロエチレン	0.01	0.012	0.025	0.006	0.024	<0.0005
1,4-ジオキサン	0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
塩化ビニルモノマー	0.002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004

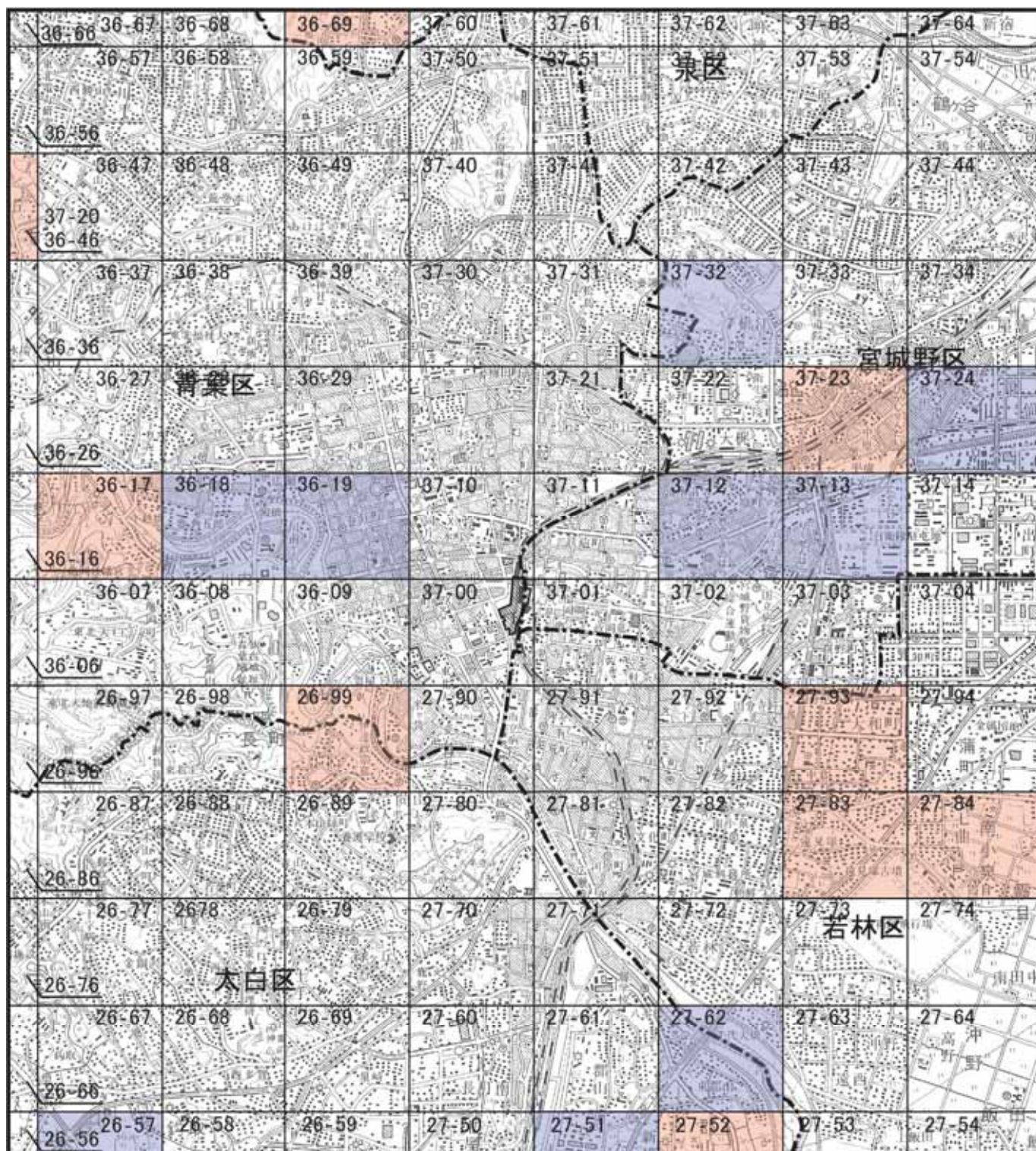
調査項目	地区	青葉区	宮城野区	太白区
	第三次メッシュコード	5740-36-18	5740-37-32	5740-26-57
	調査日 環境基準	H22.8.19	H22.8.19	H22.8.3
水温	-	14.7	15.0	14.6
pH	-	6.3	7.0	6.4
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10	11	0.96	3.5
亜硝酸性窒素	-	<0.005	<0.005	<0.005
アンモニア性窒素	-	<0.05	<0.05	<0.05

調査項目	地区	宮城野区	
	第三次メッシュコード	5740-37-12	5740-37-13
	調査日 環境基準	H22.7.23	H22.7.23
水温	-	14.7	16.6
pH	-	6.2	6.3
六価クロム	0.05	0.02	0.07
総クロム	-	0.028	0.072

：単位は、水温( )，pH(-)，その他の調査項目は(mg/L)  
出典：「公害関係資料集」(平成 23 年版 仙台市環境局)

#### 発生源の状況

図 5.2-1 に示す関係地域範囲内における、水質汚濁防止法による特定施設は表 6.1-46に示すとおりであり、「洗たく業の用に供する洗浄施設」が最も多くなっている。



#### 凡 例

-  : 対象事業計画地
-  : 区境界線
-  : 概況調査地点
-  : 継続監視調査地点



S=1:50,000

0 500 1000 2000m

図 6.1-14  
地下水質調査地点

出典:「公害関係資料集」(平成23年版 仙台市環境局)

※各メッシュ内の番号はメッシュコードを表すが、1次メッシュ番号(5740)は省略した。



(4) 水象

ア．水象の状況

河川・湖沼等の概要

調査範囲の水象の状況は、表 6.1-53、表 6.1-54、及び図 6.1-15に示すとおりである。

計画地の北側には二級河川七北田川水系の河川（七北田川・梅田川・高野川・藤川・仙台川）が流れている。一方、南側には一級河川名取川水系の河川（広瀬川・笹川・旧笹川・木流堀川・後田川）及び準用河川である谷地堀が流れている。

また、調査範囲内の湖沼は表 6.1-54に示すとおりであり、湧水地点は表 6.1-56及び、表 6.1-57に示すとおりである。

表 6.1-53 調査範囲の主な河川

No.	種別	水系	河川名	管理者	総延長(m)	仙台市域分(m)
1	一級河川	一級河川 名取川水系	広瀬川	大臣	3,900	3,900
				知事	36,135	36,135
				計	40,035	40,035
2			笹川	大臣	2,500	2,500
				知事	3,700	3,700
				計	6,200	6,200
3			旧笹川	知事	5,150	5,150
4			木流堀川	知事	1,320	1,320
5			後田川	知事	2,200	2,200
6	二級河川	二級河川 七北田川水系	七北田川	知事	40,899	40,899
梅田川			知事	11,315	11,315	
			市長	1,720	1,720	
			計	13,035	13,035	
8			高野川	知事	3,900	3,900
9			藤川	知事	1,500	1,500
10			仙台川	知事	4,300	4,300
11	準用河川	-	谷地堀	市長	890	890

出典：「仙台市の河川」（仙台市ホームページ）

表 6.1-54 調査範囲の主な湖沼

No.	名称	所在地
1	新堤溜池	宮城県仙台市青葉区小松島新堤 25-1
2	月急山溜池	宮城県仙台市青葉区中山三丁目 5-1
3	菊田山溜池	宮城県仙台市青葉区貝ヶ森一丁目 11
4	天沼	宮城県仙台市太白区三神峯
5	安養寺上溜池	宮城県仙台市宮城野区安養寺二丁目 4-1
6	安養寺中溜池	宮城県仙台市宮城野区安養寺二丁目 7-1
7	安養寺下溜池	宮城県仙台市宮城野区安養寺二丁目 13
8	与兵衛沼溜池	宮城県仙台市宮城野区蟹沢 15
9	北の下溜池（北堤）	宮城県仙台市宮城野区鶴ヶ谷北二丁目 1-1
10	北の中溜池（中堤）	宮城県仙台市宮城野区鶴ヶ谷北二丁目 5
11	小憎沢下溜池	宮城県仙台市宮城野区燕沢二丁目 15-1

出典：「平成 15 年度 自然環境に関する基礎調査業務報告書」（平成 16 年 2 月 仙台市）

#### 地下水・湧水の概要

仙台市では、「宮城県公害防止条例」及び「工業用水法」に基づき地下水採水規制を行っており、新增設井戸の届出、地下水採取量の記録、報告の義務付けを行うとともに、知事による地下水採水量の削減と水源の転換の勧告を行っている。「宮城県公害防止条例」に基づく地下水採水規制地域及び「工業用水法」に基づく指定地域は、図 6.1-15に示すとおりであり、計画地は対象範囲外である。

「仙台市水環境プラン～都市を支える水循環の健全化をめざして～」(平成 11 年 3 月 仙台市)によると、計画地の位置する市街地中心部の主な地下水は、広瀬川により形成された厚さ数 m の砂礫層が中に存在する浅層地下水とされている。1970 年代後半に比べて、都市化による舗装面の増加や緑地の減少、ビルの林立等地下建造物の建設等の影響から、地下水の水位低下が顕著な地域がみられ、現在の低水位期における調査範囲の地下水位は地表下約 4m とされている。

また、調査範囲の湧水的位置は、表 6.1-56、表 6.1-57、及び図 6.1-15に示すとおりであり、現存する湧水としては、鹿子湧水、山上湧水、弘法水、柳沢波切不動尊清水、大崎八幡宮内井戸、道交会館の湧水、御清水(おすず)、清水門などがある。

仙台市における飲用井戸の設置数は、表 6.1-55に示すとおりである。仙台市全体では 5,325 箇所の飲用井戸が設置されており、そのうち計画地の位置する宮城野区は 41 箇所で市全体の 0.8%、青葉区は 1,035 箇所で市全体の 19.4%である。

表 6.1-55 仙台市における飲用井戸の設置数（平成 11 年度末現在）

区	飲用井戸数（箇所）
仙台市	5,325
青葉区	1,035
宮城野区	41
若林区	2,087
太白区	1,816
泉区	346

出典：「飲用井戸水等調査報告書」(平成 13 年 3 月 仙台市)

#### 水辺の状況

河川、湖沼の状況は「河川・湖沼等の概要」に示したとおりであり、動植物の状況は「6.1.4 生物環境」に、地形の状況は「6.1.3 土壌環境」に示す。

#### 水源地の状況（工業用水）

宮城県企業局が行う工業用水事業のうち計画地に係る事業としては「仙塩工業用水事業」、「仙台圏工業用水事業」がある。

「仙塩工業用水事業」は、昭和 36 年 11 月から仙塩地区への給水が開始され、地盤沈下が顕著な仙台市苦竹地区等においては、地下水に代わる水源としての大きな役割を果たしている。また、平成 6 年 4 月からは、仙台市泉地区及び富谷町成田地区への給水を開始している。

「仙台圏工業用水事業」は、仙台港背後地の工業開発により既設の仙塩工業用水道事業のみでは需要に応ずる余力がなくなることが見込まれたことから、昭和 51 年 10 月から給水を開始している。仙台港背後地のほか、名取市及び利府町の企業にも給水している。

なお、詳細は「3.2.3 社会資本整備等（4）工業用水」に示す。

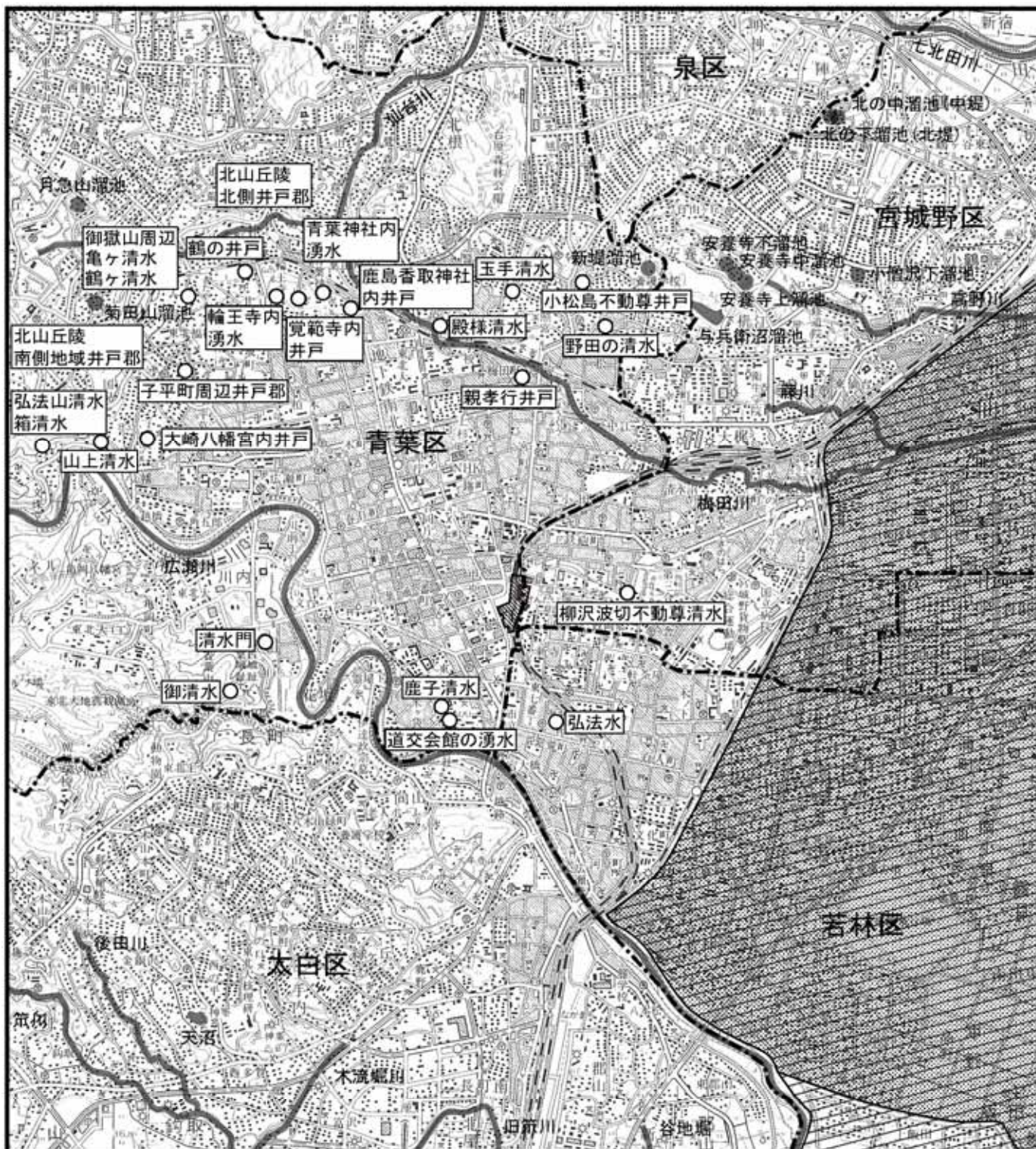
#### 水源地の状況（農業用水）

調査範囲では、広瀬川や笹川、梅田川に農業用の堰や揚水機が設置されている。






「農業用水施設台帳(河川取水施設)改訂五版」(平成 20 年 3 月 宮城県)によると、広瀬川には郡山堰と愛宕堰があり、取水量は郡山堰が  $0.161\text{m}^3/\text{秒} \sim 0.180\text{m}^3/\text{秒}$ 、愛宕堰が  $6.045\text{m}^3/\text{秒} \sim 7.425\text{m}^3/\text{秒}$ とされている。笹川には苗代揚水機、紅堂揚水機の 2 機があり、取水量は苗代揚水機が  $0.010\text{m}^3/\text{秒} \sim 0.015\text{m}^3/\text{秒}$ 、紅堂揚水機が  $0.100\text{m}^3/\text{秒}$ とされている。梅田川には杉下堰、荒巻三番堰、荒巻二番堰があり、取水量は杉下堰が  $0.200\text{m}^3/\text{秒}$ 、荒巻三番堰が  $0.004\text{m}^3/\text{秒} \sim 0.030\text{m}^3/\text{秒}$ 、荒巻二番堰が  $0.035\text{m}^3/\text{秒}$ となっている。

なお、詳細は「6.2.3 社会資本整備等（5）農業用水」に示す。





# 凡 例

-  : 対象事業計画地
-  : 区境界線
-  : 河川
-  : 宮城県公害防止条例に基づく地下水採取規制地域
-  : 工業用水法に基づく指定地域
- : 湧水地点(現存)

出典:1.「湧水保全ポータルサイト」:<http://www.env.go.jp/water/yusui/>(環境省)  
 2.「平成15年度 自然環境に関する基礎調査業務報告書」(平成16年2月 仙台市)  
 3.「宮城県公害防止条例」(昭和46年 宮城県条例第12号)  
 4.「工業用水法」(昭和31年6月 法律第146号)



S=1:50,000

0 500 1000 2000m

図 6.1-15  
調査範囲の水象の状況



表 6.1-56 調査範囲における湧水地点（1/2）

No.	名称	所在地	現状	概要
1	鹿子清水	青葉区米ヶ袋 2 丁目	現存 水量減	仙台三清水に挙げられていた。民家宅地内にあり、池の水として利用されていたが、水量が減り、利用されなくなった。
2	山上清水	青葉区八幡 5 丁目	現存 飲用不可	仙台三清水に挙げられていた。昔は付近の民家等で使用されていたが、近年は利用する人も少なくなり、水位も低下し透明度も低下した。
3	箱清水	青葉区八幡 6 丁目	現存	民家宅地内に現存。波切不動がかつてあり、それが箱に入っていたことが名称の由来と言われている。地域の重要な水源と共に信仰の中心でもあったらしい。
4	野田の清水	青葉区高松 2 丁目	現存	万寿寺境内に保存されている。伊達家のせん茶用として使用されていたとされる。30 年前までは、飲料水や生活用水として使用されていた。
5	小松島不動尊井戸	青葉区小松島 4 丁目	現存	小松島不動尊内に現存。近年、水位が低下してきたため、モーターで汲み上げている。
6	弘法水	若林区荒町	現存	皎林寺境内に保存されている。現在も煮沸して飲用している他、生活用水や墓園用水として使用している。
7	玉手清水	青葉区台原 7 丁目	現存	民家宅地内にあり、煮沸しなければ飲用不可だが、コンクリートの蓋を付けて永久保存を図るとともに、家庭用水として使用されている。
8	殿様清水	青葉区台原緑地公園内	現存	殿様の茶の湯に使うため、城から汲みに来ていたと言われる。仙台市が台原緑地公園を整備したときに、集水樹を設けて湧水を保護した。
9	親孝行井戸	青葉区宮町 5 丁目	現存	バス停側のビルの一角にあり、水神様の祠と地蔵尊を建てられ保存されている。ビルの冷房及び雑用水などに利用されている。
10	柳沢波切不動尊清水	宮城野区榴ヶ岡	現存	かつては眼病に効くと参詣者が多かった。柳沢波切不動尊内にあり、石室の中に井戸として保存されている。
11	鹿島香取神社内井戸	青葉区青葉町	現存	かつては参道石段の両側に井戸があったが、現在は民家の中に保存されており、飲用以外の水に利用されている。周辺地域は他にも湧水が多く見られる。
12	青葉神社内湧水	青葉区青葉町	現存 未使用	かつては参道石段の脇を小川のように流れていた。現在は古井戸があるが、使われていない。付近には、湧水によると思われる池がある。
13	覚範寺内井戸	青葉区北山 1 丁目	現存	覚範寺内に木製の井戸枠で保存されており、ポンプにより汲み上げられ、墓地用水として利用されている。
14	輪王寺内湧水	青葉区北山 1 丁目	現存	輪王寺墓園内に湧く。周辺地域には他にも湧水が多く見られる。
15	北山丘陵南側地域井戸群	青葉区北山 1 丁目他	多数現存	周辺の寺などに多数の井戸が現存している。
16	北山丘陵北側井戸群	青葉区荒巻神明町他	多数現存	周辺の寺などに多数の井戸が現存している。
17	鶴の井戸	青葉区北山 2 丁目	現存	民家宅地内に現存する。古くから「根白石街道」や「中山街道」と言われた街道の道端にある。現在、利用されなくなったため湧水量は少なくなっている。
18	御獄山周辺	青葉区北山 3 丁目	多数現存	周辺域に多数の井戸や湧水が現存している。

出典：「平成 15 年度 自然環境に関する基礎調査業務報告書」（平成 16 年 2 月 仙台市）

表 6.1-57 調査範囲における湧水地点（2/2）

No.	名称	所在地	現状	概要
19	亀ヶ清水	青葉区北山 3 丁目	現存 未使用	古くから亀ヶ岡に湧いていたことから、名称の由来があるらしい。民家宅地内の崖から湧いており、池の水として利用されている。
20	鶴ヶ清水	青葉区北山 3 丁目	現存	元は池だったが、タンク式で民家の下に保存され、飲用以外に利用されている。
21	子平町周辺井戸群	青葉区子平町	多数現存	周辺域に多数の井戸や湧水が現存している。
22	大崎八幡宮内井戸	青葉区八幡 4 丁目	現存 未使用	神事を行う際は、井戸の側で清めを行っていたらしい。昭和 20 年代後半より水道の敷設により利用されなくなった。
23	弘法山清水	青葉区八幡 6 丁目	現存	かつて池であった道にコンクリートタンクを埋設し、湧水を保存した。パイプにより道端に湧出している。
24	道交会館の湧水	青葉区土樋 1 丁目	現存	道交会館の庭の崖から湧出しており、池を形成している。周辺にも湧水が現存する。
25	御清水	東北大学付属植物園内	現存	仙臺城の重要な湧水で、東北大学植物園内、大深沢の上流の海拔 120m のところにある。この水は、本丸の貯水槽に引いて水掘や飲料水として利用し、余った水は谷沿いに流して、中嶋池に注ぐように工夫されていた。この池の余り水は、外堀の長沼や首洗池にも流れ込むようになっており、長沼からしみ込んだ水は、三の丸周辺の武家屋敷の井戸水として広く利用されていた。
26	清水門	仙台市博物館裏	現存	仙台市博物館の裏手にあるこけむした石垣は、仙臺城、三の丸への入り口のひとつ、清水門の名残り。この脇には、仙臺藩御用酒造りに使われていた清水が今も湧いている。

出典：「平成 15 年度 自然環境に関する基礎調査業務報告書」（平成 16 年 2 月 仙台市）

### 6.1.3 土壌環境

#### (1) 地形・地質

##### ア. 地形の状況

##### 地形・地質の状況

調査範囲の地形の状況は、図 6.1-16に示すとおりである。

仙台市の地形は、西部の奥羽山脈東麓に沿って広がる陸前丘陵、中央部を西から東に流下する七北田川、広瀬川、名取川の各河川沿いに発達する河岸段丘、東部の仙台湾に沿って広がる沖積平野に大別され、西側から東側に移行するにつれて標高が低くなっている。

調査範囲は、青葉山丘陵、広瀬川台地、宮城野海岸平野が接する地域であり、計画地は広瀬川台地の中央部に位置している。

調査範囲における地形分類図は、図 6.1-16に示すとおりであり、計画地は、中位段丘面（Gt）にあたる。

調査範囲の地質の状況は、図 6.1-17に示すとおりである。

仙台市の地質は、広瀬川左岸を中心に礫層・砂層及び粘土層からなる河岸段丘堆積物や砂からなる自然堤防堆積物等が広く分布している。また、広瀬川右岸には表層のローム層と下位の砂礫層からなる青葉山層の他、下位の砂岩等からなる大年寺層、シルト岩・砂岩・凝灰岩等からなる向山層、竜の口層等が分布している。

なお、計画地は、礫層・砂層及び粘土層にあたる。

##### 注目すべき地形・地質

調査範囲における注目すべき地形・地質は、表 6.1-58及び図 6.1-18に示すとおりである。

学術上重要な地形として、計画地の南西部に位置する「青葉山丘陵と竜ノ口溪谷及びその下流部」が、丘陵地形・峡谷・風隙の典型的で学術的重要、かつ、動植物の重要な生育地として、「霊屋下セコイヤ類化石林」が化石産地としてあげられる。

また、地殻変動による地形として、「長町 - 利府線」、河川的作用による地形として、「虚空蔵淵」、「古竜ノ口川」、「広瀬川(牛越橋上流～愛宕橋間)」が、その他の地形として「竜ノ口溪谷 - 虚空蔵淵」が典型地形としてあげられる。

表 6.1-58 注目すべき地形及び地質

No.	名称	選定理由(1)				概要
1	青葉山丘陵と竜ノ口溪谷及びその下流部					・「広瀬川の清流を守る条例 特別環境保全区域 ・国指定天然記念物
2	霊屋下セコイヤ類化石林					・仙台市天然記念物
A	長町 - 利府線					・地殻変動による地形(撓曲崖)
B	虚空蔵淵					・河川的作用による地形(ナメ・淵)
C	古竜ノ口川					・河川的作用による地形(風隙)
D	広瀬川 (牛越橋上流～愛宕橋間)					・河川的作用による地形(瀬)
E	竜ノ口溪谷 - 虚空蔵淵					・その他の地形(地層の見える大露頭)
-	-	0	2	2	5	-

1: 選定理由は以下のとおり

「日本の地形レッドデータブック第2集」(平成14年 日本の地形レッドデータブック作成委員会)に記載されている地形

「平成15年度 自然環境に関する基礎調査業務報告書」(平成16年2月 仙台市)に掲載されている地形・地質

「平成6年度 自然環境基礎調査報告書」(平成8年3月 仙台市)に掲載されている地形・地質

「日本の典型地形 都道府県別一覧」(平成11年4月 国土地理院)に掲載されている地形

#### 災害危険地形

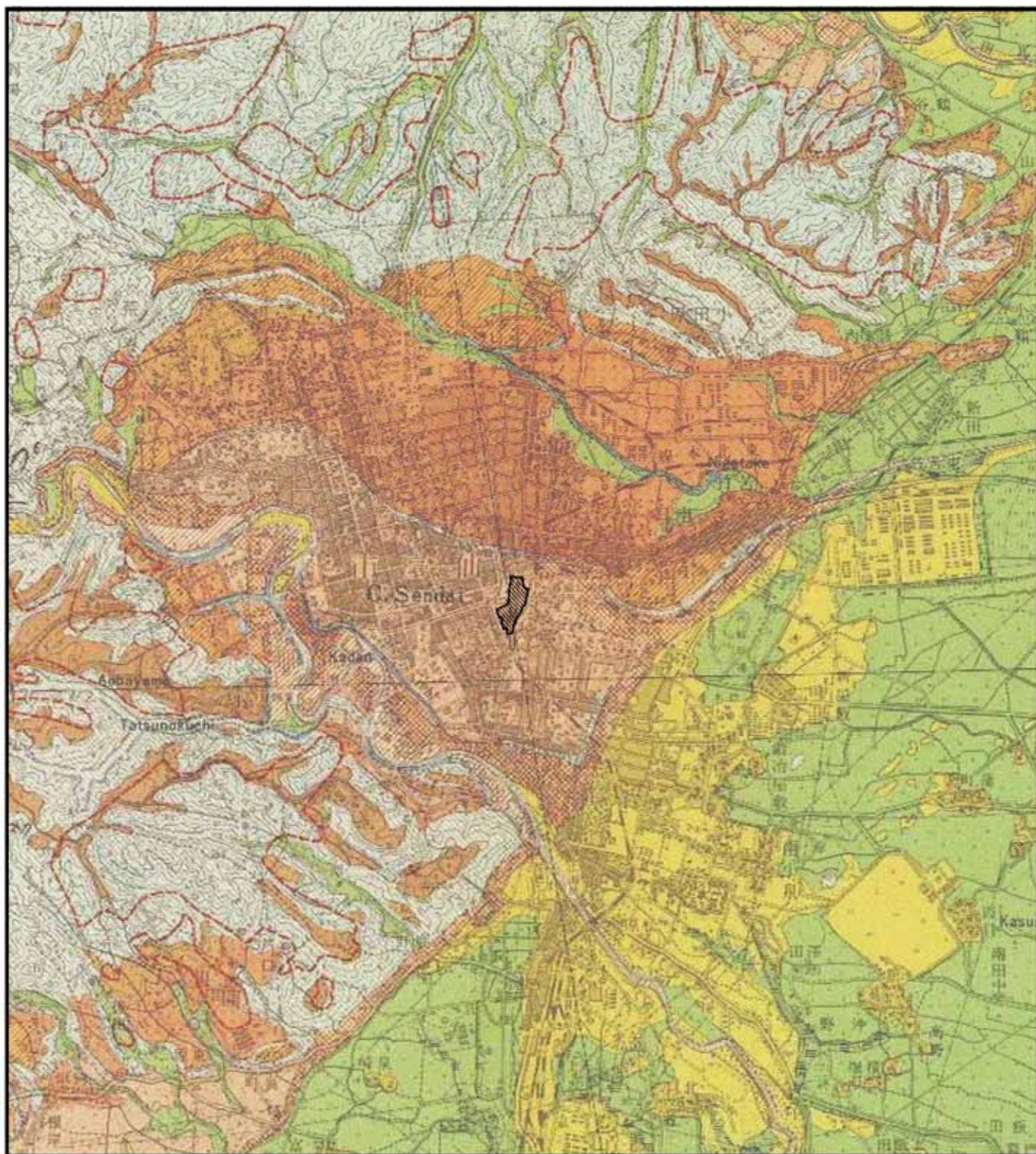
調査範囲における災害の危険箇所は図 6.1-19に示すとおりであり，青葉山，大年寺山を中心として，防災に係る法令（急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律・地すべり等防止法・砂防法）に関する指定地等が分布している。

#### 既往災害履歴

調査範囲において近年発生した災害は，昭和 53 年の宮城県沖地震や平成 15 年の宮城県北部地震，平成 17 年の宮城地震などがある。宮城県沖地震では，事業予定地の位置する仙台市内で震度 5 が観測され，宮城地震では震度 5 強を観測している。

平成 23 年 3 月 11 日には「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」が発生した。この地震は三陸沖を震源とするマグニチュード 9.0 という巨大地震で，事業予定地の位置する仙台市内をはじめ，宮城県，福島県，茨城県，栃木県で震度 6 強など広い範囲で強い揺れを観測した。また，太平洋沿岸を中心に高い津波を観測し，特に東北地方から関東地方の太平洋沿岸では大きな被害があった。





### 凡 例

: 対象事業計画地

〔丘陵地〕

: 丘頂緩斜面及び丘麓緩斜面

: 丘麓緩斜面

: 急斜面 (谷密度80以上)

: 急斜面 (谷密度80未満)

〔砂礫台地〕

: 上位段丘面(Gt I)

: 中位段丘面(Gt II<sup>+</sup>)

: 中位段丘面(Gt II)

: 下位段丘面(Gt III<sup>+</sup>)

: 下位段丘面(Gt III)

〔低地〕

: 谷底平野

: 自然堤防及び砂堆・浜堤

: 海岸平野

: 河原および浜

: 砂丘

〔その他〕

: 湿地

: 地すべり地形

: 崖

: 人工平坦地界



S=1:50,000

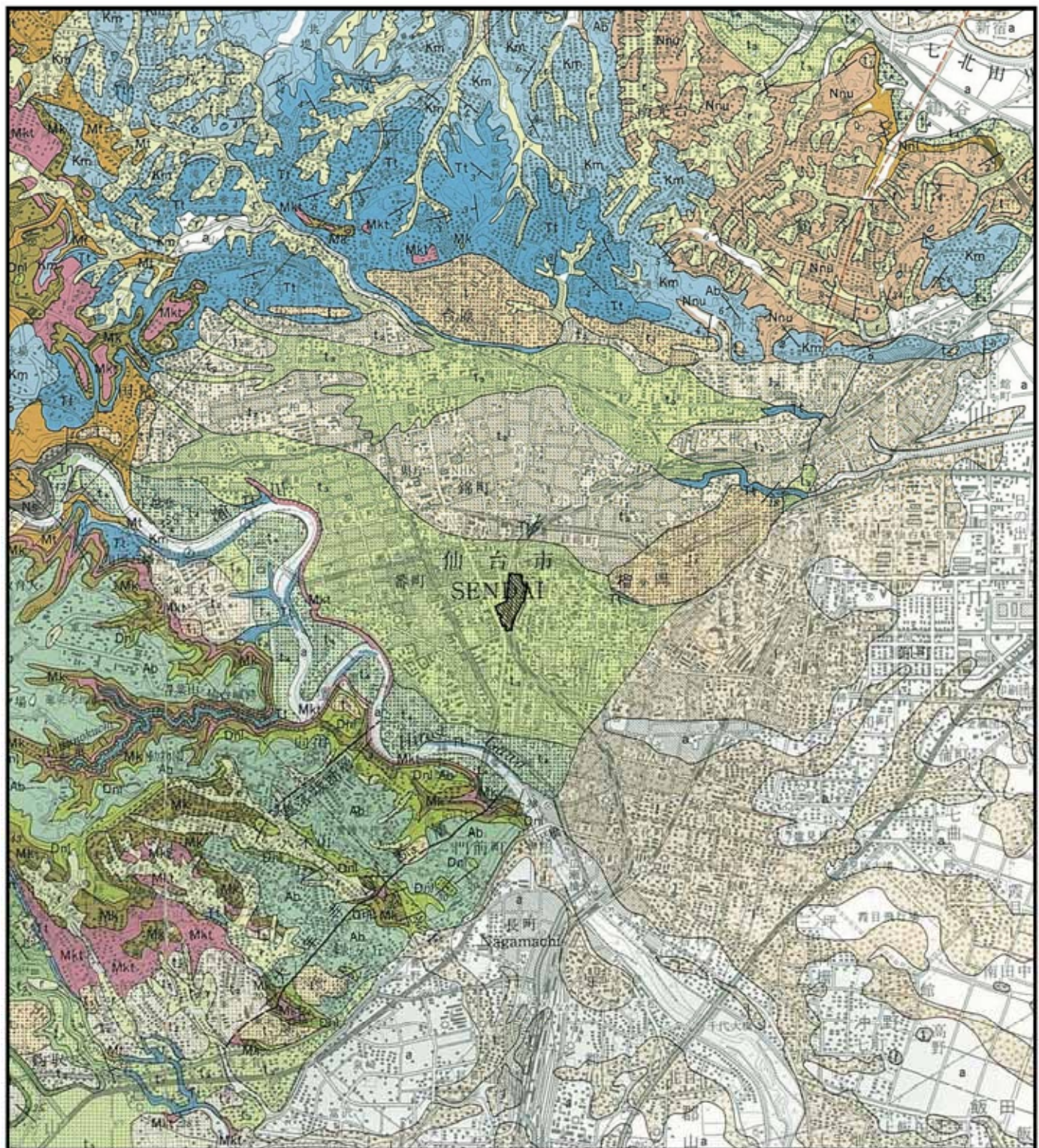
0 500 1000 2000m

図 6.1-16

地形分類図

出典:「土地分類基本調査 地形・地質・土じょう 仙台」(昭和42年3月 経済企画庁)





# 凡例

- 対象事業計画地
- 断層
- 埋谷土
  - r : 土砂
- 沖積層
  - a : 砂及び粘土
  - s : 砂
- 河岸段丘堆積物
  - t, ta : 礫層・砂層
  - ts, tsu : 礫層・砂層及び粘土層

- 青葉山層
  - Ab : 礫層・砂層及び粘土層
- 大年寺層
  - Dnl : 砂岩・礫岩及びシルト岩
- 向山層
  - Mkt : 軽石凝灰岩及び細粒凝灰岩
  - Mk : 砂岩・シルト岩・凝灰・凝灰岩及び礫岩
- 電の口層
  - Tt : シルト岩・砂質シルト岩・凝灰岩及び砂岩
- 亀岡層
  - Km : 砂岩・凝灰岩・シルト岩・凝灰及び礫岩又は礫混り砂岩
- 三滝層
  - Mt : 安山岩質・玄武岩質溶岩・火山角礫岩及び凝灰角礫岩

- 梨野層
  - Ns : 異地性ブロックを含む軽石凝灰岩・砂質凝灰岩及び砂岩
- 七北田層
  - Nnu : 砂岩(凝灰岩薄層を挟む)
  - Nnl : 砂岩・軽石凝灰岩及び礫岩
- 網木層
  - Tn : 軽石凝灰岩・火山凝灰岩・砂岩・礫岩及び凝灰角礫岩
- 茂庭層
  - Mn : 礫岩・礫混り砂岩及び砂岩
- 高館層
  - Tk : 火山角礫岩・凝灰角礫岩及び軽石凝灰岩
  - Txb : 安山岩溶岩及び玄武岩溶岩

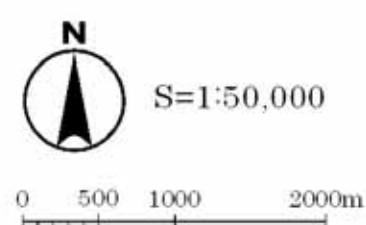
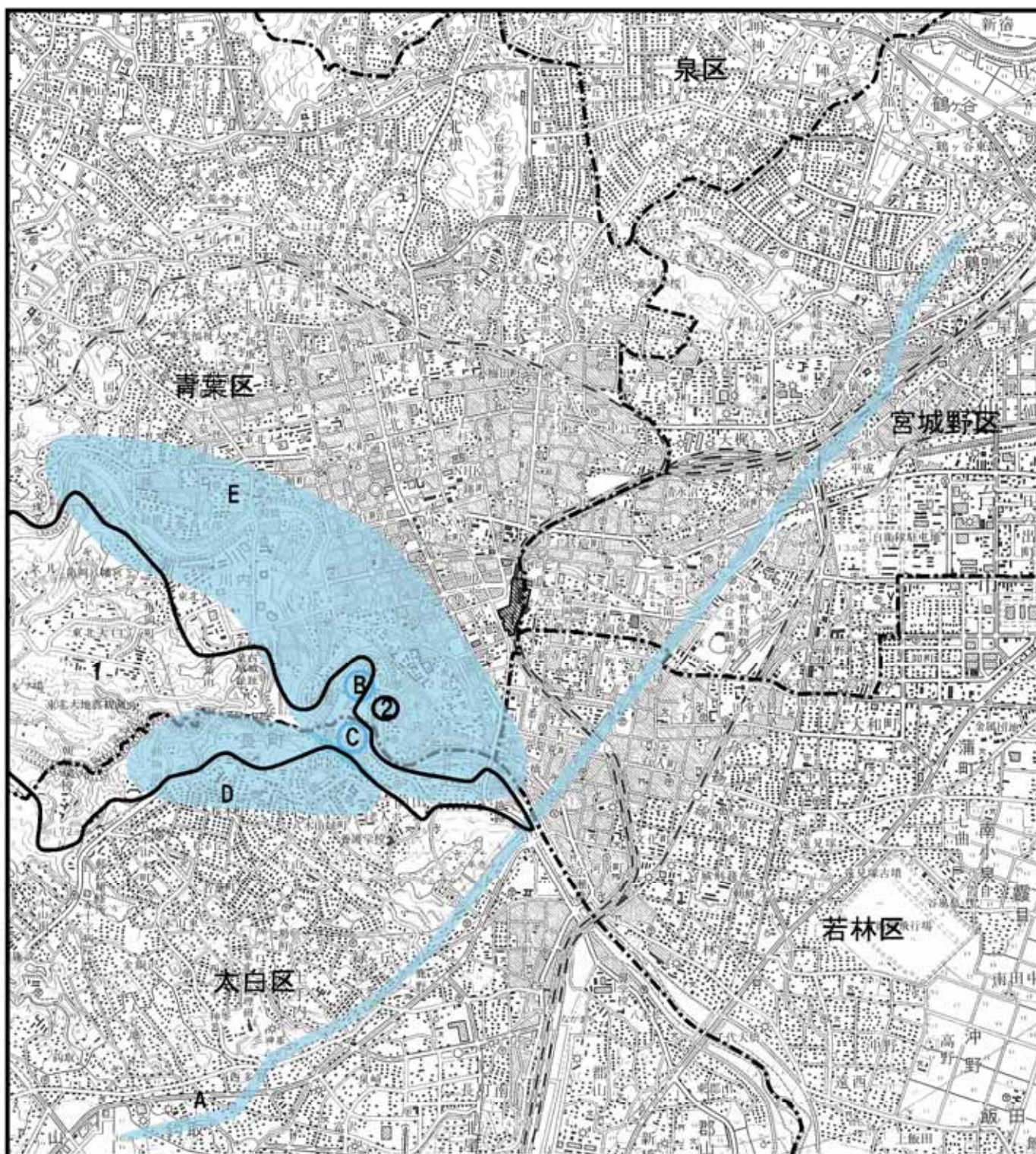






図 6.1-17  
表層地質図

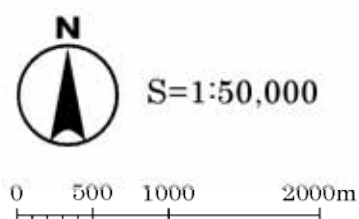
出典：5万分の1地質図幅「仙台」(昭和61年3月 地質調査所)





# 凡 例

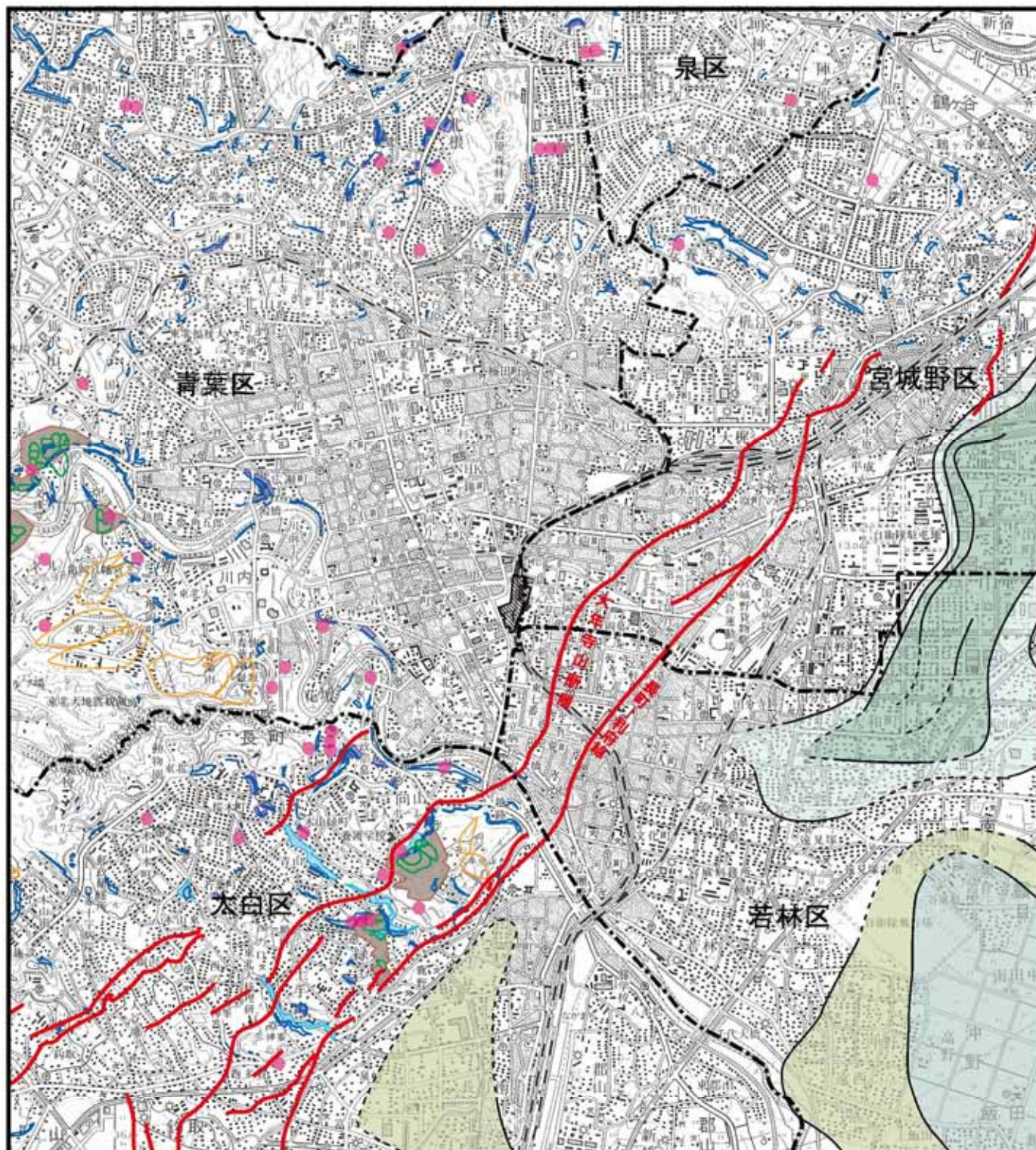
-  : 対象事業計画地
-  : 区境界線
-  : 注目すべき地形・地質(1~2)
-  : 注目すべき地形・地質(A~E)




出典:「平成6年度 自然環境基礎調査報告書」(平成8年3月 仙台市)  
「平成15年度 自然環境に関する基礎調査業務報告書」(平成16年2月 仙台市)  
「日本の典型地形 都道府県別一覧」(平成11年4月 国土地理院)  
<http://www1.gsi.go.jp/geowww/themap/view/mapview.php?type=tl&dis=all&name=0037>

図 6.1-18  
注目すべき地形・地質

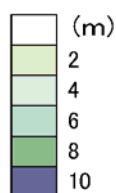




#### 凡 例

- |   |  |
|---|--|
|  : 対象事業計画地   |  : 砂防指定地      |
|  : 区境界線      |  : 地すべり防止区域   |
|  : 地すべり危険箇所  |  : 急傾斜地崩壊危険区域 |
|  : 急傾斜崩壊危険箇所 |  : 活断層        |
|  : 土石流危険渓流   |  : 崩壊地        |

軟弱層の厚さ



- 出展 : 1.「宮城県地域防災計画」(平成10年4月 宮城県防災会議)  
 2.「仙台市史特別編1自然」(平成6年3月 仙台市)  
 3.「土砂災害危険箇所図公表システム」(宮城県HP)  
 4.「仙台市防災マップ」(平成13年6月 仙台市消防局防災課)



S=1:50,000

0 50 1000 2000m

図 6.1-19  
防災関連指定地域



(2) 地盤沈下

ア．地盤沈下の状況

調査範囲の規制地域の指定状況

仙台市では、「工業用水法」(昭和 31 年 6 月 11 日 法律第 146 号)の第 3 条第 1 項で定める指定地域が指定されている。また、調査範囲は「建築物用地下水の採取に関する法律」(昭和 37 年 5 月 1 日 法律第 100 号)の第 3 条第 1 項で定める指定地域に含まれない。

地下水の採取に係る条例として、仙台市では、「宮城県公害防止条例」(昭和 46 年 3 月 18 日条例第 12 号)において、地下水採取規制を行っており、新增設井戸の届出、地下水採取量の記録、報告の義務付けを行うとともに、知事による地下水採取量の削減と水源の転換の勧告を行っている。計画地は、図 6.1-15に示すとおり、「工業用水法」に基づく指定地域及び「宮城県公害防止条例」に基づく地下水採取規制規制の対象地域に含まれない。

地盤沈下測定局の状況

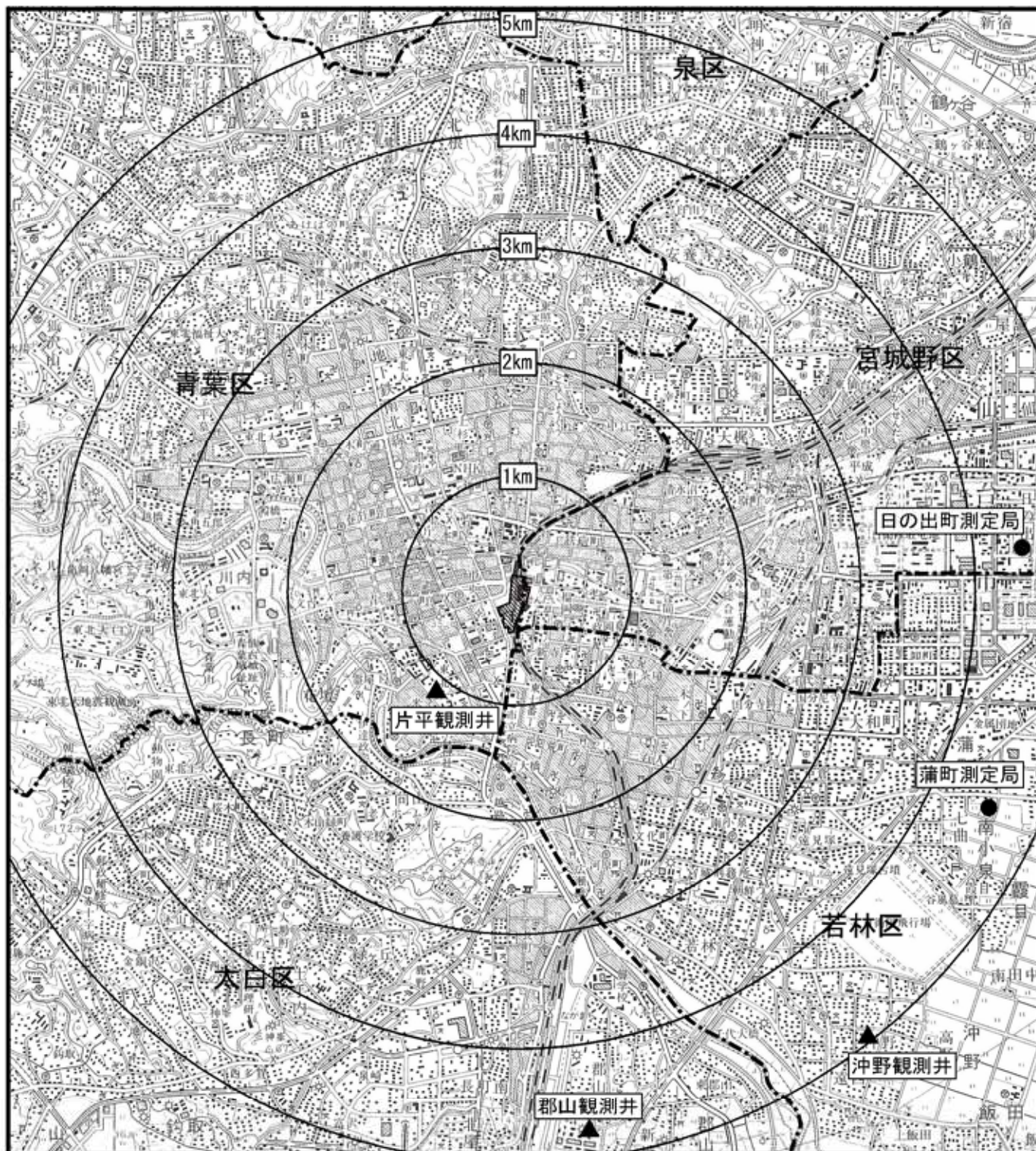
調査範囲では、表 6.1-59及び図 6.1-20に示すとおり、蒲町測定局、日の出町測定局で地盤収縮量及び地下水位の観測、沖野観測井、片平観測井、郡山観測井の 3 観測井で地下水位の調査が実施されている。

表 6.1-59 地盤沈下測定局等一覧表





名 称		所在地	地 域 工水法指定 県条例指定 指定地以外 ×	測定機器 沈下計 水位計 両方	管頭 高さ m H22.9.1	観測開始年	設置者	管理者
蒲町 測定局	1 号井	若林区蒲町 41-1			7.06	平成 7 年 3 月	仙台市	仙台市
	2 号井	〃			7.07	〃	〃	〃
	3 号井	〃			7.06	〃	〃	〃
日の出町 測定局	1 号井	宮城野区日の出町 3-6			5.27	平成 19 年 9 月	〃	〃
	2 号井	〃			5.30	〃	〃	〃
沖野観測井		若林区沖野 6-20			6.29	昭和 60 年 4 月	〃	〃
郡山観測井		太白区郡山 6-5-10	×		9.47	昭和 57 年 4 月	〃	〃
片平観測井		青葉区片平 2-1-1	×		35.33	昭和 54 年 3 月	〃	〃

：平成 19 年 9 月より新日の出測定局へ移設

出典：「公害関係資料集」(平成 23 年版 仙台市環境局)



凡 例

-  : 対象事業計画地
-  : 区境界線
-  : 地盤沈下・地下水位測定局
-  : 地下水位観測井



S=1:50,000

0 500 1000 2000m

図 6.1-20  
地盤沈下測定局等の位置図

出典：「公害関係資料集」（平成 23 年版 仙台市環境局）

# 地下水位の観測結果

平成 22 年度の地下水位の観測結果は，表 6.1-60に，過去 5 年間ににおける経年変化を表 6.1-61に示す。

平成 22 年度の地下水位の観測結果について，片平観測井の平均値は 23.34EL.m であり，その他の観測井における地下水位の平均値は，2.88 EL.m～4.91 EL.m である。また，平成 18 年度から平成 22 年度における経年変化は，ほぼ横ばい傾向を示している。

表 6.1-60 地下水位の観測結果(平成 22 年度)

名 称		所在地	地下水位 (標高 m)		
			最高値	最低値	平均値
蒲町 測定局	1 号井	若林区蒲町 41-1	5.07	4.63	4.91
	2 号井	"	4.00	3.05	3.60
	3 号井	"	3.24	2.4	2.88
日の出町 測定局	1 号井	宮城野区日の出町 3-6	3.78	3.35	3.59
	2 号井	"	3.52	2.87	3.21
沖野観測井		若林区沖野 6-20	3.23	2.55	2.96
片平観測井		青葉区片平 2-1-1	23.87	22.82	23.34
郡山観測井		太白区郡山 6-5-10	3.95	2.55	3.40

：平成 19 年 9 月より新日の出測定局へ移設

出典：「公害関係資料集」(平成 23 年版 仙台市環境局)

表 6.1-61 地下水位の経年変化(平成 18 年度～平成 22 年度)

(標高：m)

名 称		所在地	地下水位の経年変化 (平均値)				
			平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
蒲町 測定局	1 号井	若林区蒲町 41-1	4.95	4.83	4.86	4.85	4.91
	2 号井	"	3.79	3.55	3.63	3.54	3.60
	3 号井	"	3.01	2.75	2.92	2.82	2.88
日の出町 測定局	1 号井	宮城野区日の出町 3-6	3.02	3.36	3.65	3.59	3.59
	2 号井	"	3.11	2.98	3.15	3.13	3.21
沖野観測井		若林区沖野 6-20	3.09	2.87	2.91	2.84	2.96
片平観測井		青葉区片平 2-1-1	21.88	22.37	23.13	23.28	23.34
郡山観測井		太白区郡山 6-5-10	2.76	2.90	3.08	3.23	3.40

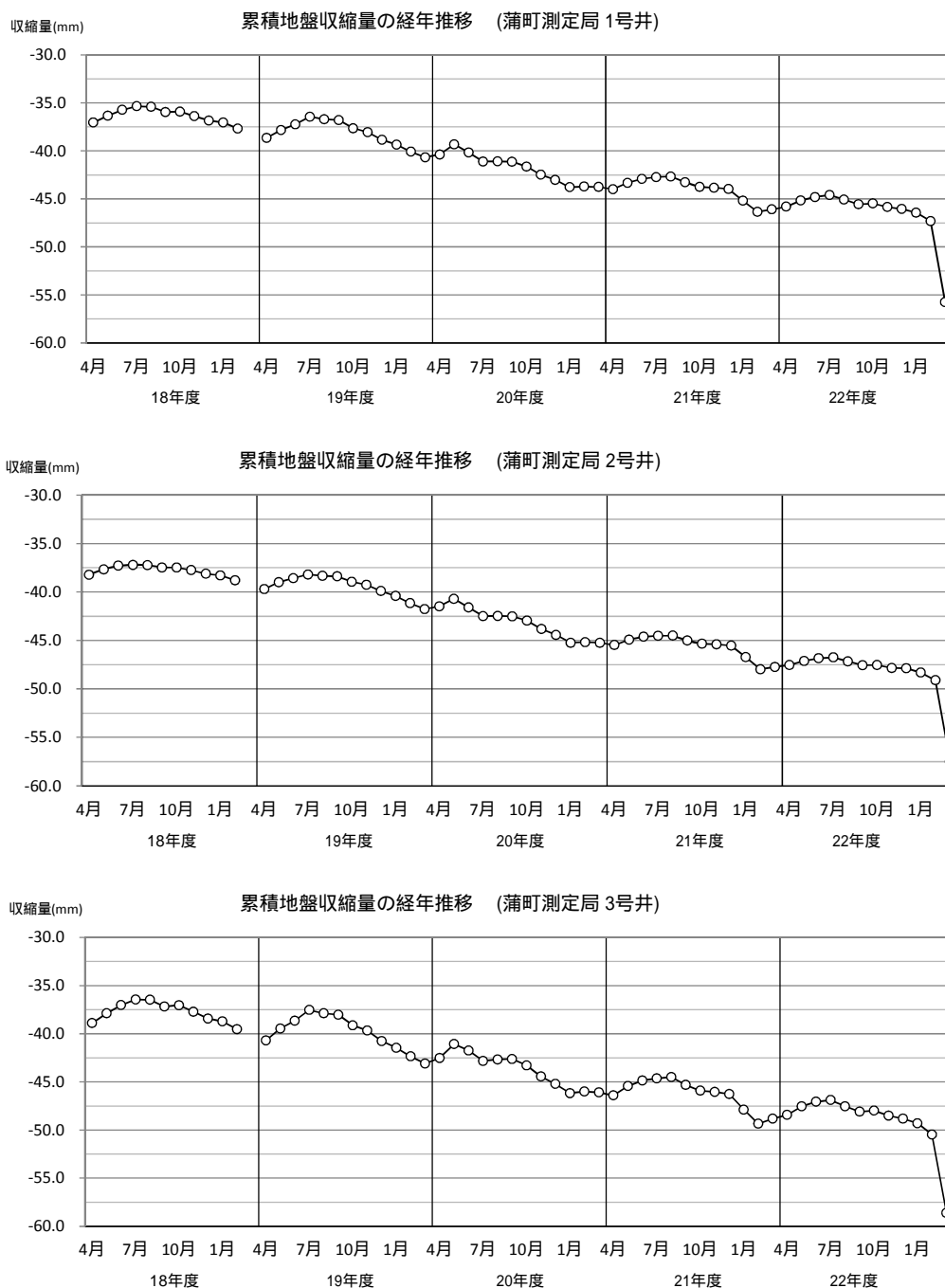
：平成 19 年 9 月より新日の出測定局へ移設

出典：「公害関係資料集」(平成 23 年版 仙台市環境局)

### 累積地盤収縮量の推移

蒲町測定局の1号井～3号井及び日の出町測定局の1号井、2号井における、平成18年度から平成22年度における累積地盤収縮量の経年変化を、図6.1-21及び図6.1-22に示す。

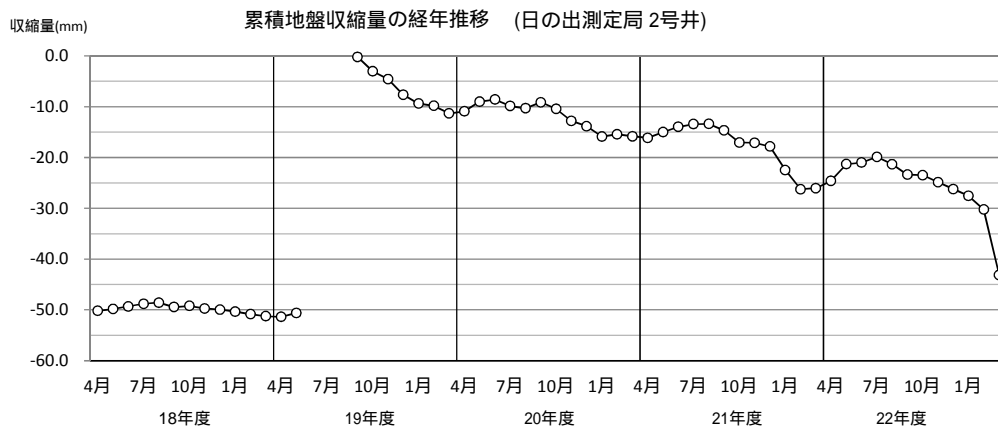
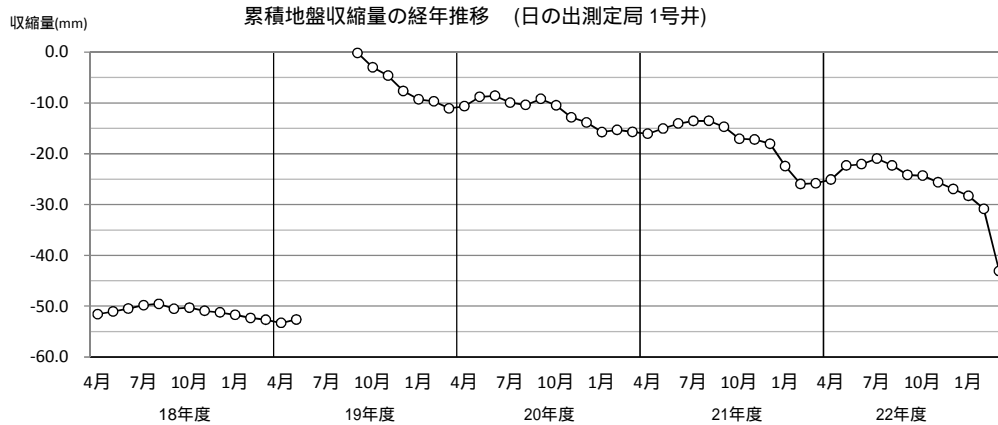
平成18年度から平成22年度までに、蒲町測定局では10mm程度の収縮量を示しており、日の出測定局では平成19年度に移設している。移設後の平成20年度から平成22年度までは15mm程度の収縮量を示している。



：累積地盤収縮量は観測開始年を初期値(累積収縮量 0mm)としている。  
出典：「公害関係資料集」(平成23年版 仙台市環境局)

図 6.1-21 累積地盤収縮量の経年変化(蒲町測定局)





：累積地盤収縮量は観測開始年を初期値(累積収縮量 0mm)としている。  
 平成 19 年 9 月より新日の出測定局へ移設  
 出典：「公害関係資料集」(平成 23 年版 仙台市環境局)

図 6.1-22 累積地盤収縮量の経年変化(日の出町測定局)

#### 地盤沈下に関する苦情件数

「公害関係資料集」(平成 23 年版 仙台市環境局)によると、平成 22 年度における地盤沈下に関する苦情件数は、0 件である。

#### 地盤沈下が生じやすい地形・地質

地盤沈下の主な原因としては、軟弱な粘土層が分布している地域において、大量の地下水を揚水する場合等が挙げられる。仙台市では軟弱な地層が厚く分布する日の出町及びその周辺地域において、工場・事業場の進出に伴う地下水の汲み上げが行われたため、昭和 47 年から 48 年頃地盤沈下が顕在化した。

地盤沈下が生じやすい軟弱層の分布は図 6.1-19のとおりであり、調査範囲内では東部（宮城野区日の出町、若林区卸町）～南部（太白区長町南）にかけて軟弱層が分布している。計画地の軟弱層の厚さは 0～2m となっており、地盤沈下が発生する可能性は低い。

既往調査の結果（水準測量）

本事業においては，計画地周辺における地盤変動状況を把握するため，平成 20 年 7 月 18 日に水準測量を実施し，現況の標高について観測している。

調査地点は図 6.1-23に示すとおりであり，一等水準点〔第 5648 号〕から新設点 1 を設置し，さらに計画地内に測点 2～7 を設定している。

調査結果は，表 6.1-62に示すとおりであり，標高 34.785m～36.124mである。

表 6.1-62 水準測量結果

測点名	高さ（m）
一等水準点〔第 5648 号〕	36.609
1	34.785
2	36.119
3	36.000
4	36.124
5	34.807
6	35.948
7	35.877



(3) 土壌汚染

ア．土壌汚染発生源の状況

土壌のダイオキシン類調査結果

調査範囲における土壌のダイオキシン類調査結果は、表 6.1-63に示すとおりである。調査範囲では平成 18 年度～平成 22 年度にかけて計 14 地点（図 6.1-24）で調査を実施している。

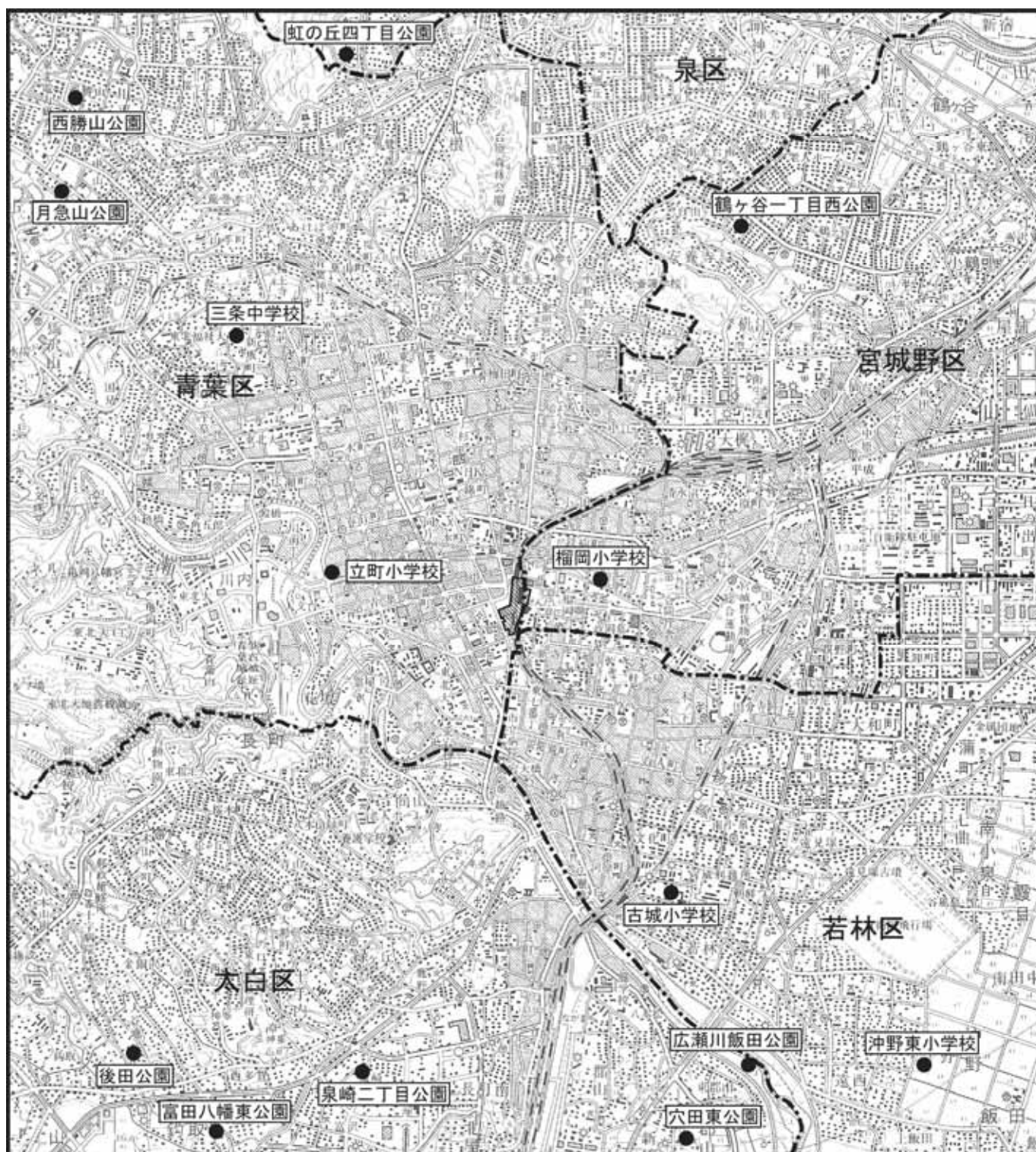
調査結果は、全ての地点で環境基準を達成している。

表 6.1-63 土壌のダイオキシン類調査結果(平成 18 年度～平成 22 年度)

	調査年月日	地点所在地	調査地点名称	測定結果 (pg-TEQ/g)	環境基準 (pg-TEQ/g)
1	平成 18 年 12 月 7 日, 8 日	宮城野区東九番丁	榴岡小学校	0.054	1,000
2		若林区沖野	沖野東小学校	0.032	
3	平成 19 年 10 月 24 日, 25 日	青葉区三条町	三条中学校	5.2	
4		青葉区中山	月急山公園	4.1	
5		若林区古城	古城小学校	0.095	
6		太白区鉤取	後田公園	3.5	
7	平成 20 年 11 月 18 日, 19 日	青葉区西勝山	西勝山公園	0.54	
8		宮城野区鶴ヶ谷	鶴ヶ谷一丁目西公園	0.45	
9		太白区富田	富田八幡東公園	2.6	
10		太白区郡山	穴田東公園	0.85	
11	平成 21 年 10 月 27 日, 28 日	泉区虹の丘	虹の丘四丁目公園	7.5	
12		太白区泉崎	泉崎二丁目公園	1.1	
13		太白区飯田	広瀬川飯田公園	0.021	
14	平成 22 年 12 月 9 日	青葉区立町	立町小学校	0.038	

出典：「公害関係資料集」（平成 19 年～23 年版）仙台市環境局





凡 例

- : 対象事業計画地
- : 区境界線
- : 土壌のダイオキシン類調査地点



S=1:50,000

0 500 1000 2000m

図 6.1-24  
土壌のダイオキシン類調査地点

出典:「公害関係資料集」(平成19～23年版 仙台市環境局)

## 土壌汚染対策法施行状況

土壌汚染対策法は、平成 15 年 2 月 15 日より施行され、平成 22 年 4 月 1 日に一部改正された。  
 仙台市における施行状況は表 6.1-64に示すとおりである。

土壌汚染対策法施行後の累積で、水質汚濁防止法の有害物質使用特定施設の件数は 127 件、廃止件数が 15 件、調査結果報告件数が 5 件、調査猶予件数が 12 件、一定規模(3,000m<sup>2</sup>)以上の土地の形質の変更の届出件数が 48 件となっている。法改正により、新たに区分された汚染除去が必要な要措置区域、土地の形質変更時に届出が必要な区域（形質変更届出区域）の指定件数は、平成 22 年度にはそれぞれ 2 件と 1 件である。また、土地所有者等による区域指定の申請(法第 14 条)が 3 件ある。

表 6.1-64 土壌汚染対策法施行状況  
 （仙台市全域について、平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

内 容		件数
法第 3 条 ( 1 )	法に該当する有害物質使用特定施設の件数	127
	有害物質使用特定施設の廃止件数	15
	調査結果報告件数	5
	調査猶予件数	12
法第 4 条 ( 2 )	一定規模(3,000m <sup>2</sup> )以上の土地の形質の変更の届出	48
	調査命令発出件数	0
	調査結果報告件数	0
法第 5 条 ( 3 )	調査命令発出件数	0
	調査結果報告件数	0
法第 6 条 ( 4 )	要措置区域に指定した件数	2
	要措置区域を解除した件数	0
法第 12 条 ( 5 )	形質変更時要届出区域に指定した件数	1
	形質変更時要届出区域を解除した件数	0
法第 14 条 ( 6 )	指定の申請件数	3

- 1：(法第 3 条)水質汚濁防止法の有害物質使用特定施設を設置していた土地に関する調査  
法第 3 条については、土壌汚染対策法施行後から平成 23 年 3 月 31 日までの累積件数
- 2：(法第 4 条)一定規模以上（3000 平方メートル）の土地の形質の変更時に県知事等に届け出を行い、土地の地歴から土壌汚染の可能性が高い土地であり、調査が必要と命令された場合
- 3：(法第 5 条)健康被害のおそれがあるとして県知事等から調査が命じられた土地
- 4：(法第 6 条)汚染の除去等が必要な区域として知事等が指定
- 5：(法第 12 条)土地の形質変更時に届出が必要な区域として知事等が指定
- 6：(法第 14 条)自主調査により土壌汚染が判明した場合、土地所有者等が知事等に区域の指定を申請

出典：「公害関係資料集」(平成 23 年版 仙台市環境局)

## 土壌汚染に関する苦情件数

「公害関係資料集」(平成 22 年版 仙台市環境局)によると、平成 22 年度における土壌汚染に関する苦情件数は、0 件である。また、仙台市環境局への公文書開示請求（平成 22 年 12 月）によると平成 21 年度の苦情件数は、0 件である。

## 発生源の状況

図 5.2-1 に示す関係地域範囲内では、水質汚濁防止法・下水道法による届出が出されている特定施設であって有害物質使用特定施設は 15 件把握されている。

#### 6.1.4 生物環境

##### (1) 植物

##### ア. 植物相

##### 調査範囲の注目すべき植物の状況

仙台市は、市域が海岸から奥羽山脈まで広がりを持ち、仙台市の丘陵地帯が暖温帯と冷温帯の間に位置する中間地帯と呼ばれる領域が広く占めているという特徴があり、暖地系及び寒地系の両方の植物がみられ、植物相が多様である。

「平成 15 年度 自然環境に関する基礎調査業務報告書」(平成 16 年 2 月 仙台市)において「自然環境保全上重要な植物として選定されている種」、及び「広瀬川流域の自然環境」(平成 6 年 3 月 仙台市)において「特記すべき植物とされている種」のうち、両調査結果で示されている分布域が本調査範囲内に該当している植物種を調査範囲内における注目すべき植物種として整理した。

「平成 15 年度 自然環境に関する基礎調査業務報告書」(平成 16 年 2 月 仙台市)において「自然環境保全上重要な植物」として選定されている種の判断基準は、表 6.1-65に示すとおりであり、学術上重要種、減少種、環境指標種及びふれあい種に該当する種、ならびに環境省レッドデータブック種及び宮城県レッドデータブック種である。

また、「広瀬川流域の自然環境」(平成 6 年 3 月 仙台市)において「特記すべき植物」として選定されている種の判断基準は、表 6.1-66に示すとおりであり、絶滅が危惧されるもの、稀産のもの、調査時に初めて見出されたものである。

表 6.1-65 自然環境保全上重要な植物種

判断基準	番号( )	説明
学術上重要種	1	仙台市においてもともと希産あるいは希少である種。あるいは分布が限定されている種。
	2	仙台市が分布の北限、南限となっている種。あるいは隔離分布となっている種。
	3	仙台市が模式産地(タイプロカリティー)となっている種。
	4	その他、学術上重要な種。
注目種(減少種)	A	現在はほとんど見ることができない。
	B	減少が著しい。
	C	減少している。
注目種(環境指標種)		特に平地や丘陵地の良好な環境を指標する種。
注目種(ふれあい種)		市民に親しまれている(よく知られている)種のうち、保全上重要な種。
レッドデータブック種	EX	(絶滅)既に絶滅したと考えられる種。
	CR+EN	(絶滅危惧 類)絶滅の危惧に瀕している種。
	CR	(絶滅危惧 IA 類)ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
	EN	(絶滅危惧 IB 類)IA 類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種。
	VU	(絶滅危惧 類)絶滅の危惧が増大している種。
	NT	(準絶滅危惧)存在基盤が脆弱な種。
	DD	(情報不足)絶滅危惧のカテゴリーに移行し得る属性を有しているが、評価するだけの情報が不足している種。
	YO	(要注目種)現時点では普通に見られるものの、特徴ある生育状況(分布限界等)により注目するべき種。

番号：表 6.1-68～表 6.1-71に示す判断理由の各項目に該当する

出典：「平成 15 年度 自然環境に関する基礎調査業務報告書」(平成 16 年 2 月 仙台市)

表 6.1-66 特記すべき植物

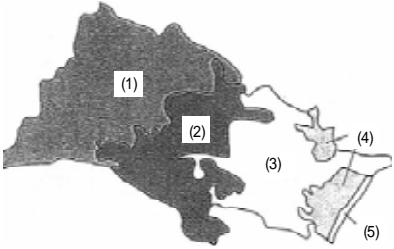
判断基準	説明
絶滅が危惧されるもの	レッドデータブックの宮城県内該当種
稀産のもの	全国的に産地が極めて稀な国レベルの稀産種
	県内で産地の極めて稀な種
調査時に初めて見出されたもの	東北地方又は宮城県内で初めて見出された種
	調査時に広瀬川水系において初見出の種

出典：「広瀬川流域の自然環境」（平成 6 年 3 月 仙台市）

調査範囲における注目すべき種は表 6.1-68～表 6.1-71に示すとおりであり，確認された種数は 113 種あり，うち環境省レッドリスト種は 17 種，県レッドデータブック種は 37 種である。分布地は，青葉山，向山，大年寺山，三神峯及び広瀬川沿い等である。

なお，表中の減少種の地域区分は表 6.1-67による。

表 6.1-67 減少種の地域区分

番号	地 域 区 分	
1	山地地域	
2	丘陵地地域	
3	市街地地域	
4	田園地域	
5	海浜地域( 後背の樹林帯も含む )	

出典：「平成 15 年度 自然環境に関する基礎調査業務報告書」（平成 16 年 2 月 仙台市）



表 6.1-68 注目すべき植物種(1/4)

No.	科名	種名	文献 ( 1 )		判断理由(文献 )										( 2・3 ) 環境省 RL	分布地 (文献 )	備考 ( 4 )
					学術上 重要種	注目種					環境 指標種	ふれ あい 種	( 2 ) 県 RDB				
						山地	丘陵地	市街地	田園	海浜							
1	イワヒバ	イワヒバ			1		B								青葉山		
2	ミズニラ	ミズニラ			1		B		A				NT	NT	青葉山		
3	トクサ	イヌスギナ					B		B						長町		
4	ゼンマイ	ヤシャゼンマイ			1	C	C						NT		青葉山		
5	イノモトソウ	イノモトソウ			1.2								NT		八幡町(北限)		
6	オシダ	リョウメンシダ					B								青葉山		
7		ヤブソテツ													向山		
8		オシダ					B								青葉山		
9		アイアスカイノデ			2										青葉山(北限)		
10		イワシロイノデ			2								要		向山		
11		イノデ			2								要		西多賀(北限)		
12		サカゲイノデ					B								大年寺山		
13	ヒメシダ	ヒメワラビ			2		C	C	C						西多賀(北限)		
14	メシダ	イヌガンソク					B								青葉山		
15		クサソテツ					B		C						青葉山		
16	ウラボシ	ピロードシダ					C								青葉山		
17	マツ	モミ			2		C								青葉山		
18	ヤナギ	ネコヤナギ			4				C						広瀬川,袋原		
19	カバノキ	ハンノキ			1.4				B	C					澁橋,袋原		
20		ミズメ				C	C								青葉山	(1)	
21		アカシデ					B			C					青葉山,八木山		
22	ブナ	ブナ			4		B								青葉山		
23		イヌブナ			1.4		B								青葉山,大年寺山		
24		アカガシ			2		C	C	C	C					三神峯		
25		アラカシ			1.2		C						要		青葉山		
26		シラカシ			2					C	C				評定河原		
27		ウラジログアシ			2					C	C			要		青葉山	(2)
28	ニレ	エノキ			4		B	B	B						青葉山		
29		ケヤキ				C	C	B	B						堤町		
30	クスノキ	シロダモ			2		C								川内		
31	キンボウゲ	カザグルマ			1		B						VU	NT	亀岡		
32	ウマノスズクサ	ウスバサイシン					B								八木山		
33	ツバキ	ヤブツバキ					B	B							川内		

1：文献は以下のとおりである。

「平成 15 年度 自然環境に関する基礎調査業務報告書」(平成 16 年 2 月 仙台市)

「広瀬川流域の自然環境」(平成 6 年 3 月 仙台市)

2：RL・RDB 種は以下のとおりである。

環境省 RL：「環境省レッドリスト(植物 I 及び植物 II)」(平成 19 年 8 月 環境省)

宮城県 RDB：「宮城県の希少な野生動植物 - 宮城県レッドデータブック - 」(平成 13 年 3 月 宮城県)

3：文献 では RDB 種を判断基準としていたが，平成 16 年以降データが更新されたため，「自然環境保全上重要な植物種」として抽出された種が RL 種に該当するかどうかを確認した。

4：備考欄の表記は以下のとおりである。

(1)参考文献 において「ヨグソミネバリ」と記載

(2)県 RDB において「ウラジロカシ」と記載

表 6.1-69 注目すべき植物種(2/4)

No.	科名	種名	文献 ( 1 )		判断理由(文献 )								( 2・3 ) 環境省 RL	分布地 (文献 )	備考 ( 4 )	
					学術上 重要種	注目種						( 2 ) 県 RDB				
						減少種					環境 指標種					ふれ あい 種
						山地	丘陵地	市街地	田園	海浜						
34	モウセンゴケ	モウセンゴケ					C			C				向山		
35	ケシ	キケマン			1.2					A			VU	青葉山（北限）， 青葉山仙台市有林 内の三居沢沿い		
36	アブラナ	ナズナ					B	B	B					青葉山		
37	ユキノシタ	トリアシショウマ					B		B					青葉山		
38		タコノアシ			1							要	NT	広瀬川		
39		ユキノシタ					B	B						青葉山，亀岡		
40	バラ	ザイフリボク			1		B							青葉山		
41		ミツバツチグリ					B							青葉山，三神峯		
42	マメ	ツクシハギ					B							青葉山，三神峯		
43		マキエハギ			1		C						NT	青葉山，三神峯		
44	トウダイグサ	シラキ					B							青葉山		
45	ユズリハ	ユズリハ			1.2									青葉山（北限）		
46	カエデ	ハウチワカエデ					B							大年寺山，青葉山， 三神峯		
47		エンコウカエデ					B							青葉山，向山	(3)	
48		オオモミジ					B							青葉山		
49		ウリハダカエデ					B							青葉山，大年寺山		
50	モチノキ	イヌツゲ					B							青葉山		
51		ソヨゴ			1.2								NT	青葉山，青葉山市 有林内		
52	ジンチョウゲ	オニシバリ			1								N T	台原		
53	スミレ	フモトスミレ			1		B						VU	青葉山，青葉山市 有林のアカマツの 林床		
54		ナガハシスミレ			1		B							青葉山		
55	ミズキ	アオキ					B	B						青葉山，大年寺山		
56	ウコギ	コシアブラ				C	B							青葉山		
57		タカノツメ					B							向山		
58	イワウメ	イワウチワ			1.4		B						VU	青葉山		
59	ツツジ	ヤマツツジ					B	B						八木山		
60		ウスノキ					B							青葉山		
61		ナツハゼ					B							青葉山，与兵衛沼		
62	サクラソウ	サクラソウ			1		A						CR+EN	NT	青葉山	
63	モクセイ	イボタノキ					B							北山，与兵衛沼， 三神峯		
64	ムラサキ	ルリソウ					C						VU	与兵衛沼，大年寺 山		

1: 文献は以下のとおりである。

「平成 15 年度 自然環境に関する基礎調査業務報告書」(平成 16 年 2 月 仙台市)

「広瀬川流域の自然環境」(平成 6 年 3 月 仙台市)

2: RL・RDB 種は以下のとおりである。

環境省 RL: 「環境省レッドリスト(植物 I 及び植物 II)」(平成 19 年 8 月 環境省)

宮城県 RDB: 「宮城県の希少な野生動植物 - 宮城県レッドデータブック - 」(平成 13 年 3 月 宮城県)

3: 文献 では RDB 種を判断基準としていたが, 平成 16 年以降データが更新されたため, 「自然環境保全上重要な植物種」として抽出された種が RL 種に該当するかどうかを確認した。

4: 備考欄の標記は以下のとおりである。

(3)参考文献 において「イタヤカエデ」と記載

表 6.1-70 注目すべき植物種(3/4)

No.	科名	種名	文献 ( 1 )		判断理由(文献 )										( 2・3 ) 環境省 RL	分布地 (文献 )	備考 ( 4 )
					学術上 重要種	注目種						( 2 ) 県 RDB					
						減少種					環境 指標種		ふれ あい 種				
						山地	丘陵地	市街地	田園	海浜							
65	タヌキモ	タヌキモ			1		B		A				CR+EN	NT	長町		
66		ムラサキミミカキグサ			1		B		B	B			CR+EN	NT	川内, 与兵衛沼		
67	レンブクソウ	レンブクソウ			1								NT		青葉山, 青葉山市有林内		
68	マツムシソウ	ナベナ			1										評定河原		
69	キキョウ	ツリガネニンジン					B		B						国見		
70	キク	キッコウハグマ					B								青葉山, 向山		
71		オケラ					B								青葉山, 向山, 台原		
72		カシワバハグマ			1.2		B						VU		青葉山, 青葉山仙台市有林		
73		フクオウソウ			1								要		青葉山		
74		オオニガナ			1		C						NT	VU	北山		
75		シュウブンソウ			1.2								CR+EN		鉤取山		
76	オモダカ	ヘラオモダカ					C		B						国見		
77		サジオモダカ			1		C		B						飯田		
78		オモダカ					C		B						青葉山, 国見		
79	ヒルムシロ	コバノヒルムシロ			1		C		B				VU	VU	大年寺山, 与兵衛沼, 東北大理学部附属植物園の池		
80	ユリ	カタクリ					B	B	B						青葉山		
81		ショウジョウバカマ					B								台原, 国見, 向山		
82		ゼンテイカ					B	B	B						小松島, 向山	(4)	
83		コオニユリ			1		B		B	B			VU		台原		
84	アヤメ	ノハナショウブ			1		C								川内		
85		ヒメシャガ					B	B					NT	NT	青葉山, 鉤取山, 大年寺山, 向山		
86	イネ	ヒメコヌカグサ					C						要	NT	三居沢, 国見		
87		ヤマアワ					B			B					青葉山, 国見		
88		カゼクサ							B	C					川内, 台原		
89		オオウシノケグサ			4										青葉山, 西多賀		
90		カモノハシ			1					B					与兵衛沼		
91		アイアシ			1					B			NT		七北田川		
92		クサヨシ								B					川内, 台原		

1 : 文献は以下のとおりである。

「平成 15 年度 自然環境に関する基礎調査業務報告書」(平成 16 年 2 月 仙台市)

「広瀬川流域の自然環境」(平成 6 年 3 月 仙台市)

2 : RL・RDB 種は以下のとおりである。

環境省 RL : 「環境省レッドリスト(植物 I 及び植物 II)」(平成 19 年 8 月 環境省)

宮城県 RDB : 「宮城県の希少な野生動植物 - 宮城県レッドデータブック - 」(平成 13 年 3 月 宮城県)

3 : 文献 では RDB 種を判断基準としていたが, 平成 16 年以降データが更新されたため, 「自然環境保全上重要な植物種」として抽出された種が RL 種に該当するかどうかを確認した。

4 : 備考欄の標記は以下のとおりである。

(4)参考文献 において「ニッコウキスゲ」と記載

表 6.1-71 注目すべき植物種(4/4)

No.	科名	種名	文献 ( 1 )		判断理由(文献 )										( 2・3 ) 環境省 RL	分布地 (文献 )	備考 ( 4 )
					学術上 重要種	注目種							( 2 ) 県 RDB				
						減少種					環境 指標種	ふれ あい 種					
						山地	丘陵地	市街地	田園	海浜							
93	イネ	ヨシ					C	C	C						台原		
94		アズマネザサ					B	B							青葉山, 台原, 国見		
95		オオクマザサ			3										青葉山, 台原 , 大年寺山	(5)	
96		スエコザサ			3										青葉山		
97		ケスズ			1		B						要		八木山	(6)	
98		シバ					B	B	B						青葉山		
99	ミクリ	ミクリ			1		B		A				要	NT	与兵衛沼		
100		ヤマトミクリ			1		B		A				CR+EN	NT	大年寺山		
101	ガマ	ヒメガマ					B	B	B						青葉山		
102		ガマ					B	B	B						青葉山		
103	カヤツリグサ	ナルコスゲ					B		B						青葉山		
104		カンガレイ							B						青葉山		
105	ラン	キンセイラン			1		B						CR+EN	VU	青葉山仙台市有 林		
106		ユウシュンラン			1								VU	VU	青葉山, 八木山, 大年寺山		
107		アオスズラン			1										青葉山		
108		サギソウ			1	B	A						CR+EN	VU	台原, 国見		
109		ミズトンボ			1		A		B				CR+EN	VU	北根, 台原		
110		ヒメノヤガラ			1								CR+EN	VU	青葉山		
111		クモキリソウ			1.4		B								青葉山, 三神峯		
112		カヤラン			1		B			B			CR+EN		青葉山, 向山		
113		ネジバナ					B		B						牛越橋, 青葉山		
-	51 科	113 種	111 種	11 種	58 種	5 種	85 種	18 種	34 種	14 種	34 種	50 種	17 種	37 種	-	-	

1: 文献は以下のとおりである。

「平成 15 年度 自然環境に関する基礎調査業務報告書」(平成 16 年 2 月 仙台市)

「広瀬川流域の自然環境」(平成 6 年 3 月 仙台市)

2: RL・RDB 種は以下のとおりである。

環境省 RL: 「環境省レッドリスト(植物 I 及び植物 II)」(平成 19 年 8 月 環境省)

宮城県 RDB: 「宮城県の希少な野生動植物 - 宮城県レッドデータブック - 」(平成 13 年 3 月 宮城県)

3: 文献 2 では RDB 種を判断基準としていたが, 平成 16 年以降データが更新されたため, 「自然環境保全上重要な植物種」として抽出された種が RL 種に該当するかどうかを確認した。

4: 備考欄の標記は以下のとおりである。

(5)参考文献 において「センダイザサ」と記載

(6)参考文献 において「ケスズ(ケスズタケ)」と記載, 県 RDB において「ケスズタケ」と記載



イ．その他事業の立地上配慮を要する植物

保存樹木，保存樹林，保存緑地

調査範囲における，「杜の都の環境をつくる条例」に基づく「保存樹木」，「保存樹林」，「保存緑地」の指定状況は表 6.1-72～表 6.1-77，及び図 6.1-25に示すとおりである。

表 6.1-72 保存樹木(1/4)

項目	記号	所 有 者	樹 種	指定樹齢 (年)	樹 高 (m)	幹 周 (m)
保存 樹木	1	光明寺	オオバボダイジュ	250	16.0	2.5
	2	東昌寺	マルミガヤ	500	17.5	5.3
	3	東昌寺	アカマツ	350	13.5	2.8
	4	東昌寺	コウヨウザン	150	14.0	1.8
	5	資福寺	ハクモクレン	320	3.8	1.7
	6	資福寺	ゴヨウマツ	200	12.5	1.3
	7	資福寺	コウヨウザン	200	16.0	2.0
	8	秀林寺	サツキ	340	0.8	株立
	9	覚範寺	ヒヨクヒバ	250	15.0	2.9
	10	輪王寺	ダイオウショウ	100	21.0	0.9
	11	輪王寺	コウヨウザン	100	20.0	1.8
	12	羽黒神社	エドヒガン	370	18.0	2.8
		羽黒神社	エドヒガン	370	18.0	2.7
	13	荘厳寺	アカマツ	350	12.5	3.4
	14	荘厳寺	イロハカエデ	200	12.0	3.1
	15	称念寺	キャラボク	300	7.5	株立
	16	称念寺	カリン	320	15.0	1.3
	17	称念寺	イチョウ	300	23.0	4.7
		称念寺	イチョウ	300	23.0	3.8
	18	称念寺	タラヨウ	300	18.0	3.1
	19	大願寺	タラヨウ	250	12.0	1.1
	20	正圓寺	アカマツ	360	16.5	2.2
	21	称覚寺	イチョウ	200	18.0	3.6
	22	充国寺	クロマツ	395	8.0	1.8
	23	個人所有	フジ	350	2.0	株立
	24	東北大学医学部	イスノキ	220	7.7	1.6
	25	個人所有	ケヤキ	500	14.0	3.1
	26	個人所有	ウメ	145	13.0	1.1
	27	木町通小学校	イチョウ	100	22.0	3.3
		木町通小学校	イチョウ	100	22.0	3.0
	28	個人所有	ケヤキ	300	22.0	4.7
	29	大崎八幡宮	イヌシデ	370	15.0	2.4
	30	大崎八幡宮	コウヤマキ	390	26.0	2.7

出典：「杜の都の名木・古木」(平成 21 年 3 月 仙台市建設局百年の杜推進部)

表 6.1-73 保存樹木(2/4)

項目	記号	所 有 者	樹 種	指定樹齡 (年)	樹 高 (m)	幹 周 (m)
保存 樹木	31	文殊菩薩堂	ヒガンザクラ	350	22.0	2.6
	32	個人所有	シダレザクラ	370	13.0	2.3
	33	社団法人青葉福祉会	アカマツ	400	27.0	4.1
	34	個人所有	スギ	1000	25.0	5.5
	35	個人所有	エノキ	350	18.0	2.6
	36	シーアイマンション中島丁管理組合	タブノキ	300	19.0	3.9
	37	シーアイマンション中島丁管理組合	カヤ	200	14.0	2.5
	38	シーアイマンション中島丁管理組合	ゴヨウマツ	300	13.0	2.7
	39	仙台市	イチョウ	250	20.0	4.1
	40	仙台市	ウメ	200	8.5	2.1
	41	仙台高等裁判所	ヒマラヤスギ	80	19.5	3.0
	42	仙台高等裁判所	イロハカエデ	200	8.5	2.0
	43	仙台高等裁判所	シラカシ	350	18.0	1.8
	44	仙台高等裁判所	エドヒガンザクラ	250	12.5	3.0
	45	仙台高等裁判所	コウヤマキ	300	16.0	1.8
		仙台高等裁判所	コウヤマキ	300	16.0	2.4
	46	仙台高等裁判所	キャラボク	200	2.5	株立
	47	東北大学	メタセコイヤ	27	14.0	1.8
	48	東北大学	ハンテンボク	75	17.0	2.0
	49	東北大学	スズカケノキ	75	25.0	2.8
	50	東北大学	クロマツ	200	12.0	1.5
	51	東北大学	イチョウ	200	20.0	4.6
	52	仙台市	コウヤマキ	300	30.0	3.5
		仙台市	コウヤマキ	300	28.0	2.9
	53	瑞鳳寺	ヒガンザクラ	330	15.0	3.3
	54	仙台地方検察庁	サルスベリ	300	11.0	1.2
	55	仙台地方検察庁	シダレザクラ	300	15.0	3.3
	56	東二番丁小学校	クスノキ	100	10.0	1.5
	57	東北薬科大学	クロマツ	620	14.5	3.4
	58	朝日神社	スギ	700	13.0	3.2
	59	宮城県対がん協会	ケヤキ	200	12.0	3.0
	60	仙岳院	クロマツ	310	5.0	1.0

出典：「杜の都の名木・古木」(平成21年3月 仙台市建設局百年の杜推進部)

表 6.1-74 保存樹木(3/4)

項目	記号	所 有 者	樹 種	指定樹齡 (年)	樹 高 (m)	幹 周 (m)
保存 樹木	61	五城中学校	イロハモミジ	300	21.0	2.4
	62	一本松公園・仙台市	アカマツ	200	10.8	2.6
	63	宮城県	ヒマラヤスギ	70	17.5	1.3
	64	宮城県	サンゴジュ	80	8.5	2.0
	65	東六番丁小学校	ヒガンザクラ	300	10.0	5.6
	66	千手観音堂	イチョウ	200	21.0	3.5
	67	稲舟神社	イロハカエデ	200	18.0	2.1
	68	個人所有	イチョウ	1,200	32.0	7.8
	69	宮城野中学校	チョウセンゴヨウマツ	67	14.0	2.1
	70	仙台市	シダレザクラ	280	18.0	3.4
	71	仙台市	サイカチ	200	15.0	4.5
	72	孝勝寺	クロマツ	310	20.0	2.5
	73	榴岡天満宮	シラカシ	300	15.0	2.9
	74	宮城野八幡神社	ケヤキ	200	32.0	3.3
	75	善應寺	キンモクセイ	260	10.0	0.9
	76	善應寺	イチイ	260	13.0	2.8
	77	善應寺	シラカシ	250	15.0	3.1
	78	志賀神社	イチイ	600	18.0	3.2
	79	大山祇神社	イチョウ	200	21.0	3.6
	80	正楽寺	イチョウ	300	12.0	4.5
	81	正楽寺	クスノキ	200	15.0	3.6
	82	愚鈍院	カヤ	250	15.0	2.1
	83	大林寺	カヤ	250	15.0	3.8
	84	道仁寺	タブノキ	200	16.0	2.8
	85	道仁寺	サクラ	200	15.0	2.6
	86	道仁寺	シダレザクラ	200	13.0	2.0
	87	道仁寺	サクラ	200	14.0	2.3
	88	栽松院	シラカシ	1,000	7.0	1.7
	89	信夫神社	イチョウ	350	23.0	4.2
	90	三宝大荒神社	イチョウ	320	25.0	4.1

出典：「杜の都の名木・古木」(平成21年3月 仙台市建設局百年の杜推進部)

表 6.1-75 保存樹木(4/4)

項目	記号	所 有 者	樹 種	指定樹齡 (年)	樹 高 (m)	幹 周 (m)
保存 樹木	91	満福寺	クロマツ	300	21.0	2.8
	92	薬師堂	ヒイラギ	200	7.0	1.6
	93	仙台市	アラカシ	200	16.5	2.3
	94	仙台市	イチョウ	350	25.0	4.0
	95	聖ウルスラ学院	ケヤキ	250	20.0	4.2
	96	仙台市	シダレザクラ	390	7.0	2.5
	97	宮城刑務所	クロマツ	330	3.3	1.6
	98	宮城刑務所	ウメ	360	8.0	1.3
	99	旅立稻荷神社	ケヤキ	200	25.0	3.9
	100	愛宕神社	スギ	580	11.5	4.6
		愛宕神社	スギ	580	11.5	3.6
	101	愛宕神社	エドヒガン	350	13.0	3.3
	102	大満寺	イチョウ	250	21.5	3.8
	103	仙台市	ラクウショウ	100	17.0	3.0
	104	仙台市	スギ	500	28.0	4.0
	105	多賀神社	シラカシ	300	18.0	2.3

出典：「杜の都の名木・古木」(平成 21 年 3 月 仙台市建設局百年の杜推進部)

表 6.1-76 保存樹林

項目	記号	名 称	樹木保存区域の面積(m <sup>2</sup> )
保存 樹林		青葉通 仙台駅前～大町	
		定禅寺通(中央分離帯のみ) 東二番丁通～西公園	
		勾当台公園 青葉区本町三丁目 9	
		西公園 青葉区桜ヶ丘公園 2, 3 番	
		勾当台通外記丁線・ 定禅寺通県庁前線 青葉区本町三丁目 9(東隣, 北隣)	
		東十番丁線(榴ヶ岡駅前通り) 宮城野区榴岡五丁目 12(北隣)	
		広瀬町 4	
		大野田北屋敷(道中庵)の屋敷林	527.01 m <sup>2</sup>

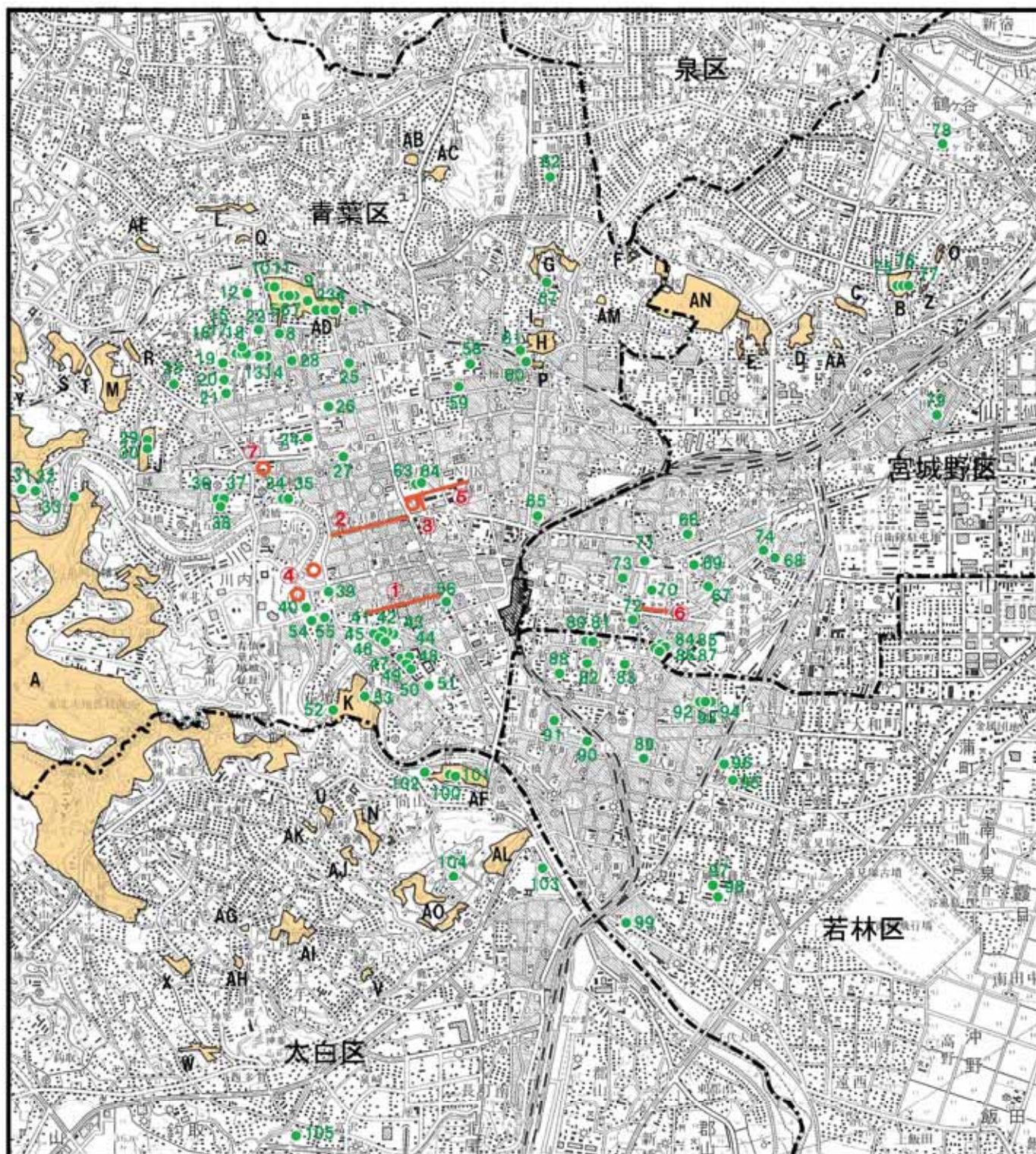
出典：仙台市資料(建設局百年の杜推進部公園課)








表 6.1-77 保存緑地

項目	記号	名 称	保存緑地の面積 (ha)
保存 緑地	A	青葉山	362.41
	B	善応寺	2.93
	C	西山	2.40
	D	安養寺	4.48
	E	木皿山	5.76
	F	奥津森	0.51
	G	瞑想の森	4.18
	H	東照宮	3.73
	I	仙台営林署	0.47
	J	大崎八幡	4.26
	K	霊屋	8.35
	L	北川山	3.27
	M	国見四丁目	9.36
	N	県児童館モデル遊園	3.75
	O	案内沢北	0.81
	P	仙岳院	0.69
	Q	山手森	0.60
	R	一の坂	0.99
	S	狐沢山	7.37
	T	国見四丁目	0.44
	U	大泉山	0.99
	V	滝沢寺	0.75
	W	東原	2.66
	X	金剛沢	2.35
	Y	放山	99.91
	Z	大拙庵	0.44
	AA	ラ・サールホーム	0.35
	AB	藤松	1.04
	AC	南黒松	1.48
	AD	北山	14.60
	AE	村上山	0.61
	AF	愛宕山	4.25
	AG	芦の口	0.44
	AH	西の平	0.65
	AI	橋本農園	4.63
	AJ	あびこの杜	0.95
	AK	大泉山	0.56
	AL	大年寺山	7.43
	AM	小松島二丁目	0.63
	AN	与兵衛沼	24.89
	AO	ニッ沢	7.24

出典：「仙台市公園・緑地等配置図」(平成 21 年 4 月 仙台市)



# 凡 例

-  : 対象事業計画地
-  : 区境界線
-  : 保存樹木(1~)
-  : 保存樹林(①~)
-  : 保存緑地(A~)



S=1:50,000

0 50 1000 2000m

図 6.1-25

保存樹木・保存樹林・保存緑地

出典：1.「杜の都の名木・古木」(平成21年3月 仙台市建設局百年の杜推進部)  
2.「仙台市公園・緑地等配置図」(平成21年4月 仙台市)

## ウ．植生

調査範囲の植生及び注目すべき植生の状況

調査範囲の現存植生は、図 6.1-26に示すとおりであり、事業予定地は「市街地」で植生自然度は低い。

「平成 21 年度 自然環境に関する基礎調査業務報告書」(平成 22 年 3 月 仙台市)では、環境省の植生自然度 9, 10 (自然植生) に該当する植生を「自然性の高い植生」として位置づけている。本調査範囲における自然性の高い植生の分布は図 6.1-27に示すとおりであり、広瀬川沿いや仙台城跡周辺などに分布している。なお、植生自然度の区分基準は表 6.1-78のとおりである。

注目すべき植物群落は、表 6.1-79及び図 6.1-28に示すとおりであり、東北大学植物園のモミ林、霊屋のスギ林がある。

表 6.1-78 植生自然度の区分基準

植生自然度	区分基準
10	高山ハイデ、風衝草原、自然草原等、自然植生のうち単層の植物社会を形成する地区
9	エゾマツ トドマツ群集、ブナ群集等、自然植生のうち多層の植物社会を形成する地区
8	ブナ・ミズナラ再生林、シイ・カシ萌芽林等、代償植生であっても、特に自然植生に近い地区
7	クリ ミズナラ群落、クヌギ コナラ群落等、一般には二次林と呼ばれる代償植生地区
6	常緑針葉樹、落葉針葉樹、常緑広葉樹等の植林地
5	ササ群落、ススキ群落等の背丈の高い草原
4	シバ群落等の背丈の低い草原
3	果樹園、桑畑、茶畑、苗圃等の樹園地
2	畑地、水田等の耕作地、緑の多い住宅地
1	市街地、造成地等の植生のほとんど存在しない地区

出典：「平成 21 年度 自然環境基礎調査報告書」(平成 22 年 3 月 仙台市)

表 6.1-79 注目すべき植物の群落

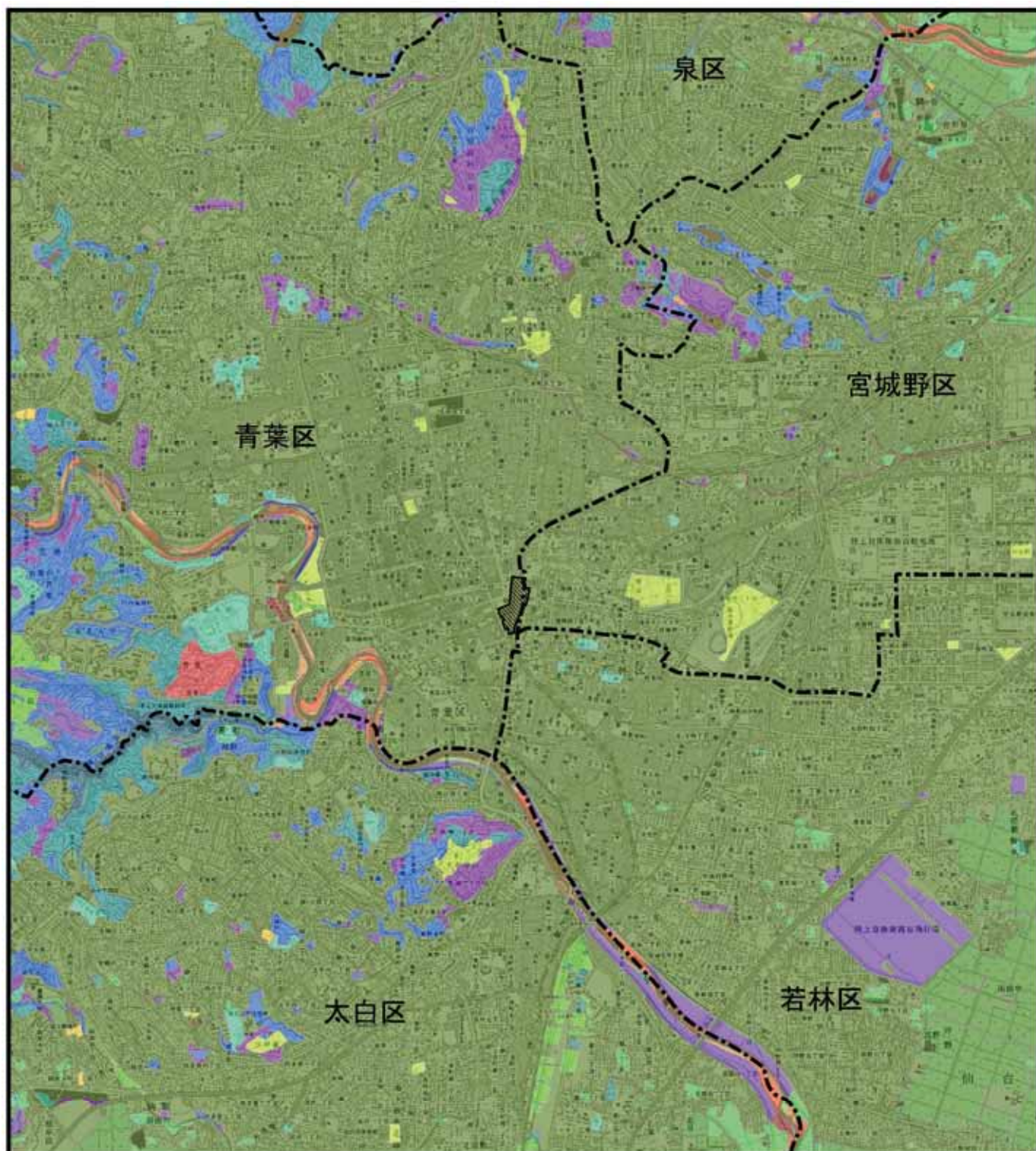
	件 名	選定理由	保全の状況
1	東北大学植物園のモミ林	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原生林もしくはそれに近い自然林</li> <li>・郷土景観を代表する植物群落で特にその特徴が典型的なもの</li> <li>・天然記念物(植物群落)</li> </ul>	国指定天然記念物
2	霊屋のスギ林	過去において人工的に植栽されたことが明らかな森林であっても長期にわたって伐採の手が入っていないもの	風致保安林 土砂崩壊防止保安林

出典：「環境省 自然環境基礎調査」(平成 8 年 3 月 仙台市)

計画地の植生の状況

計画地は、仙台駅構内であり、自然植生は分布していない。





# 凡 例



：対象事業計画地

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| アカマツ群落(V)    | ヨシクラス             |
| イヌシデ-アカシデ群落  | 果樹園               |
| クリ-コナラ群落     | 開放水域              |
| ケヤキ群落(IV)    | 残存・植栽樹群をもった公園・墓地等 |
| ゴルフ場・芝地      | 市街地               |
| スギ・ヒノキ・サワラ植林 | 水田雑草群落            |
| ススキ群団(V)     | 造成地               |
| ヒルムシロクラス     | 竹林                |
| モミ-イヌブナ群落    | 畑雑草群落             |
| ヤナギ高木群落(IV)  | 落葉広葉低木群落          |
| ヤナギ低木群落(IV)  | 緑の多い住宅地           |
|              | 路傍・空地雑草群落         |



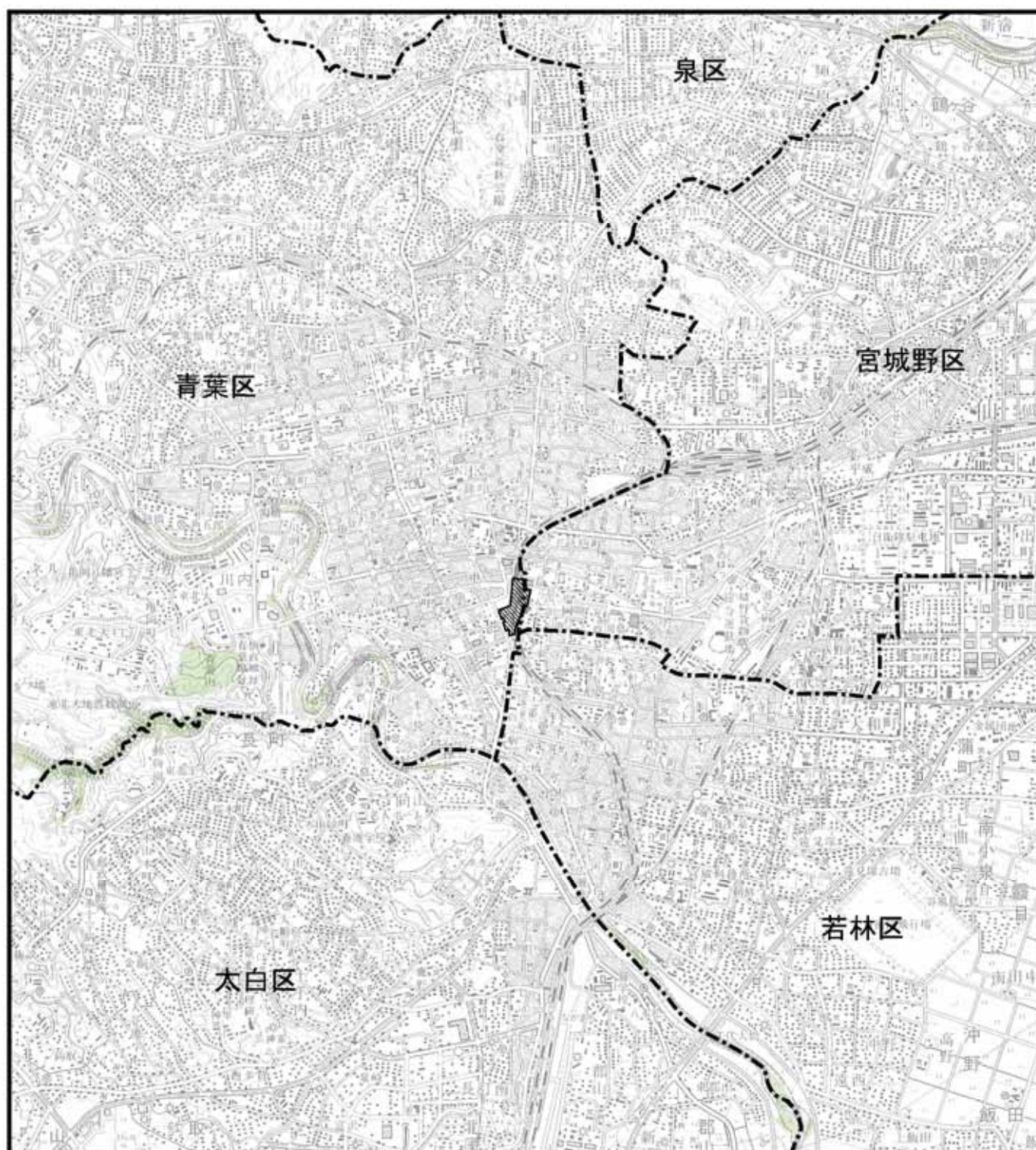
S=1:50,000

0 500 1000 2000m


図 6.1-26  
現存植生図



出典：「仙台市現存植生図」（平成21年 仙台市）





凡 例

 : 対象事業計画地

植生自然度 個別値	植 生
 : 10	ヒルムシロクラス ヨシクラス
 : 9	イヌシデアカシデ群落 ケヤキ群落(Ⅳ) モミイヌブナ群落 ヤナギ高木群落(Ⅳ) ヤナギ低木群落(Ⅳ)



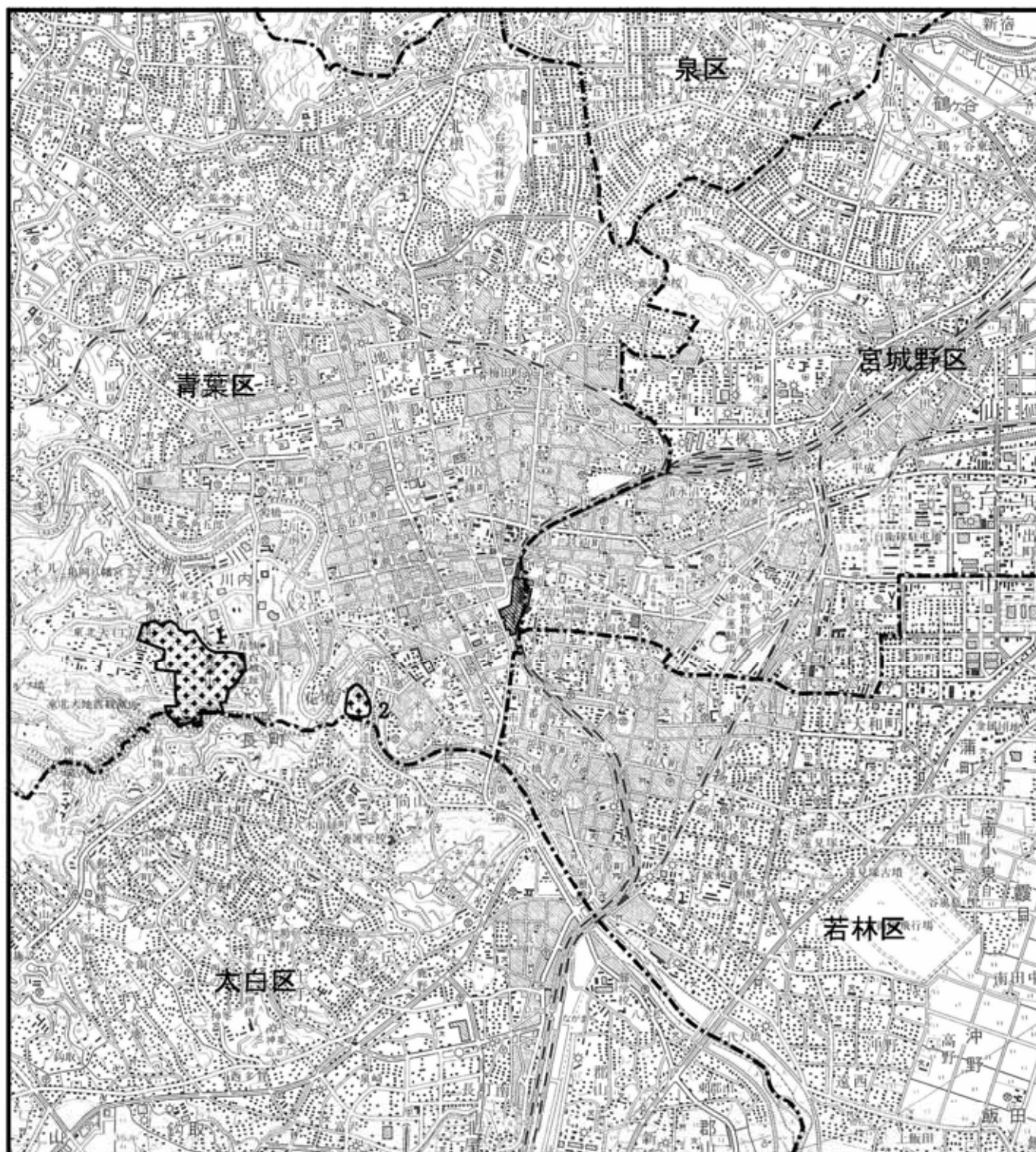
S=1:50,000

0 500 1000 2000m




図 6.1-27  
植生自然度

出典：「仙台市現存植生図」（平成21年 仙台市）から作成





凡 例

-  : 対象事業計画地
-  : 区境界線
-  : 注目すべき植物群落(1～2)



S=1:50,000

0 500 1000 2000m

図 6.1-28

注目すべき植物群落の分布

出典:「平成6年度 自然環境基礎調査報告書」(平成8年3月 仙台市)

## (2) 動物

### ア．動物相及び注目すべき動物の状況

仙台市では、山地から丘陵地に広がる森林域にツキノワグマや、国指定天然記念物のニホンカモシカやヤマネをはじめ、オコジョ、ニホンザル、キツネ、タヌキ、ニホンリス等の哺乳類が、鳥類ではゴジョウカラ、オオルリ、アカゲラ等の森林性の鳥類が多く分布し、丘陵地等では、オオタカの繁殖も確認されている。爬虫類ではマムシやジムグリのほか、比較的珍しいタカチホヘビやシロマダラ等も生息している。両生類では丘陵地の沢等にトウホクサンショウウオが広く生息し、モリアオガエルやカジカガエルも生息している。昆虫類では丘陵地にヒメギフチョウ、丘陵地の湿地にハッチョウトンボやオゼイトトンボ等のトンボ類が多く生息している。

市街地や田園地域では、人の生活空間の拡大や圃場整備等により動物の生息環境が減少しているが、市街地に残された公園や河川沿い等でタヌキ、イタチ、カワセミ、アオダイショウ、ミヤマクワガタ等、まだ多くの動物が生息しており、青葉山、台原森林公園、広瀬川等が主要な生息地となっている。

調査範囲が含まれる広瀬川流域では、適切な環境保全区域設定の基礎資料として平成 3 年度から 5 年度にかけて実施された「広瀬川流域自然環境調査」結果が「広瀬川流域の自然環境」(平成 6 年 3 月 仙台市)として取りまとめられている。動物相の特徴を表 6.1-80に示す。

表 6.1-80 動物相の特徴

項目	動物相の特徴
小型哺乳類	<p>小型哺乳類は生け捕りワナ、捕殺ワナおよび手捕りによる捕獲の他、文献、その他の記録等から、ほとんど文献資料がなかった翼手目や、ヤチネズミ、ヒメミズ等の生息を確認し、合計 3 目 5 科 13 種を記録した。</p> <p>翼手目は洞窟性種を中心に 2 科 7 種、食虫目 2 科 5 種、げっ歯目 1 科 4 種を記録し、小型哺乳類相からは、広瀬川流域の環境が比較的良好に保たれていると判断され、小型哺乳類の生息環境も保証されるような措置が必要であることを述べた。</p>
鳥類	<p>・中流域部の鳥類(生瀬橋下流、三居沢発電所取水口の北堰上流部～広瀬橋)</p> <p>中州や岸边には柳等の灌木が繁り野鳥たちの格好な生活の場となっている。目別構成はスズメ目が 54 種で 59.3%、チドリ目(Charadriiformes)9 種 9.9%、ガンカモ目 7 種 7.7%、ワシタカ目 6 種 6.6%の順となっていた。</p> <p>・下流域部の鳥類(広瀬橋下流～名取川河口)</p> <p>河口近くには中州や寄州があり干潮時にシギ・チドリ類カモ類(Gulls)が採餌や休息地として利用している。また地域住民の運動公園としても幅広く利用されており、河岸には低灌木や葦原も生い茂っている田園親水域である。</p> <p>このような環境の地域に 83 種の鳥類を確認することができた。日別構成はスズメ目が 33 種で 39.9%、チドリ目 19 種 22.9%、ガンカモ目 9 種 10.8%、コウノトリ目 8 種 9.6%、ワシタカ目 6 種 7.2%の順となっている。</p>
両生類 爬虫類	<p>広瀬川流域から両生類 6 科 15 種類、爬虫類 4 科 8 種類が出現した。</p> <p>出現種のいずれもが、概ね良好に生息している模様で、広瀬川流域の生息環境の多様さを物語っている。出現種は、宮城県付近の平地から山地にかけての平均的な、標準的な両生類・爬虫類相である。</p>
魚類	<p>・中流(青葉区熊ヶ根～愛宕橋)</p> <p>中流はウグイが優占種である。中村(1976)で多かったオイカワは、現在は少ない。アブラハヤは郷六付近より上流側の河岸のよどみで見られる。底生魚は、カマツカ、ニゴイ、ドジョウ、シマドジョウ、ギバチ、シマヨシノボリ、オオヨシノボリ、カジカ等が生息する。ニゴイは下流の淵部に多い大形の底生魚であるが、近年中流で増加していると言う。ヨシノボリ類は、郷六付近より上流側でオオヨシノボリが多く、下流側でシマヨシノボリが多い。カジカは市街地の牛越橋付近が分布の下限である。</p> <p>・下流(愛宕橋～下流)</p> <p>中流から下流に移行する付近は、愛宕堰と郡山堰の 2 基の堰堤がある。郡山堰は、広瀬川で最も下流に位置する堰堤であるが、魚道等の機能が十分でなく、通常の年はウグイ(降海型)、マルタウグイ、天然遡上アユ、ヌマチチブ等の通し回遊魚の遡上上限になっている。</p> <p>下流は、護岸整備と河川改修が進捗し、自然護岸の場所が減少した。平瀬の場所が広がった反面で、名取川との合流点付近は、河床を掘削したためにとろの状態になっている。</p> <p>遊泳魚はウグイが多い。オイカワ、タモロコ、モツゴ等の移植種や、止水の場所を好むメダカが見られる。底生魚は、ニゴイ、ヌマチチブが多い。</p> <p>春季は、遡上するアユ幼魚、自然繁殖のサケ稚魚、ウグイ(降海型)やマルタウグイ成魚、遡上するオオヨシノボリやシマヨシノボリ、ウキゴリの幼魚が見られる。</p>
昆虫類	本業務調査範囲では昆虫類の調査は実施されていない

出典：「広瀬川流域の自然環境」(平成 6 年 3 月 仙台市)



調査範囲内における注目すべき動物として、「平成 15 年度 自然環境に関する基礎調査業務報告書」(平成 16 年 2 月 仙台市)において「自然環境保全上重要な動物として選定されている種」のうち、調査結果で示されている分布域が本調査範囲内に該当している動物種、及び「広瀬川流域の自然環境」(平成 6 年 3 月 仙台市)において「中流域・下流域(本調査の調査対象範囲に該当)に生息する動物種」を調査範囲内における注目すべき動物種として整理した。

「平成 15 年度 自然環境に関する基礎調査業務報告書」(平成 16 年 2 月 仙台市)において「自然環境保全上重要な動物」として選定されている種の判断基準は、表 6.1-65に示すとおりであり、学術上重要種、減少種、環境指標種及びふれあい種に該当する種、ならびに環境省レッドデータブック種及び宮城県レッドデータブック種である。

調査範囲における注目すべき種は表 6.1-81～表 6.1-87に示すとおりであり、確認された種数は 99 種あり、うち環境省レッドリスト種は 46 種、県レッドデータブック種は 25 種である。分布地は、哺乳類は青葉山周辺、鳥類は広瀬川沿い、爬虫類は青葉山、両生類は青葉山、広瀬川沿い、魚類は広瀬川、昆虫類は、青葉山、広瀬川沿いに分布している。なお、表中の減少種の地域区分は表 6.1-67による。

表 6.1-81 注目すべき動物相の種数

項目	目数	科数	種数	文献 ( 1 )		判断理由(文献 )										( 2・ 3 ) 環境省 RL
						学術上 重要種	注目種								( 2 ) 県 RDB	
							減少種					環境 指標種	ふれ あい 種			
							山地	丘陵地	市街地	田園	海浜					
哺乳類	3	5	8	6	3	4	2	4	5	1	1	3	3	1	1	
鳥類	12	24	52	25	37	22	12	25	46	30	22	32	16	21	15	
爬虫類	1	3	6	5	3	2	3	2	6	2	3	5	2	1	0	
両生類	2	5	8	7	4	2	0	2	8	0	0	6	7	5	3	
魚類	8	8	9	9	6	5	4	6	7	3	2	4	4	5	5	
昆虫類	6	14	16	16	4	16	1	9	11	3	0	3	1	13	1	
合計	32 目	59 科	99 種	68 種	53 種	51 種	22 種	48 種	83 種	39 種	28 種	53 種	33 種	25 種	46 種	

1：文献は以下のとおりである。

「平成 15 年度 自然環境に関する基礎調査業務報告書」(平成 16 年 2 月 仙台市)

「広瀬川流域の自然環境」(平成 6 年 3 月 仙台市)

2：RL・RDB 種は以下のとおりである。

環境省 RL：「環境省レッドリスト(哺乳類)」(平成 19 年 8 月 環境省)

「環境省レッドリスト(鳥類)」(平成 18 年 12 月 環境省)

「環境省レッドリスト(爬虫類、両生類)」(平成 18 年 12 月 環境省)

「環境省レッドリスト(汽水・淡水魚類)」(平成 19 年 8 月 環境省)

「環境省レッドリスト(昆虫類)」(平成 19 年 8 月 環境省)

宮城県 RDB：「宮城県の希少な野生動植物 - 宮城県レッドデータブック - 」(平成 13 年 3 月 宮城県)

3：文献 では RDB 種を判断基準としていたが、平成 16 年以降データが更新されたため、「自然環境保全上重要な植物種」として抽出された種が RL 種に該当するかどうかを確認した。

4：文献 では、本調査範囲での昆虫類の調査は実施されていない

表 6.1-82 注目すべき動物種(1/6)【哺乳類・鳥類】

## 【哺乳類】

No.	目名	科名	種名	文献 ( 1 )		判断理由(文献 )										( 2・3 ) 環境省 RL	分布地 ( 文献 )	備考 ( 4 )
						学術上 重要種	注目種						環境 指標種	ふれ あい 種	( 2 ) 県 RDB			
							減少種											
							山地	丘陵地	市街地	田園	海浜							
1	コウモリ	キクガシラ コウモリ	ニホンキクガシラ コウモリ			1										青葉山		
2		ヒナコウモリ	モモジロコウモリ			1,4	C	C	C							愛宕～竜ノ口導水 トンネル		
3			ヤマコウモリ			1,4	C	B	B					VU	NT	青葉山，川内		
4	ネズミ	リス	ニッコウムササビ			1,4		C	B							広瀬川(米ヶ袋),青 葉山,旭ヶ丘団地 経ヶ峯		
5		ネズミ	ホンドハタネズミ						B		C					郡山，飯田河川敷	(1)	
6			ヒメネズミ				C									鉤取		
7	ネコ	イタチ	ホンドテン													青葉山，八木山		
8			イタチ						B	C							鉤取	
-	3 目	5 科	8 種	6 種	3 種	4 種	2 種	4 種	5 種	1 種	1 種	3 種	3 種	1 種	1 種			

## 【鳥類】

No.	目名	科名	種名	文献 ( 1 )			判断理由(文献 )										( 2・3 ) 環境省 RL	分布地 (文献 )
							学術上 重要種	注目種							( 2 ) 県 RDB			
					中流	下流		減少種					環境 指標種	ふれ あい 種				
								山地	丘陵地	市街地	田園	海浜						
1	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ						C	B	C							
2	コウノトリ	サギ	ヨシゴイ							B						NT	広瀬川， 七北田川	
3			ミゾゴイ			1	C	B						NT	EN	青葉山		
4			アマサギ			2			A									
5			チュウサギ			1,2,4		C	A	C	C				NT	NT	南長町	
6			コサギ			2			B									
7	カモ	カモ	オシドリ					C	B							DD	広瀬川	
8	タカ	タカ	ミサゴ				1,4					C			NT	NT	広瀬川，三共堤， 七北田川	
9			オジロワシ			1,2,4		C	C	C	C			VU	EN	鶴ヶ谷		
10			オオタカ			1,4	C	C	B	B	B			NT	NT	広瀬川， 七北田川，台原		
11			ハイタカ			1,4	C	C	C	C	C			NT	NT			
12			チュウヒ					C	B	C	C				NT	EN	広瀬川，三神峯	
13		ハヤブサ	ハヤブサ				1,4	C	B	B	B	B			NT	VU	四郎丸，広瀬川， 三神峯，大年寺 山，台原，小鶴	
14	チゴハヤブサ					1,4			B	B				要				

1: 文献は以下のとおりである。

「平成 15 年度 自然環境に関する基礎調査業務報告書」(平成 16 年 2 月 仙台市)

「広瀬川流域の自然環境」(平成 6 年 3 月 仙台市)

ただし, 文献中において「中流」は広瀬川中流域内で確認され, 「下流」は広瀬川下流部で確認された種である。

2: RL・RDB 種は以下のとおりである。

環境省 RL: 「環境省レッドリスト(哺乳類)」(平成 19 年 8 月 環境省)

「環境省レッドリスト(鳥類)」(平成 18 年 12 月 環境省)

宮城県 RDB: 「宮城県の希少な野生動植物 - 宮城県レッドデータブック - 」(平成 13 年 3 月 宮城県)

3: 文献 では RDB 種を判断基準としていたが, 平成 16 年以降データが更新されたため, 「自然環境保全上重要な植物種」として抽出された種が RL 種に該当するかどうかを確認した。

4: 備考欄の標記は以下のとおりである。

(1)は参考文献 において「ハタネズミ」と記載

表 6.1-83 注目すべき動物種(2/6)【鳥類】

No.	目名	科名	種名	文献 ( 1 )			判断理由(文献 )										( 2・ 3 ) 環境省 RL	分布地 (文献 )
							学術上 重要種	注目種					( 2 ) 県 RDB					
					中流	下流		減少種				環境 指標種		ふれ あい 種				
								山地	丘陵地	市街地	田園				海浜			
15	タカ	ハヤブサ	チョウゲンボウ						C	B	C	B						
16	キジ	キジ	ウズラ				1,4	A	A	A	A	A			CR+EN	NT	八木山	
17	ツル	クイナ	クイナ						C	A	B	B			要		富田,大年寺山, 三共堤,鶴ヶ谷	
18			バン						C	B	C						広瀬川, 台原	
19	チドリ	チドリ	イカルチドリ					C	C	B	B							
20		カモメ	コアジサシ				1,2,4			A	B	B			VU	VU	広瀬川	
21	カッコウ	カッコウ	カッコウ					C	C	B	C	C					広瀬川,青葉山,七 北田川, 鶴ヶ谷, 台原	
22	フクロウ	フクロウ	トラフズク				1				B	B			DD		郡山	
23			コミミズク				1		B	A	B	B			要		沢川	
24			コノハズク				1	C	C						DD		八幡,三神峯	
25			アオバズク					C	B	B	B	B			NT		川内,富沢,四郎 丸,茂ヶ崎,土樋, 与兵衛沼	
26			フクロウ					C	C	B	B	C			要		三神峯,鉤取,鶴 ヶ谷,与兵衛沼	
27	ブッポウソウ	カワセミ	ヤマセミ							C							広瀬川,五色沼, 鉤取	
28			カワセミ							C							広瀬川, 台原,七 北田川,小松島新 堤沼,梅田川,与 兵衛沼,鶴ヶ谷	
29	キツツキ	キツツキ	アオゲラ							B	C	C						
30			アカゲラ							B	C	C						
31	スズメ	ヒバリ	ヒバリ							B								
32		ツバメ	コシアカツバメ												要			
33		セキレイ	キセキレイ							C								
34			セグロセキレイ				4											
35		サンショウクイ	サンショウクイ				1,4	C	C	B	C	C			VU	VU		
36		モズ	チゴモズ				1,4		C	C	C				CR+EN	CR	富沢	
37			モズ							B	C							
38			アカモズ				1,4		C	C	C				CR+EN	EN	広瀬川,七北田川	
39		カワガラス	カワガラス							B								
40		ツグミ	ルリビタキ							C								
41			トラツグミ							B	C							
42			シロハラ							B								
43		ウグイス	ウグイス							C								
44			コヨシキリ						C	A	C	C						広瀬川,青葉山
45			オオヨシキリ								B							川内,米ヶ袋,霞 目,鶴ヶ谷

1: 文献は以下のとおりである。

「平成 15 年度 自然環境に関する基礎調査業務報告書」(平成 16 年 2 月 仙台市)

「広瀬川流域の自然環境」(平成 6 年 3 月 仙台市)

ただし,文献中において「中流」は広瀬川中流域内で確認され,「下流」は広瀬川下流部で確認された種である。

2: RL・RDB 種は以下のとおりである。

環境省 RL:「環境省レッドリスト(鳥類)」(平成 18 年 12 月 環境省)

宮城県 RDB:「宮城県の希少な野生動植物 - 宮城県レッドデータブック - 」(平成 13 年 3 月 宮城県)

ただし文献中において「中流」は広瀬川中流域内で確認され,「下流」は広瀬川下流部で確認された種である。

3: 文献 では RDB 種を判断基準としていたが,平成 16 年以降データが更新されたため,「自然環境保全上重要な植物種」として抽出された種が RL 種に該当するかどうかを確認した。

表 6.1-84 注目すべき動物種(3/6)【鳥類】

No.	目名	科名	種名	文献 ( 1 )			判断理由(文献 )										( 2・ 3) 環境省 RL	分布地 (文献 )
							学術上 重要種	注目種							( 2 ) 県 RDB			
					中流	下流		減少種					環境 指標種	ふれ あい 種				
								山地	丘陵地	市街地	田園	海浜						
46	スズメ	ウグイス	セッカ						C	B	C	C						
47		ヒタキ	キビタキ							B								
48			コサメビタキ				1,4			B			○					
49		カササギヒタキ	サンコウチョウ							B			○				三神峯，青葉山， 広瀬川，台原	
50		ホオジロ	ホオジロ							B				○				
51			ホオアカ				1	B	B	A	B	B	○					
52			アオジ				1			C	B							
-	12 目	24 科	52 種	25 種	15 種	21 種	22 種	12 種	25 種	46 種	30 種	22 種	32 種	16 種	15 種	21 種	-	

1 : 文献は以下のとおりである。

「平成 15 年度 自然環境に関する基礎調査業務報告書」(平成 16 年 2 月 仙台市)

「広瀬川流域の自然環境」(平成 6 年 3 月 仙台市)

ただし,文献中において「中流」は広瀬川中流域内で確認され,「下流」は広瀬川下流部で確認された種である。

2 : RL・RDB 種は以下のとおりである。

環境省 RL : 「環境省レッドリスト(鳥類)」(平成 18 年 12 月 環境省)

宮城県 RDB : 「宮城県の希少な野生動植物 - 宮城県レッドデータブック - 」(平成 13 年 3 月 宮城県)

3 : 文献 では RDB 種を判断基準としていたが,平成 16 年以降データが更新されたため,「自然環境保全上重要な植物種」として抽出された種が RL 種に該当するかどうかを確認した。



表 6.1-85 注目すべき動物種(4/6)【爬虫類・両生類】

## 【爬虫類】

No.	目名	科名	種名	文献 ( 1 )		判断理由(文献 )										( 2・3 ) 環境省 RL	分布地 (文献 )
						学術上 重要種	注目種							( 2 ) 県 RDB			
							減少種					環境 指標種	ふれ あい 種				
							山地	丘陵地	市街地	田園	海浜						
1	トカゲ	トカゲ	トカゲ			1	C	C	A							青葉山	
2		カナヘビ ヘビ	カナヘビ						C	C	C					川内,小松島,旭丘	
3			タカチホヘビ			1	C	C	B					DD		青葉山,向山	
4		ジムグリ						C		C						四郎丸,青葉山	
5		アオダイショウ							C								八木山,,川内,花壇, 堰場,桜ヶ丘,虹の丘, 鶴ヶ谷
6		ヒバカリ						C		C	C	B					袋原,沖野,鉤取,桜ヶ 丘,台原
-	1 目	3 科	6 種	5種	3種	2 種	3 種	2 種	6 種	2 種	3 種	5 種	2 種	1 種	0 種		

## 【両生類】

No.	目名	科名	種名	文献 ( 1 )		判断理由(文献 )										( 2・3 ) 環境省 RL	分布地 ( 文献 )	備考 ( 4 )
						学術上 重要種	注目種							( 2 ) 県 RDB				
							減少種					環境 指標種	ふれ あい 種					
							山地	丘陵地	市街地	田園	海浜							
1	サンショウウオ	サンショウウオ	トウホク サンショウウオ			1,4			B					NT	NT	青葉山		
2			クロ サンショウウオ			4			A					LP		国見， 千代田町付近		
3		イモリ	イモリ					C	A					LP	NT	川内	(2)	
4	カエル	ヒキガエル	アズマヒキガエル						C								川内，日本平 小田原，台原 松森	
5		アカガエル	タゴガエル					C	B								青葉山	
6			ニホンアカガエル						B					NT			長喜城，沖野 富沢	
7			トウキョウ ダルマガエル						B					NT	NT		四郎丸	
8			アオガエル	カジカガエル						B								広瀬川上流～ 霊屋橋付近
-	2 目	5 科	8 種	7 種	4 種	2 種	0 種	2 種	8 種	0 種	0 種	6 種	7 種	5 種	3 種			

1: 文献は以下のとおりである。

「平成 15 年度 自然環境に関する基礎調査業務報告書」(平成 16 年 2 月 仙台市)

「広瀬川流域の自然環境」(平成 6 年 3 月 仙台市)

ただし,文献中において「中流」は広瀬川中流域内で確認され,「下流」は広瀬川下流部で確認された種である。

2: RL・RDB 種は以下のとおりである。

環境省 RL:「環境省レッドリスト(爬虫類,両生類)」(平成 18 年 12 月 環境省)

宮城県 RDB:「宮城県の希少な野生動植物 - 宮城県レッドデータブック - 」(平成 13 年 3 月 宮城県)

3: 文献 では RDB 種を判断基準としていたが,平成 16 年以降データが更新されたため,「自然環境保全上重要な植物種」として抽出された種が RL 種に該当するかどうかを確認した。

4: 備考欄の標記は以下のとおりである。

(2)は環境省 RL において「アカハライモリ」と記載

表 6.1-86 注目すべき動物種(5/6)【魚類】

No.	目名	科名	種名	文献 ( 1 )		判断理由(文献 )										( 2・3 ) 環境省 RL	分布地 (文献 )	備考 ( 4 )
						学術上 重要種	注目種							( 2 ) 県 RDB				
							減少種					環境 指標種	ふれ あい 種					
							山地	丘陵地	市街地	田園	海浜							
1	ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	スナヤツメ			1	C	B		B				NT	VU	広瀬川，筑川， 七北田川	(3)	
2	ウナギ	ウナギ	ウナギ				B	B	B	B	B				DD	広瀬川，七北田川		
3	コイ	コイ	テツギョ			1	B							CR+EN		広瀬川		
4			ウグイ					C	C							広瀬川，七北田川		
5	ナマズ	ギギ	ギバチ			1								NT	VU	広瀬川，梅田川， 七北田川		
6	サケ	アユ	アユ					C	C	C	C					広瀬川，梅田川， 七北田川		
7	ダツ	メダカ	メダカ			1		B	C					NT	VU	広瀬川，太白区・ 若林区の農業用 水路	(4)	
8	トゲウオ	トゲウオ	イトヨ太平洋型			1								VU		梅田川	(5)	
9	カサゴ	カジカ	カジカ				C	C	B						NT	筑川，広瀬川， 七北田川	(6)	
-	8 目	8 科	9 種	9 種	6 種	5 種	4 種	6 種	7 種	3 種	2 種	4 種	4 種	5 種	5 種	-	-	

1：文献は以下のとおりである。

「平成 15 年度 自然環境に関する基礎調査業務報告書」(平成 16 年 2 月 仙台市)

「広瀬川流域の自然環境」(平成 6 年 3 月 仙台市)

ただし，文献中において「中流」は広瀬川中流域内で確認され，「下流」は広瀬川下流部で確認された種である。

2：RL・RDB 種は以下のとおりである。

環境省 RL：「環境省レッドリスト(汽水・淡水魚類)」(平成 19 年 8 月 環境省)

宮城県 RDB：「宮城県の希少な野生動植物 - 宮城県レッドデータブック - 」(平成 13 年 3 月 宮城県)

3：文献 では RDB 種を判断基準としていたが，平成 16 年以降データが更新されたため，「自然環境保全上重要な植物種」として抽出された種が RL 種に該当するかどうかを確認した。

4：備考欄の標記は以下のとおりである。

(3)は環境省 RL において「スナヤツメ北方種，スナヤツメ南方種」と記載

(4)は環境省 RL において「メダカ北日本集団，メダカ南日本集団」と記載

(5)は文献 において「降海型イトヨ」と記載

(6)は環境省 RL において「カジカ大卵型」と記載

表 6.1-87 注目すべき動物種(6/6) 【昆虫類】

No.	目名	科名	種名	判断理由									( 1・2 ) 環境省 RL	分布地 ( 文献 )
				学術上 重要種	注目種							( 1 ) 県 RDB		
					減少種					環境 指標種	ふれ あい 種			
					山地	丘陵地	市街地	田園	海浜					
1	トンボ	イトトンボ	オオイトトンボ	1		C	B	C						青葉山
2			オゼイトトンボ	1		B	B					VU		青葉山
3		カワトンボ	アオハダトンボ	1		B	A					NT		七北田川 ( 消失 )
4		エゾトンボ	トラフトンボ	1		C	A					VU		川内五色沼 ( 消失 )
5		トンボ	ハッチョウトンボ	1		C	A					VU		北根( 消失 )
6	ナナフシ	ナナフシ	エダナナフシ	1			B							広瀬川流域
7				ナナフシモドキ	1		C	A				DO		向山( 消失 )
8	カメムシ	コオイムシ	タガメ	1			A	C				CR+ EN	VU	広瀬川 ( 消失 )
9	アミメカゲロウ	ツノトンボ	ツノトンボ	1								CR+ EN		金剛沢 ( 消失 )
10	コウチュウ	ハンミョウ	マガタマハンミョウ	1								NT		鉤取, 川内, 青葉山
11		オサムシ	ニッコウホソヒラタゴミ	1	C							VU		広瀬川流域
12		ホタル	ゲンジボタル	1		C	B	C				YO		富田
13		カミキリムシ	アオカミキリ	1		B	C							広瀬川流域
14	チョウ	セセリチョウ	ホソバセセリ	1		C	B					NT		青葉山
15		カギバガ	スカシカギバ	2								CR+ EN		牛越橋 ( 消失 )
16		シャチホコガ	クロシタシャチホコ	1,2								NT		牛越橋 ( 消失 )
-	6 目	14 科	16 種	16 種	1 種	9 種	11 種	3 種	0 種	3 種	1 種	13 種	1 種	-

1: RL・RDB 種は以下のとおりである。

環境省 RL: 「環境省レッドリスト(昆虫類)」(平成 19 年 8 月 環境省)

宮城県 RDB: 「宮城県の希少な野生動植物 - 宮城県レッドデータブック - 」(平成 13 年 3 月 宮城県)

2: 「平成 15 年度 自然環境に関する基礎調査業務報告書」(平成 16 年 2 月 仙台市)では RDB 種を判断基準としていたが、平成 16 年以降データが更新されたため、「自然環境保全上重要な植物種」として抽出された種が RL 種に該当するかどうかを確認した。

出典: 「平成 15 年度 自然環境に関する基礎調査業務報告書」(平成 16 年 2 月 仙台市)

#### イ. その他事業の立地上配慮を要する動物

事業予定地の植生は図 6.1-26に示したとおり「市街地」であり、注目すべき植物群落の分布もみられない。また、公園や河川等も隣接しておらず、事業予定地内に注目すべき動物種が存在する可能性は低い。

#### (3) 生態系

事業計画地西側～南側を流れる広瀬川や西側の青葉山やその周辺については、河川環境や森林環境を基盤とした生態系が存在している。ただし、計画地は市街地部に位置し、自然植生が分布せず、動物・植物の主要な生息・生育環境とはなっていない。

### 6.1.5 景観等及び自然との触れ合いの場の状況

#### (1) 景観

##### ア．自然的景観資源及び文化的景観資源の状況

調査範囲における主要な自然的景観資源及び文化的景観資源は、表 6.1-88及び図 6.1-29に示すとおりである。調査範囲における自然的景観資源は、仙台市霊屋広瀬川面、仙台市広瀬町、竜ノ口溪谷等 5 箇所があり、文化的景観資源は、堤通(七夕飾り)、西公園、愛宕神社等 24 箇所がある。

表 6.1-88 調査範囲の景観資源

#### 【自然的景観資源】

No.	名称	文献( )		
1	仙台市霊屋広瀬川面(断崖・絶壁)			
2	仙台市広瀬町(断崖・絶壁)			
3	竜ノ口溪谷			
4	定禅寺通り(けやき並木のアーチ)			
5	広瀬川			
-	-	3	2	2

#### 【文化的景観資源】

No.	名称	文献( )	
1	堤通(七夕飾り)		
2	西公園		
3	青葉神社		
4	愛宕神社		
5	大崎八幡宮		
6	亀岡八幡神社		
7	孝勝寺		
8	護国神社		
9	榴岡天満宮		
10	東照宮		
11	成田山経ヶ峰国分寺		
12	白山神社		
13	陸奥国分寺薬師堂		
14	龍宝寺		
15	輪王寺		
16	輪王寺庭園		
17	仙台城跡		
18	遠見塚古墳		
19	原田甲斐屋敷門		
20	陸奥国分寺跡		
21	大崎八幡宮社殿		
22	旧歩兵第4連隊兵舎		
23	仙台朝市		
24	初売り		
-	-	2	22

：文献は以下のとおりである。

「平成 15 年度 自然環境に関する基礎調査業務報告書」(平成 16 年 2 月 仙台市)

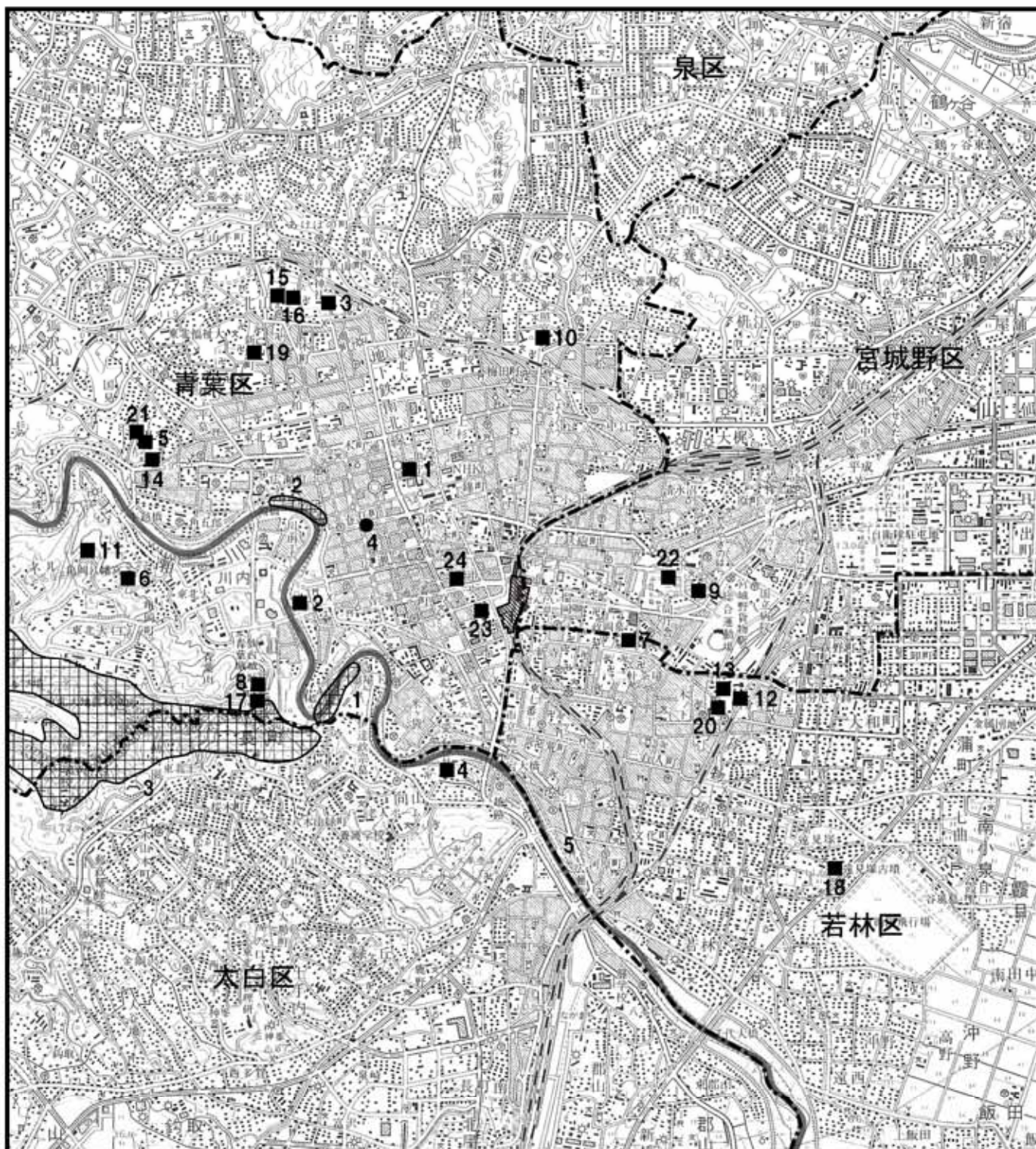
「みやぎ・身近な景観百選」(平成 22 年 3 月 宮城県)

<http://www.pref.miyagi.jp/tosikei/portal/100sen/hyakusen.htm>





「宮城県観光データブック」(平成 22 年 3 月 宮城県)

<http://www.kankou-miyagi.net/japan/search/index.htm>





#### 凡 例

-  : 対象事業計画地
-  : 区境界線
-  : 自然的景観資源(1～5)
-  : 文化的景観資源(1～24)



S=1:50,000

0 500 1000 2000m

出典：「平成15年度 自然環境に関する基礎調査業務報告書」(平成16年2月 仙台市)  
「みやぎ・身近な景観百選」(平成22年3月 宮城県)  
<http://www.pref.miyagi.jp/tosikei/portal/100sen/hyakusen.htm>  
「宮城県観光データブック」(平成22年3月 宮城県)  
<http://www.kankou-miyagi.net/japan/search/index.htm>

図 6.1-29

計画地周辺の景観資源

イ．眺望地点の状況

調査範囲の主要眺望地点としては、表 6.1-89及び図 6.1-30に示すとおり、青葉通、広瀬通、定禅寺通等があげられる。

表 6.1-89 調査範囲の主要眺望地点

No.	名称	文献( )			文献における位置付け
1	青葉通				ケヤキ通りや川、街角スケッチ
2	広瀬通				ケヤキ通りや川
3	定禅寺通(「夏の思い出」エミリオ・グレコ)				ケヤキ通りや川、街角スケッチ
4	広瀬川				ケヤキ通りや川、街角スケッチ
5	仙台城跡、伊達政宗騎馬像、昭忠碑、支倉常長像				歴史・文化
	仙台市全景				街角スケッチ
6	住友生命仙台中央ビル(SS30)展望室				展望台
7	宮城県庁展望ホール				展望台
8	AER 展望テラス				展望台
9	大崎八幡宮				歴史・文化
10	陸奥国分寺薬師堂				歴史・文化
11	白山神社				歴史・文化
12	芭蕉の辻				歴史・文化
13	魯迅の碑				歴史・文化
14	一番丁通				街角スケッチ
15	中央通				街角スケッチ
16	仙台駅周辺(ガス灯のある街五番町)				街角スケッチ、歴史・文化
17	堤町				街角スケッチ
18	国分町				街角スケッチ
19	勾当台公園				街角スケッチ
	(谷風像)				歴史・文化
20	西公園				街角スケッチ
21	榴岡公園				街角スケッチ
22	青葉神社				歴史・文化
23	資福寺				歴史・文化
24	輪王寺				歴史・文化
25	東照宮				歴史・文化
26	台原森林公園				街角スケッチ
27	広瀬川(千代大橋)				
28	三神峯公園				
29	仙台市野草園				
30	大年寺山				
31	長町駅				
32	金剛沢緑地				
33	あすと長町大通り(一般国道4号)				

：文献は以下のとおりである。

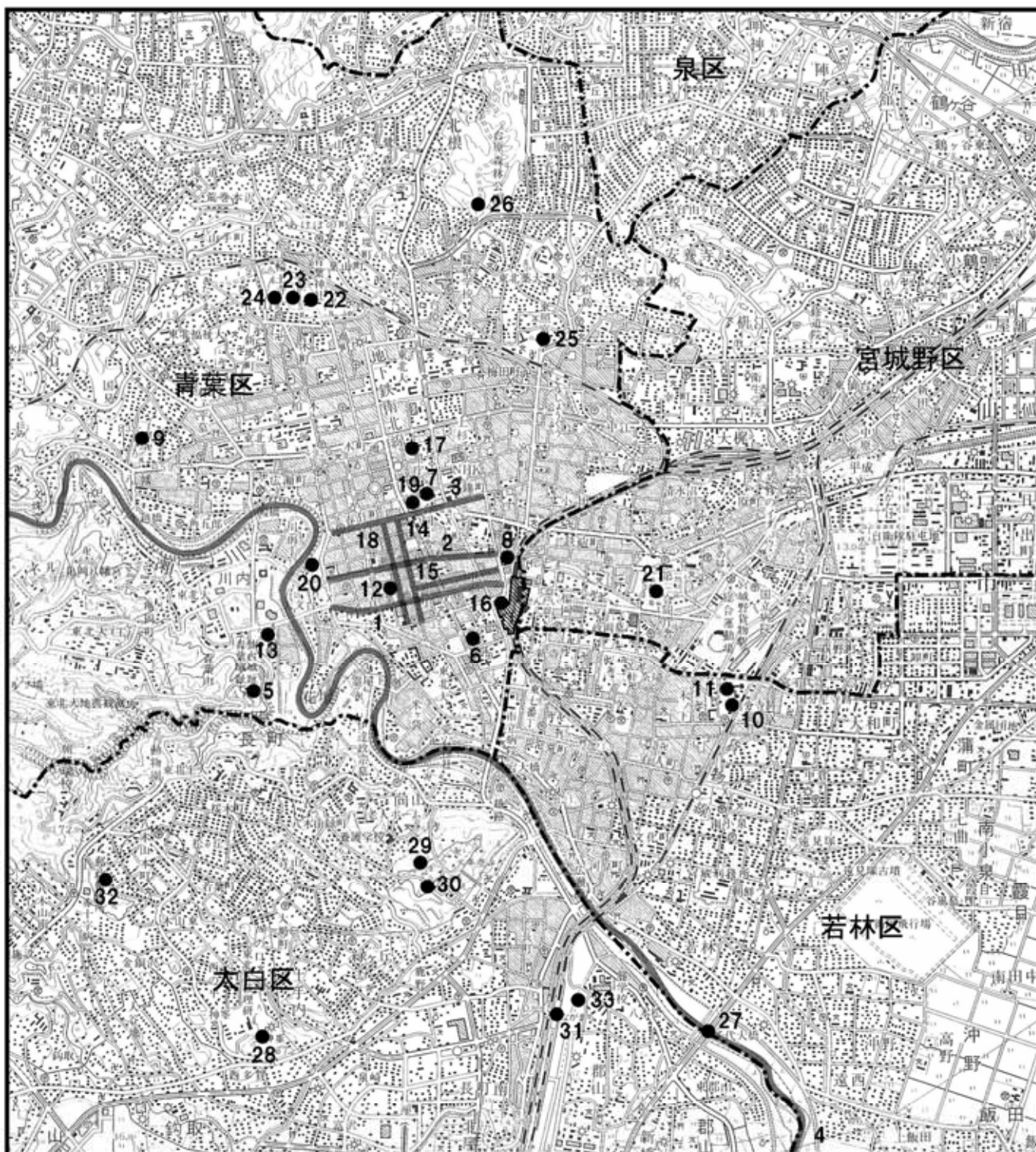
「仙台観光情報サイト せんだい旅日和」(平成 22 年 3 月 財団法人仙台観光コンベンション協会)

<http://sendai.sentabi.jp/miru/index02.cgi?jnr=04>




「仙臺写真館」(平成 22 年 3 月 仙台市観光交流課) [http://www.sendai-biyori.com/sendai-p-g/wk\\_top\\_index.html](http://www.sendai-biyori.com/sendai-p-g/wk_top_index.html)

現地調査結果による(平成 20 年 9 月)





#### 凡 例

-  : 対象事業計画地
-  : 区境界線
-  : 主要眺望地点(1~33)



S=1:50,000

0 500 1000 2000m

出典：「仙台観光情報サイト せんだい旅日和」  
 (平成22年3月 財団法人仙台観光コンベンション協会)  
<http://sendai.sentabi.jp/miru/index02.cgi?jnr=04>  
 「仙臺写真館」(平成22年3月 仙台市観光交流課)  
[http://www.sendai-biyori.com/sendai-p-g/wk\\_top\\_index.html](http://www.sendai-biyori.com/sendai-p-g/wk_top_index.html)  
 現地調査結果による(平成20年9月)

図 6.1-30  
主要眺望地点

#### ウ．事業予定地の景観の状況

##### 景観の概要

事業予定地はオフィスビル・商業ビルが連立する中を青葉通・宮城野通といった緑豊かな目抜き通が通っている都心的な景観を有する地区に位置している。

また、『仙台市「杜の都」景観計画（平成 21 年 7 月 仙台市）』において、景観重点区域内的の「都心ビジネスゾーン」に位置づけられており、その景観特性は「並木景・都心景」であり、「仙台駅を中心とする都心地域で、仙台及び東北地域の中心となる商業・業務市街地からなるゾーン」とされている。

##### 景観資源の内容と特徴

事業予定地を含む景観重要公共施設として、「青葉通・宮城野通」、「仙台駅西口・東口駅前広場」が位置づけられている。「仙台市「杜の都」景観計画」において、宮城野通は「杜の都を代表する目抜き通として、沿道の街並みとの調和を目指す良好な景観形成に向けた取組」が行われているとされている。また、仙台駅西口・東口駅前広場は、「市内外の人々が集まる仙台の玄関口であり、広域的な交通の結節点として、仙台駅舎やその周辺建築物等とともに景観形成が行われている」とされている。



(2) 自然との触れ合いの場

ア．自然との触れ合いの場の状況

事業予定地には，主要な自然との触れ合いの場はない。調査地域内における自然公園，県自然環境保全地域，県緑地環境保全地域，風致地区，都市計画公園，都市公園などの法令に基づく指定を受けている区域は表 6.1-90～表 6.1-106，図 6.1-31のとおりである。自然公園および，県自然環境保全地域は調査範囲内には存在せず，県緑地環境保全地域は 1 地域，風致地区は 8 地区，都市計画公園は 165 箇所，都市公園は 670 箇所存在する。

表 6.1-90 自然との触れ合いの場（1/17）

区分	番号	名称	所在地
自然公園		地域概況の調査範囲内には含まれない	
県自然環境保全地域		地域概況の調査範囲内には含まれない	
県緑地環境保全地域	1	丸田沢緑地環境保全地域	
風致地区	1	大年寺	太白区向山三丁目，萩ヶ丘，八木山緑町の各一部，長町字茂ヶ崎
	2	八木山	太白区八木山香澄町，向山一丁目，長町字越路の各一部
	3	愛宕山	太白区向山四丁目の一部
	4	霊屋	青葉区霊屋下の一部
	5	大崎八幡	青葉区八幡四丁目の一部
	6	北山	青葉区北山一丁目，青葉町の各一部
	7	台ノ原	青葉区台原一丁目，台原六丁目，荒巻杉添の各一部
	8	安養寺	宮城野区蟹沢，小松島新堤，柊江，原町小田原字前田中，同字土手前，同字案内，同字安養寺下，同字柳沢の各一部
都市計画公園	1	勝山公園	青葉区上杉二丁目
	2	北三番丁公園	青葉区木町通一丁目
	3	肴町公園	青葉区国分町一丁目
	4	五橋公園	青葉区五橋一丁目
	5	跡付丁公園	青葉区春日町
	6	良覚院丁公園	青葉区片平一丁目
	7	木ノ下公園	青葉区木ノ下二丁目
	8	通町公園	青葉区青葉町
	9	荒町公園	青葉区荒町
	10	広瀬公園	若林区河原町一丁目
	11	旭町公園	若林区白萩町
	12	柳町公園	青葉区一番町一丁目
	13	北勾当台公園	青葉区二日町
	14	中江公園	青葉区中江一丁目
	15	荒巻公園	青葉区荒巻神明町
	16	台原公園	青葉区台原一丁目
	17	中江北公園	青葉区中江一丁目
	18	中江西公園	青葉区中江一丁目
	19	ノ木公園	太白区郡山三丁目
	20	鈴虫荘公園	青葉区国見三丁目
	21	案内公園	宮城野区東仙台五丁目
	22	燕沢公園	宮城野区燕沢一丁目
	23	東仙台公園	宮城野区小鶴字西田

出典：自然公園法（自然公園）

自然環境保全法・宮城県自然環境保全条例（県自然環境保全地域・県緑地環境保全地域）

都市計画法（風致地区・都市公園）

広瀬川の清流を守る条例（環境保全区域）

仙台市公園・緑地等配置図（平成 21 年 4 月 1 日 仙台市）

表 6.1-91 自然との触れ合いの場 (2/17)

区分	番号	名称	所在地
都市計画公園	24	長町公園	太白区鹿野一丁目
	25	南宮城野公園	宮城野区宮千代一丁目
	26	宮千代公園	宮城野区宮千代一丁目
	27	志波北公園	宮城野区萩野町二丁目
	28	清水田公園	宮城野区萩野町三丁目
	29	外記丁通公園	青葉区上杉一丁目
	30	手戸公園	青葉区山手町
	31	清水沼公園	宮城野区清水沼一丁目
	32	向山公園	太白区向山四丁目
	33	萩野町公園	宮城野区萩野町三丁目
	34	谷地館公園	宮城野区宮千代三丁目
	35	鶴ヶ谷一丁目東公園	宮城野区鶴ヶ谷一丁目
	36	鶴ヶ谷一丁目西公園	宮城野区鶴ヶ谷一丁目
	37	鶴ヶ谷二丁目公園	宮城野区鶴ヶ谷二丁目
	38	鶴ヶ谷三丁目公園	宮城野区鶴ヶ谷三丁目
	39	鶴ヶ谷四丁目西公園	宮城野区鶴ヶ谷四丁目
	40	鶴ヶ谷五丁目公園	宮城野区鶴ヶ谷五丁目
	41	鶴ヶ谷六丁目公園	宮城野区鶴ヶ谷六丁目
	42	鶴ヶ谷七丁目北公園	宮城野区鶴ヶ谷七丁目
	43	鶴ヶ谷七丁目南公園	宮城野区鶴ヶ谷七丁目
	44	鶴ヶ谷八丁目公園	宮城野区鶴ヶ谷八丁目
	45	おおとや公園	太白区芦の口,大堀
	46	八木山本町一丁目公園	太白区八木山本町一丁目
	47	中山公園	青葉区中山七丁目
	48	中山不動公園	青葉区中山六丁目
	49	勝山東公園	青葉区東勝山三丁目・二丁目
	50	勝山西公園	青葉区東勝山三丁目・二丁目
	51	勝山南公園	青葉区東勝山二丁目
	52	二ッ沢公園	太白区緑ヶ丘三丁目
	53	若葉公園	宮城野区安養寺一丁目
	54	松木公園	若林区大和町五丁目
	55	牛踏公園	若林区大和町四丁目
	56	柳公園	若林区大和町三丁目
	57	尼坪公園	若林区大和町三丁目
	58	小鶴公園	宮城野区館町一丁目
	59	新田公園	宮城野区館町二丁目
	60	川北公園	宮城野区高瀬町
	61	松風公園	太白区八木山本町二丁目
	62	松山公園	太白区八木山東二丁目
	63	桜ヶ丘東公園	青葉区桜ヶ丘三丁目
	64	川平西公園	青葉区西勝山
	65	安養寺上公園	宮城野区安養寺一丁目
	66	月急山公園	青葉区中山三丁目
	67	桜ヶ丘二丁目公園	青葉区桜ヶ丘二丁目
	68	桜ヶ丘七丁目公園	青葉区桜ヶ丘七丁目
	69	北五番丁公園	青葉区柏木二丁目
	70	若林公園	若林区若林四丁目
	71	沢北公園	宮城野区燕沢三丁目
	72	桜ヶ丘三丁目公園	青葉区桜ヶ丘三丁目

出典：自然公園法（自然公園）

自然環境保全法・宮城県自然環境保全条例（県自然環境保全地域・県緑地環境保全地域）

都市計画法（風致地区・都市公園）

広瀬川の清流を守る条例（環境保全区域）

仙台市公園・緑地等配置図（平成 21 年 4 月 1 日 仙台市）

表 6.1-92 自然との触れ合いの場 (3/17)

区分	番号	名称	所在地
都市計画公園	73	桜ヶ丘四丁目公園	青葉区桜ヶ丘四丁目
	74	山崎西公園	宮城野区岩切字山崎西
	75	宮千代西公園	宮城野区宮千代一丁目
	76	向山三丁目公園	太白区向山三丁目
	77	すぎとや東公園	青葉区中山九丁目
	78	川平公園	青葉区水の森三丁目
	79	八木山南公園	太白区八木山南三丁目
	80	八木山南一丁目西公園	太白区八木山南一丁目
	81	八木山南一丁目東公園	太白区八木山南一丁目
	82	菊田山公園	青葉区荒巻字菊田
	83	連坊小路公園	若林区連坊小路
	84	鶴ヶ谷東公園	宮城野区鶴ヶ谷字佐野原
	85	小松島公園	青葉区小松島四丁目
	86	上杉公園	青葉区上杉四丁目
	87	貝ヶ森 3 号公園	青葉区荒巻字貝ヶ森・中山
	88	新寺小路 1 号公園	若林区新寺二丁目
	89	新寺小路 3 号公園	若林区新寺五丁目
	90	新寺小路 4 号公園	若林区新寺三丁目
	91	新寺小路 5 号公園	若林区新寺四丁目
	92	新寺小路 6 号公園	若林区連坊二丁目
	93	鹿野三丁目公園	太白区鹿野三丁目
	94	泉崎二丁目公園	太白区泉崎二丁目
	95	富沢二丁目公園	太白区富沢二丁目
	96	泉崎一丁目公園	太白区泉崎一丁目
	97	富沢三丁目公園	太白区富沢三丁目
	98	長町南四丁目北公園	太白区長町南四丁目
	99	長町南三丁目北公園	太白区長町南三丁目
	100	長町南三丁目南公園	太白区長町南三丁目
	101	長町南四丁目南公園	太白区長町南四丁目
	102	川平四丁目公園	青葉区川平四丁目
	103	鶴ヶ谷南公園	宮城野区鶴ヶ谷字東菖蒲沢
	104	東照宮二丁目公園	青葉区東照宮二丁目
	105	鶴ヶ谷菖蒲沢公園	宮城野区鶴ヶ谷字菖蒲沢
	106	片平公園	青葉区米ヶ袋一丁目
	107	駅東 1 号公園	宮城野区榴岡三丁目
	108	駅東 3 号公園	宮城野区榴岡四丁目
	109	駅東 4 号公園	宮城野区榴岡四丁目
	110	駅東 5 号公園	宮城野区榴岡五丁目
	111	駅東 6 号公園	宮城野区宮城野一丁目
	112	蒲町公園	若林区蒲町字土手下上
	113	長町二丁目公園	太白区長町二丁目
	114	新田東 1 号公園	宮城野区小鶴字羽山
	115	新田東 2 号公園	宮城野区小鶴字羽山・羽黒田
	116	新田東 3 号公園	宮城野区原町苦竹字館前
	117	あすと長町 1 号公園	太白区郡山二丁目
	118	荒井 1 号公園	若林区伊在字西田
	119	仙台駅東 6 号公園	宮城野区鉄砲町
	120	富沢駅東 1 号公園	太白区大野田字六反田

出典：自然公園法（自然公園）

自然環境保全法・宮城県自然環境保全条例（県自然環境保全地域・県緑地環境保全地域）

都市計画法（風致地区・都市公園）

広瀬川の清流を守る条例（環境保全区域）

仙台市公園・緑地等配置図（平成 21 年 4 月 1 日 仙台市）



表 6.1-93 自然との触れ合いの場 (4/17)

区分	番号	名称	所在地
都市計画公園	121	南光台一丁目公園	泉区南光台一丁目
	122	南光台南一丁目公園	泉区南光台南一丁目
	123	南光台南三丁目南公園	泉区南光台南三丁目
	124	南光台東一丁目南公園	泉区南光台東一丁目
	125	南光台東一丁目北公園	泉区南光台東一丁目
	126	南光台東二丁目南公園	泉区南光台東二丁目
	127	南光台七丁目公園	泉区南光台七丁目
	128	卸町公園	若林区卸町三丁目
	129	日の出町公園	宮城野区日の出町三丁目
	130	鶴ヶ谷四丁目東公園	宮城野区鶴ヶ谷四丁目
	131	南小泉公園	若林区古城三丁目
	132	富沢公園	太白区富沢一丁目
	133	勾当台公園	青葉区本町三丁目
	134	錦町公園	青葉区本町二丁目
	135	川平北公園	青葉区川平四丁目
	136	八本松公園	太白区八本松二丁目
	137	天沼公園	太白区三神峯二丁目
	138	貝ヶ森公園	青葉区貝ヶ森一丁目
	139	中山中央公園	青葉区中山二丁目
	140	燕沢中央公園	宮城野区燕沢東三丁目
	141	荒井中央公園	若林区蒲町字東
	142	新田東中央公園	宮城野区小鶴字羽黒・原町苦竹字館前
	143	あすと長町中央公園	太白区郡山二丁目・長町六丁目
	144	南光台三丁目公園	泉区南光台三丁目
	145	鶴ヶ谷中央公園	宮城野区鶴ヶ谷六丁目
	146	桜ヶ丘公園	青葉区桜ヶ丘六丁目・七丁目・八丁目
	147	真美沢公園	泉区東黒松, 七北田字真美沢・堤, 旭ヶ丘堤二丁目, 黒松三丁目
	148	西公園	青葉区桜ヶ岡公園
	149	榴岡公園	宮城野区五輪一丁目, 榴ヶ岡, 宮城野一丁目
	150	青葉山公園	青葉区川内
	151	宮城野原運動公園	宮城野区宮城野二丁目
	152	三神峰公園	太白区三神峰一丁目
	153	台原森林公園	青葉区台原森林公園
	154	大堤公園	宮城野区安養寺二丁目
	155	大年寺山公園	太白区長町字茂ヶ崎
	156	与兵衛沼公園	青葉区小松島新堤, 宮城野区蟹沢
	157	水の森公園	青葉区水の森四丁目, 七北田字赤坂
	158	新伝馬丁公園	青葉区中央二丁目
	159	元鍛冶町公園	青葉区国分町二丁目
	160	北六番丁公園	青葉区木町通二丁目
	161	八木山公園	太白区八木山本町一丁目
	162	三居沢公園	青葉区荒巻字三居沢
	163	とちのき公園	青葉区東照宮一丁目
	164	原町二丁目公園	宮城野区原町二丁目
	165	中島丁公園	青葉区八幡三丁目

出典：自然公園法（自然公園）

自然環境保全法・宮城県自然環境保全条例（県自然環境保全地域・県緑地環境保全地域）

都市計画法（風致地区・都市公園）

広瀬川の清流を守る条例（環境保全区域）

仙台市公園・緑地等配置図（平成 21 年 4 月 1 日 仙台市）

表 6.1-94 自然との触れ合いの場 (5/17)

区分	番号	名称	所在地
都市公園	1	勝山公園	青葉区上杉二丁目 338-1 外
	2	通町公園	青葉区青葉町 183-2 外
	3	肴町公園	青葉区国分町一丁目 2-2
	4	中江公園	青葉区中江一丁目 17
	5	台原公園	青葉区台原一丁目 6
	6	北三番丁公園	青葉区木町通一丁目 343
	7	鈴虫荘公園	青葉区国見三丁目 218-2 外
	8	良覚院丁公園	青葉区片平一丁目 118
	9	北勾当台公園	青葉区二日町 12-14
	10	荒巻公園	青葉区荒巻神明町 249-97 外
	11	柳町公園	青葉区一番町一丁目 14-11
	12	跡付丁公園	青葉区春日町 7-11
	13	亀ヶ岡公園	青葉区北山三丁目 101
	14	山手町公園	青葉区山手町 301-103
	15	中江北公園	青葉区中江一丁目 3
	16	釜場公園	青葉区台原四丁目 122-1
	17	中江西公園	青葉区中江一丁目 1-176 外
	18	外記丁通公園	青葉区上杉一丁目 14-9
	19	高松通公園	青葉区福沢町 306-3
	20	五橋公園	青葉区五橋一丁目 1-7
	21	荒巻神明公園	青葉区荒巻神明町 243-13
	22	小松島公園	青葉区小松島四丁目 53-1
	23	中江南公園	青葉区中江二丁目 9-18
	24	中山公園	青葉区中山七丁目 16-324
	25	中山不動公園	青葉区中山六丁目 16-325
	26	桜ヶ丘東公園	青葉区桜ヶ丘三丁目 13-2067
	27	月急山公園	青葉区中山三丁目 10-120
	28	北五番丁公園	青葉区柏木二丁目 393-10
	29	勝山南公園	青葉区東勝山二丁目 5-168
	30	西勝山公園	青葉区西勝山 10-681
	31	水の森三丁目公園	青葉区水の森三丁目 62-958
	32	桜ヶ丘二丁目公園	青葉区桜ヶ丘二丁目 62-508
	33	桜ヶ丘一丁目公園	青葉区桜ヶ丘一丁目 62-1017
	34	桜ヶ丘五丁目公園	青葉区桜ヶ丘五丁目 13-2087
	35	古海道東上公園	青葉区荒巻中央 57-19
	36	古海道東下公園	青葉区荒巻中央 7-5
	37	台原二丁目公園	青葉区台原二丁目 133-41
	38	桜ヶ丘三丁目公園	青葉区桜ヶ丘三丁目 13-2002
	39	千代田町 1 号公園	青葉区千代田町 316-7
	40	中山西公園	青葉区中山四丁目 37-7
	41	桜ヶ丘四丁目公園	青葉区桜ヶ丘四丁目 13-1995
	42	古海道東中公園	青葉区あけぼの町 407-14
	43	中山二丁目公園	青葉区中山二丁目 101-3
	44	小松島四丁目公園	青葉区小松島四丁目 28-18
	45	小松島新堤公園	青葉区小松島新堤 8-37
	46	桜ヶ丘七丁目公園	青葉区桜ヶ丘七丁目 71-353
	47	二の坂 1 号公園	青葉区貝ヶ森二丁目 8-37
	48	千代田町 2 号公園	青葉区千代田町 23-28
	49	小松島四丁目 2 号公園	青葉区小松島四丁目 214-19
	50	荒巻雷神公園	青葉区国見六丁目 702-44
	51	川内亀岡公園	青葉区川内亀岡北裏丁 10 外
	52	西雷神公園	青葉区国見六丁目 208-15
	53	桜ヶ丘六丁目公園	青葉区桜ヶ丘六丁目 13-1200
	54	台原五丁目公園	青葉区台原五丁目 413-5
	55	川内三十人町公園	青葉区川内三十人町 5-80 外

出典：自然公園法（自然公園）

自然環境保全法・宮城県自然環境保全条例（県自然環境保全地域・県緑地環境保全地域）

都市計画法（風致地区・都市公園）

広瀬川の清流を守る条例（環境保全区域）

仙台市公園・緑地等配置図（平成 21 年 4 月 1 日 仙台市）

表 6.1-95 自然との触れ合いの場 (6/17)

区分	番号	名称	所在地
都市公園	56	旅籠町公園	青葉区小田原六丁目 26-2
	57	すぎとや東公園	青葉区中山九丁目 4-4
	58	菊田山公園	青葉区菊田町 1-56
	59	荒巻中央 1 号公園	青葉区荒巻中央 71-27
	60	双葉ヶ丘一丁目公園	青葉区双葉ヶ丘一丁目 52-225
	61	国見五丁目公園	青葉区国見五丁目 121-6
	62	貝ヶ森 1 号公園	青葉区貝ヶ森五丁目 35-130
	63	菊田公園	青葉区千代田町 3-1
	64	桜ヶ丘六丁目南公園	青葉区桜ヶ丘六丁目 13-2172
	65	荒巻本沢一丁目公園	青葉区荒巻本沢一丁目 108-19
	66	台原三丁目公園	青葉区台原三丁目 106-19
	67	貝ヶ森中央公園	青葉区貝ヶ森一丁目 4-312
	68	双葉ヶ丘二丁目公園	青葉区双葉ヶ丘二丁目 22-107 外
	69	貝ヶ森 3 号公園	青葉区貝ヶ森三丁目 18-310
	70	鷺ヶ森二丁目公園	青葉区鷺ヶ森二丁目 15-8
	71	国見四丁目公園	青葉区国見四丁目 220-13
	72	台原二丁目 2 号公園	青葉区台原二丁目 17-27
	73	上杉公園	青葉区上杉四丁目 239-3 外
	74	越路公園	青葉区荒巻字青葉 19-1364
	75	荒巻本沢一丁目南公園	青葉区荒巻本沢一丁目 108-41 外
	76	中山山の神公園	青葉区中山二丁目 102-68
	77	菊田山第二公園	青葉区千代田町 314-7 外
	78	山手町 2 号公園	青葉区山手町 405-15 外
	79	国見五丁目 2 号公園	青葉区国見五丁目 111-6
	80	鷺ヶ森二丁目 2 号公園	青葉区鷺ヶ森二丁目 8-183
	81	貝ヶ森 4 号公園	青葉区貝ヶ森四丁目 7-112
	82	貝ヶ森 5 号公園	青葉区貝ヶ森四丁目 23-42
	83	北山三丁目公園	青葉区北山三丁目 310-4
	84	北根黒松南公園	青葉区北根黒松 1-37
	85	北根黒松北公園	青葉区北根黒松 1-199
	86	東照宮一丁目公園	青葉区東照宮一丁目 291-168
	87	国見東山公園	青葉区荒巻字国見東山 16-102
	88	鷺ヶ森一丁目公園	青葉区鷺ヶ森一丁目 3-32
	89	荒巻本沢三丁目公園	青葉区荒巻本沢三丁目 59-2 外
	90	旭ヶ丘一丁目公園	青葉区旭ヶ丘一丁目 702-20
	91	旭ヶ丘二丁目公園	青葉区旭ヶ丘二丁目 28-542
	92	川平四丁目公園	青葉区川平四丁目 31-8
	93	北根一丁目公園	青葉区北根一丁目 4-5
	94	葉山町公園	青葉区葉山町 20-5
	95	山手町 3 号公園	青葉区山手町 104-8
	96	片平公園	青葉区米ヶ袋一丁目 140-6
	97	山手町 4 号公園	青葉区山手町 266-12
	98	桜ヶ丘七丁目北公園	青葉区桜ヶ丘七丁目 73-29
	99	山手町 5 号公園	青葉区山手町 30-18
	100	大手町公園	青葉区大手町 307
	101	錦町一丁目公園	青葉区錦町一丁目 213
	102	国分町三丁目北公園	青葉区国分町三丁目 11-12
	103	上杉一丁目公園	青葉区上杉一丁目 9-3
	104	上杉五丁目公園	青葉区上杉五丁目 28-6
	105	一木松公園	青葉区旭ヶ丘二丁目 20-404
	106	小田原七丁目公園	青葉区小田原七丁目 202-1
	107	とちのき公園	青葉区東照宮一丁目 291-7
	108	千代田町 3 号公園	青葉区千代田町 28-4 外
	109	八幡六丁目南公園	青葉区八幡六丁目 25-4
	110	国見六丁目北公園	青葉区国見六丁目 1001-6

出典：自然公園法（自然公園）

自然環境保全法・宮城県自然環境保全条例（県自然環境保全地域・県緑地環境保全地域）

都市計画法（風致地区・都市公園）

広瀬川の清流を守る条例（環境保全区域）

仙台市公園・緑地等配置図（平成 21 年 4 月 1 日 仙台市）



表 6.1-96 自然との触れ合いの場 (7/17)

区分	番号	名称	所在地
都市公園	111	水の森一丁目公園	青葉区水の森一丁目 1-642
	112	東勝山二丁目公園	青葉区東勝山二丁目 5-467 外
	113	国見四丁目 2 号公園	青葉区国見四丁目 109-17
	114	台原三丁目北公園	青葉区台原三丁目 401-7
	115	鷺ヶ森一丁目東公園	青葉区鷺ヶ森一丁目 5-405
	116	勝山東公園	青葉区東勝山三丁目 1-298
	117	双葉ヶ丘一丁目北公園	青葉区双葉ヶ丘一丁目 52-290
	118	双葉ヶ丘一丁目南公園	青葉区双葉ヶ丘一丁目 52-364
	119	台原六丁目公園	青葉区台原六丁目 37-2 外
	120	柏木三丁目公園	青葉区柏木三丁目 148-5
	121	国見六丁目南公園	青葉区国見六丁目 141-17
	122	旭ヶ丘駅前公園	青葉区旭ヶ丘三丁目 1-482 外
	123	中山一丁目公園	青葉区中山一丁目 14-59
	124	高松一丁目公園	青葉区高松一丁目 103-10 外
	125	北根一丁目公園	青葉区北根一丁目 2-5 外
	126	双葉ヶ丘一丁目中公園	青葉区双葉ヶ丘一丁目 52-420
	127	荒巻本沢一丁目東公園	青葉区荒巻本沢一丁目 118-3
	128	中山四丁目公園	青葉区中山四丁目 27-138
	129	柏木三丁目南公園	青葉区柏木三丁目 149-6
	130	双葉ヶ丘西公園	青葉区双葉ヶ丘二丁目 22-235
	131	たきみち公園	青葉区滝道 61-147 外
	132	国見三丁目公園	青葉区国見三丁目 525-1 外
	133	国見六丁目公園	青葉区国見六丁目 4-50 外
	134	北五番丁東公園	青葉区上杉五丁目 361-3
	135	台原五丁目南公園	青葉区台原五丁目 243-61
	136	台原四丁目北公園	青葉区台原森林公園 703-11
	137	台原六丁目南公園	青葉区台原六丁目 225
	138	小田原八丁目公園	青葉区小田原八丁目 144
	139	国見六丁目東公園	青葉区国見六丁目 819-7 外
	140	国見六丁目蔵谷公園	青葉区国見六丁目 819-8
	141	牛越さんかく公園	青葉区川内三十人町 49-233 外
	142	桜ヶ丘二丁目公園	青葉区桜ヶ丘二丁目 13-2204
	143	宮町五丁目公園	青葉区宮町五丁目 11-4
	144	中島丁公園	青葉区八幡三丁目 21-4 外
	145	坊主門公園	青葉区荒巻字坊主門 13-23
	146	春日団地公園	青葉区桜ヶ丘一丁目 13-2173
	147	上杉杜の公園	青葉区上杉五丁目 209-3
	148	鷺ヶ森見晴らしの丘公園	青葉区鷺ヶ森一丁目 9-80
	149	勾当台公園	青葉区本町三丁目 9-2 外
	150	錦町公園	青葉区本町二丁目 21-1
	151	川平北公園	青葉区川平四丁目 9
	152	中山とびのこ公園	青葉区中山二丁目 4-448 外
	153	うどう沼公園	青葉区中山三丁目 1-2 外
	154	評定河原公園	青葉区花壇 70-6 の一部
	155	桜ヶ丘公園	青葉区桜ヶ丘八丁目 2-1
	156	広瀬川瀬緑地	青葉区角五郎一丁目地先
	157	広瀬川川内緑地	青葉区川内地先
	158	広瀬川牛越緑地	青葉区荒巻字三居沢地先
	159	広瀬川八幡緑地	青葉区八幡五丁目地先
	160	西公園	青葉区桜ヶ岡公園 1-3 外
	161	青葉山公園	青葉区川内 1-2 外
	162	新伝馬公園	青葉区中央二丁目 7-3
	163	三居沢公園	青葉区荒巻字三居沢 15-3
	164	元鍛冶丁公園	青葉区国分町二丁目 9-13
	165	荒巻本沢二丁目公園	青葉区荒巻本沢二丁目 804-3

出典：自然公園法（自然公園）

自然環境保全法・宮城県自然環境保全条例（県自然環境保全地域・県緑地環境保全地域）

都市計画法（風致地区・都市公園）

広瀬川の清流を守る条例（環境保全区域）

仙台市公園・緑地等配置図（平成 21 年 4 月 1 日 仙台市）

表 6.1-97 自然との触れ合いの場（8/17）

区分	番号	名称	所在地
都市公園	166	北六番丁公園	青葉区木町通二丁目 194-1
	167	台原緑地	青葉区台原一丁目 114-40 外
	168	台原森林公園	青葉区台原森林公園 302 外
	169	経ヶ峯公園	青葉区霊屋下 135 外
	170	本沢北公園	青葉区荒巻本沢三丁目 61-284
	171	双葉ヶ丘一丁目 2 号公園	青葉区双葉ヶ丘一丁目 52-303
	172	桜ヶ丘七丁目緑地	青葉区桜ヶ丘七丁目 71-931 外
	173	中山二丁目緑地	青葉区中山二丁目 4-446
	174	貝ヶ森 1 号緑地	青葉区貝ヶ森五丁目 33-5
	175	貝ヶ森 3 号緑地	青葉区貝ヶ森六丁目 22-15
	176	土樋緑地	青葉区土樋一丁目 198-5 外
	177	貝ヶ森 4 号緑地	青葉区貝ヶ森四丁目 33-206
	178	北根黒松緑地	青葉区北根四丁目 22-117 外
	179	双葉ヶ丘二丁目緑地	青葉区双葉ヶ丘二丁目 22-182 外
	180	北根四丁目緑地	青葉区北根四丁目 22-117 外
	181	国見二丁目緑地	青葉区国見一丁目 222-11
	182	赤坂 4 号公園	青葉区赤坂三丁目 9-7
	183	国見ヶ丘一丁目北公園	青葉区国見ヶ丘一丁目 55
	184	国見ヶ丘一丁目南公園	青葉区国見ヶ丘一丁目 79
	185	国見ヶ丘二丁目南公園	青葉区国見ヶ丘二丁目 69
	186	国見ヶ丘三丁目公園	青葉区国見ヶ丘三丁目 40
	187	国見ヶ丘四丁目公園	青葉区国見ヶ丘四丁目 36
	188	国見ヶ丘五丁目東公園	青葉区国見ヶ丘五丁目 150-289
	189	国見ヶ丘 2 号緑地	青葉区国見ヶ丘二丁目 74-3
	190	国見ヶ丘五丁目 1 号緑地	青葉区国見ヶ丘五丁目 150-121
	191	国見ヶ丘五丁目 2 号緑地	青葉区国見ヶ丘五丁目 150-359
	192	国見ヶ丘五丁目 4 号緑地	青葉区国見ヶ丘五丁目 150-428
	193	南吉成 5 号緑地	青葉区南吉成一丁目 41 外
	194	中山台 2 号緑地	青葉区中山台四丁目 17 外
	195	燕沢公園	宮城野区燕沢一丁目 64-28 外
	196	案内公園	宮城野区東仙台五丁目 7-30 外
	197	西田公園	宮城野区新田三丁目 1261-1 外
	198	南宮城野公園	宮城野区宮千代一丁目 36-1
	199	宮千代公園	宮城野区宮千代一丁目 9-1
	200	清水沼公園	宮城野区清水沼一丁目 17-1
	201	志波北公園	宮城野区萩野町二丁目 7-1
	202	清水田公園	宮城野区萩野町三丁目 6-1
	203	谷地館公園	宮城野区宮千代三丁目 3
	204	山崎東公園	宮城野区岩切一丁目 61-2 外
	205	屋舗公園	宮城野区新田三丁目 49-2 外
	206	鶴ヶ谷七丁目南公園	宮城野区鶴ヶ谷七丁目 8
	207	鶴ヶ谷八丁目公園	宮城野区鶴ヶ谷八丁目 6
	208	萩野町公園	宮城野区萩野町三丁目 10
	209	若葉公園	宮城野区安養寺一丁目 42-33
	210	鶴ヶ谷一丁目東公園	宮城野区鶴ヶ谷一丁目 10
	211	鶴ヶ谷一丁目西公園	宮城野区鶴ヶ谷一丁目 34
	212	鶴ヶ谷二丁目公園	宮城野区鶴ヶ谷二丁目 3
	213	鶴ヶ谷三丁目公園	宮城野区鶴ヶ谷三丁目 10
	214	鶴ヶ谷四丁目西公園	宮城野区鶴ヶ谷四丁目 12
	215	鶴ヶ谷五丁目公園	宮城野区鶴ヶ谷五丁目 16
	216	鶴ヶ谷六丁目公園	宮城野区鶴ヶ谷六丁目 10
	217	鶴ヶ谷七丁目北公園	宮城野区鶴ヶ谷七丁目 29
	218	安養寺下東公園	宮城野区東仙台七丁目 7-133
	219	新田公園	宮城野区館町二丁目 12
	220	安養寺下西公園	宮城野区東仙台七丁目 7-183

出典：自然公園法（自然公園）

自然環境保全法・宮城県自然環境保全条例（県自然環境保全地域・県緑地環境保全地域）

都市計画法（風致地区・都市公園）

広瀬川の清流を守る条例（環境保全区域）

仙台市公園・緑地等配置図（平成 21 年 4 月 1 日 仙台市）

表 6.1-98 自然との触れ合いの場 (9/17)

区分	番号	名称	所在地
都市公園	221	小鶴公園	宮城野区館町一丁目 25
	222	川北公園	宮城野区新田五丁目 9
	223	沢北公園	宮城野区燕沢三丁目 56-32
	224	菖蒲沢東公園	宮城野区岩切二丁目 3-41
	225	佐野原公園	宮城野区鶴ヶ谷東四丁目 6-46
	226	幸町公園	宮城野区幸町二丁目 215-7
	227	山崎西公園	宮城野区鶴ヶ谷東二丁目 183-13 外
	228	吉ヶ沢東公園	宮城野区燕沢東二丁目 62-31
	229	安養寺一丁目公園	宮城野区安養寺一丁目 5-286
	230	幸町 2 号公園	宮城野区幸町二丁目 424-8
	231	安養寺一丁目 2 号公園	宮城野区安養寺一丁目 58-16
	232	清水沼二丁目公園	宮城野区清水沼二丁目 210-11
	233	海道下公園	宮城野区東仙台三丁目 120-6 外
	234	原町六丁目公園	宮城野区原町六丁目 70-20
	235	宮千代西公園	宮城野区宮千代一丁目 22-5
	236	鶴ヶ谷東公園	宮城野区岩切三丁目 280
	237	安養寺二丁目公園	宮城野区安養寺二丁目 11-316
	238	燕沢東三丁目公園	宮城野区燕沢東三丁目 345-5 外
	239	鶴ヶ谷南公園	宮城野区鶴ヶ谷東二丁目 25
	240	鶴ヶ谷六丁目東公園	宮城野区鶴ヶ谷六丁目 25-11
	241	鶴ヶ谷菖蒲沢公園	宮城野区鶴ヶ谷東三丁目 32-4
	242	大久保山公園	宮城野区鶴ヶ谷北二丁目 31-2
	243	中野 2 号公園	宮城野区中野字牛小舎 23-74 外
	244	幸町 3 号公園	宮城野区幸町二丁目 2-30
	245	燕沢三丁目公園	宮城野区燕沢三丁目 66-75
	246	鶴ヶ谷菖蒲沢 2 号公園	宮城野区鶴ヶ谷東四丁目 315-17
	247	燕沢三丁目 2 号公園	宮城野区燕沢三丁目 56-88
	248	山崎西 2 号公園	宮城野区岩切二丁目 36-9 外
	249	安養寺一丁目 3 号公園	宮城野区安養寺一丁目 34-22
	250	幸町 4 号公園	宮城野区幸町二丁目 326-4
	251	原町四丁目公園	宮城野区原町四丁目 146-9
	252	幸町 5 号公園	宮城野区幸町一丁目 101-11
	253	東仙台六丁目公園	宮城野区東仙台六丁目 158-27
	254	榴岡五丁目公園	宮城野区榴岡五丁目 4-1
	255	幸町一丁目公園	宮城野区幸町一丁目 204-4
	256	小田原三丁目西公園	宮城野区小田原三丁目 214-1
	257	東仙台三丁目公園	宮城野区東仙台三丁目 232-5
	258	平成一丁目南公園	宮城野区平成一丁目 243-8
	259	榴岡四丁目西公園	宮城野区榴岡四丁目 9-1
	260	小鶴一丁目北公園	宮城野区小鶴一丁目 203-15 外
	261	榴岡四丁目公園	宮城野区榴岡四丁目 14
	262	燕沢東二丁目公園	宮城野区燕沢東二丁目 66-3
	263	榴岡三丁目公園	宮城野区榴岡三丁目 3
	264	宮城野一丁目公園	宮城野区宮城野一丁目 13
	265	平成一丁目公園	宮城野区平成一丁目 581-89
	266	鶴ヶ谷館下公園	宮城野区鶴ヶ谷字館下 34-11
	267	安養寺一丁目南公園	宮城野区安養寺一丁目 78-19
	268	安養寺三丁目公園	宮城野区安養寺三丁目 20-32
	269	安養寺上町公園	宮城野区安養寺一丁目 18-44
	270	鶴ヶ谷東四丁目公園	宮城野区鶴ヶ谷東四丁目 307
	271	幸町三丁目公園	宮城野区幸町三丁目 505-24
	272	鶴ヶ谷東三丁目公園	宮城野区鶴ヶ谷東三丁目 405-24
	273	鶴ヶ谷東二丁目公園	宮城野区鶴ヶ谷東二丁目 59
	274	燕沢東きただ公園	宮城野区燕沢東一丁目 475
	275	原町カッコウ公園	宮城野区原町二丁目 37-2 外

出典：自然公園法（自然公園）

自然環境保全法・宮城県自然環境保全条例（県自然環境保全地域・県緑地環境保全地域）

都市計画法（風致地区・都市公園）

広瀬川の清流を守る条例（環境保全区域）

仙台市公園・緑地等配置図（平成 21 年 4 月 1 日 仙台市）



表 6.1-99 自然との触れ合いの場 (10/17)

区分	番号	名称	所在地
都市公園	276	鶴ヶ谷東二丁目東公園	宮城野区鶴ヶ谷東二丁目 4-110
	277	清水沼三丁目公園	宮城野区清水沼三丁目 223-9
	278	燕沢東一丁目公園	宮城野区燕沢一丁目 391
	279	鶴ヶ谷東一丁目公園	宮城野区鶴ヶ谷東一丁目 13-30
	280	平成二丁目東公園	宮城野区平成二丁目 17-3
	281	安養寺二丁目東公園	宮城野区安養寺二丁目 75-29
	282	二の森公園	宮城野区二の森 28-1
	283	苗代沢公園	宮城野区燕沢一丁目 107-9
	284	新田東五丁目北公園	宮城野区新田東五丁目 5-18
	285	新田東五丁目南公園	宮城野区新田東五丁目 12-13
	286	新田東二丁目公園	宮城野区新田東二丁目 2-16
	287	五輪一丁目公園	宮城野区宮城野二丁目 20-8
	288	日の出町公園	宮城野区日の出町三丁目 6
	289	鶴ヶ谷四丁目東公園	宮城野区鶴ヶ谷四丁目 22
	290	燕沢中央公園	宮城野区燕沢東三丁目 301-1 外
	291	新田東中央公園	宮城野区新田東一丁目 11-1
	292	鶴ヶ谷中央公園	宮城野区鶴ヶ谷六丁目 1-2 外
	293	榴岡公園	宮城野区五輪一丁目 301-3 外
	294	大堤公園	宮城野区安養寺二丁目地内
	295	与兵衛沼公園	宮城野区蟹沢 20-1 外
	296	大久保山緑地	宮城野区鶴ヶ谷北一丁目 7-76 外
	297	燕沢二丁目緑地	宮城野区燕沢二丁目 16
	298	木ノ下公園	若林区木ノ下二丁目 69
	299	白萩公園	若林区白萩町 62
	300	荒町公園	若林区荒町 36-6 外
	301	広瀬公園	若林区河原町一丁目 7
	302	柴田町公園	若林区表柴田町 12-1
	303	尼坪公園	若林区大和町三丁目 18-1
	304	南鍛冶町公園	若林区南鍛冶町 97-4
	305	牛踏公園	若林区大和町四丁目 506-1
	306	柳公園	若林区大和町三丁目 6
	307	松木公園	若林区大和町五丁目 804-2
	308	山木公園	若林区上飯田三丁目 64-3
	309	土手畑 1 号公園	若林区上飯田二丁目 133-7
	310	上飯田大町 1 号公園	若林区上飯田四丁目 144-5
	311	伊藤屋敷下公園	若林区かすみ町 425-20
	312	門田東公園	若林区かすみ町 21-13
	313	御休場南公園	若林区若林六丁目 36-9
	314	三寿美田公園	若林区中倉三丁目 109-8
	315	大和町一丁目北公園	若林区大和町一丁目 240-6
	316	大和町一丁目南公園	若林区大和町一丁目 205-32
	317	館南 1 号公園	若林区沖野六丁目 326-11
	318	館西 1 号公園	若林区沖野二丁目 53-2
	319	河原下 1 号公園	若林区沖野六丁目 50-3
	320	河原下 2 号公園	若林区沖野六丁目 125-2
	321	中柵東 1 号公園	若林区沖野七丁目 147-2
	322	土手下中公園	若林区蒲町 512-22 外
	323	一本杉町公園	若林区一本杉町 317-21
	324	若林五丁目公園	若林区若林五丁目 32-16
	325	館南 2 号公園	若林区沖野六丁目 306-5
	326	河原下 3 号公園	若林区沖野六丁目 131-17
	327	中柵東 2 号公園	若林区沖野七丁目 101-16
	328	館西 2 号公園	若林区沖野二丁目 82-10
	329	七曲公園	若林区かすみ町 91-8 外
	330	中柵東 3 号公園	若林区沖野三丁目 152-10

出典：自然公園法（自然公園）

自然環境保全法・宮城県自然環境保全条例（県自然環境保全地域・県緑地環境保全地域）

都市計画法（風致地区・都市公園）

広瀬川の清流を守る条例（環境保全区域）

仙台市公園・緑地等配置図（平成 21 年 4 月 1 日 仙台市）

表 6.1-100 自然との触れ合いの場 (11/17)

区分	番号	名称	所在地
都市公園	331	館西 3 号公園	若林区沖野二丁目 48-14
	332	若林公園	若林区若林四丁目 43-74
	333	河原下 4 号公園	若林区沖野六丁目 96-6
	334	河原下 5 号公園	若林区沖野六丁目 18-6
	335	大和町五丁目公園	若林区大和町五丁目 52-9
	336	館南 3 号公園	若林区沖野六丁目 283-40
	337	土手畑 2 号公園	若林区上飯田二丁目 145-29
	338	中棚東 4 号公園	若林区沖野七丁目 54-6 外
	339	河原下 6 号公園	若林区沖野六丁目 44-15
	340	中棚東 5 号公園	若林区沖野七丁目 134-2
	341	横堀前公園	若林区上飯田一丁目 23-4
	342	中棚東 6 号公園	若林区沖野三丁目 69-7
	343	上飯田大町 2 号公園	若林区上飯田四丁目 155-12
	344	館西 4 号公園	若林区沖野二丁目 25-4
	345	中棚東 7 号公園	若林区沖野三丁目 91-5
	346	上飯田遠西公園	若林区上飯田一丁目 108-6
	347	山木 2 号公園	若林区上飯田二丁目 73-36
	348	上飯田大町 3 号公園	若林区上飯田四丁目 88-29
	349	土手畑 3 号公園	若林区上飯田二丁目 138-11
	350	稲荷堂公園	若林区霞目二丁目 234-30
	351	上飯田大町 4 号公園	若林区上飯田四丁目 71-9
	352	二ノ坪公園	若林区沖野一丁目 10-26
	353	三ノ坪公園	若林区沖野一丁目 15-31
	354	館南 4 号公園	若林区沖野七丁目 241-48
	355	上飯田大町 5 号公園	若林区上飯田四丁目 76-7
	356	新神棚公園	若林区沖野二丁目 265-5
	357	遠見塚二丁目公園	若林区遠見塚二丁目 241-4
	358	山木 3 号公園	若林区上飯田三丁目 112-3
	359	上飯田大町 6 号公園	若林区上飯田四丁目 113-13
	360	若林一丁目公園	若林区若林一丁目 83-30
	361	館南 5 号公園	若林区沖野六丁目 376-25
	362	館西 5 号公園	若林区沖野二丁目 36-7
	363	上飯田遠西 2 号公園	若林区上飯田一丁目 76-2
	364	連坊あずま公園	若林区連坊二丁目 328-1
	365	南小泉三丁目公園	若林区南小泉三丁目 129-1 外
	366	横堀前 2 号公園	若林区上飯田一丁目 55-30
	367	大和町二丁目公園	若林区大和町二丁目 53-2
	368	山木 4 号公園	若林区上飯田三丁目 123-15 外
	369	河原下 7 号公園	若林区沖野六丁目 2-5
	370	河原下 8 号公園	若林区沖野六丁目 30-11
	371	土手畑 4 号公園	若林区上飯田二丁目 90-4
	372	白萩西公園	若林区白萩町 263
	373	霞ノ目背戸公園	若林区霞ノ目二丁目 15-1
	374	上飯田大町 7 号公園	若林区上飯田四丁目 63-6
	375	河原下 9 号公園	若林区沖野六丁目 10-30
	376	館南 6 号公園	若林区沖野六丁目 302-14
	377	飯田遠西公園	若林区上飯田一丁目 28-12
	378	新寺三丁目公園	若林区新寺三丁目 6-1
	379	蒲北公園	若林区蒲町 14-7 外
	380	横堀前 3 号公園	若林区上飯田一丁目 62-3 外
	381	館南 7 号公園	若林区沖野七丁目 275-11
	382	新寺二丁目蓮池公園	若林区新寺二丁目 4-1
	383	連坊二丁目公園	若林区連坊二丁目 6-8
	384	土手畑 5 号公園	若林区上飯田二丁目 125-6 外
	385	土手畑 6 号公園	若林区上飯田二丁目 82-19 外

出典：自然公園法（自然公園）

自然環境保全法・宮城県自然環境保全条例（県自然環境保全地域・県緑地環境保全地域）

都市計画法（風致地区・都市公園）

広瀬川の清流を守る条例（環境保全区域）

仙台市公園・緑地等配置図（平成 21 年 4 月 1 日 仙台市）

表 6.1-101 自然との触れ合いの場 (12/17)

区分	番号	名称	所在地
都市公園	386	新寺五丁目公園	若林区新寺五丁目 9-3
	387	蒲町六田公園	若林区蒲町 19-17
	388	蒲北 2 号公園	若林区蒲町 20-4 外
	389	大和町一丁目東公園	若林区大和町一丁目 114-30 外
	390	上飯田遠西 3 号公園	若林区上飯田一丁目 39-21
	391	七曲 2 号公園	若林区かすみ町 70-24 外
	392	館西 6 号公園	若林区沖野七丁目 578-6
	393	中棚東 8 号公園	若林区沖野三丁目 73-13
	394	文化町公園	若林区文化町 76-54
	395	二ノ坪 2 号公園	若林区沖野一丁目 11-31
	396	遠見塚一丁目公園	若林区遠見塚一丁目 234-9
	397	遠見塚一丁目 2 号公園	若林区遠見塚一丁目 20-7
	398	新寺四丁目公園	若林区新寺四丁目 2-2
	399	沖野一丁目公園	若林区沖野一丁目 415-24
	400	館南 8 号公園	若林区沖野六丁目 295-17
	401	遠見塚一丁目 3 号公園	若林区遠見塚一丁目 18-4
	402	遠見塚二丁目 2 号公園	若林区遠見塚二丁目 226-11
	403	沖野二丁目公園	若林区沖野二丁目 123-8
	404	遠見塚一丁目 4 号公園	若林区遠見塚一丁目 230-8
	405	遠見塚一丁目 5 号公園	若林区遠見塚一丁目 249-24
	406	文化町 2 号公園	若林区文化町 76-86
	407	若林五丁目 2 号公園	若林区若林五丁目 113-57
	408	中倉二丁目公園	若林区中倉二丁目 201-9
	409	遠見塚二丁目 3 号公園	若林区遠見塚二丁目 404-11
	410	土手畑 7 号公園	若林区上飯田二丁目 59
	411	館南 9 号公園	若林区沖野六丁目 281-13
	412	若林一丁目北公園	若林区若林一丁目 79-24
	413	河原下 10 号公園	若林区沖野六丁目 93-13
	414	横堀前 4 号公園	若林区上飯田一丁目 5-2 外
	415	蒲町公園	若林区蒲町 21-2 外
	416	文化町 3 号公園	若林区文化町 60-10
	417	若林五丁目 3 号公園	若林区若林五丁目 22-2
	418	大和町一丁目 4 号公園	若林区大和町一丁目 63-4
	419	大和町五丁目北公園	若林区大和町五丁目 40-4
	420	沖野一丁目東公園	若林区沖野一丁目 104-20
	421	沖野一丁目南公園	若林区沖野一丁目 106-23
	422	遠見塚一丁目東公園	若林区遠見塚一丁目 242-12
	423	遠見塚二丁目南公園	若林区遠見塚二丁目 267-12
	424	沖野二丁目東公園	若林区沖野二丁目 85-16
	425	古城一丁目公園	若林区古城一丁目 72-84
	426	遠見塚二丁目東公園	若林区遠見塚二丁目 307-24 外
	427	沖野一丁目北公園	若林区沖野一丁目 211-63
	428	上飯田一丁目公園	若林区上飯田一丁目 315-9 外
	429	遠見塚東公園	若林区遠見塚東 169-5 外
	430	上飯田二丁目南公園	若林区上飯田二丁目 216-15
	431	天神公園	若林区上飯田字天神 41-26
	432	沖野三丁目西公園	若林区沖野三丁目 308-13
	433	卸町公園	若林区卸町二丁目 13
	434	卸町五丁目公園	若林区卸町五丁目 4
	435	南小泉公園	若林区古城三丁目 209-7 外
	436	七郷中央公園	若林区蒲生字東 39-2 の一部外
	437	広瀬川宮沢緑地	若林区堰場地先
	438	広瀬川若林緑地	若林区若林地先
	439	広瀬川中河原緑地	若林区南小泉字中河原地先
	440	大和町五丁目緑地	若林区大和町五丁目 701-6

出典：自然公園法（自然公園）

自然環境保全法・宮城県自然環境保全条例（県自然環境保全地域・県緑地環境保全地域）

都市計画法（風致地区・都市公園）

広瀬川の清流を守る条例（環境保全区域）

仙台市公園・緑地等配置図（平成 21 年 4 月 1 日 仙台市）

表 6.1-102 自然との触れ合いの場 (13/17)

区分	番号	名称	所在地
都市公園	441	桜木緑地	若林区桜木通 61-13
	442	新寺小路緑道	若林区新寺二丁目 3-9 外
	443	ノ木公園	太白区郡山三丁目 51-1
	444	鹿野公園	太白区鹿野丁目 121-1 外
	445	大谷地公園	太白区大谷地 10-315
	446	飯田公園	太白区東郡山二丁目 59-52 外
	447	向山公園	太白区向山四丁目 86-1
	448	八木山本町一丁目公園	太白区八木山本町一丁目 18-1
	449	ニッ沢公園	太白区緑ヶ丘三丁目 10-158
	450	松山公園	太白区八木山東二丁目 60-1188
	451	松風公園	太白区八木山本町二丁目 38
	452	金剛沢公園	太白区金剛沢二丁目 27-7
	453	金剛沢羽黒台公園	太白区金剛沢三丁目 51-14
	454	鉤取新田町公園	太白区鉤取字新田町 37-9
	455	紙漣山公園	太白区鉤取三丁目 92-4
	456	名召公園	太白区西多賀四丁目 13-5
	457	大堀沢公園	太白区恵和町 51-15
	458	芦ノ口羽黒台公園	太白区芦ノ口 28-74
	459	芦ノ口公園	太白区芦ノ口 15-18
	460	袋東公園	太白区大野田字袋東 27-5 外
	461	袋前公園	太白区大野田字袋前 30-38
	462	鹿野本町公園	太白区鹿野本町 245-13
	463	緑ヶ丘三丁目公園	太白区緑ヶ丘三丁目 10-236
	464	青山二丁目公園	太白区青山二丁目 40-39
	465	土手内三丁目公園	太白区土手内三丁目 95-14
	466	萩ヶ丘公園	太白区萩ヶ丘 23-7
	467	砂押町公園	太白区砂押町 142-13
	468	金山公園	太白区西の平丁目 52-93
	469	八木山南公園	太白区八木山南三丁目 4-2
	470	後田公園	太白区鉤取二丁目 1-21
	471	西の平公園	太白区八木山東丁目 5-29
	472	長町南四丁目南公園	太白区長町南四丁目 21-1
	473	青山一丁目西公園	太白区青山一丁目 74-17
	474	おおとや公園	太白区大堀町 61-3 外
	475	八木山南一丁目東公園	太白区八木山南一丁目 6-13
	476	横森公園	太白区三神峯二丁目 43-2
	477	鉤取寺西公園	太白区鉤取四丁目 9-8 外
	478	おおとや 2 号公園	太白区大堀町 15-67
	479	金山 2 号公園	太白区三神峯二丁目 64-53
	480	鉤取字町公園	太白区鉤取本町一丁目 98-22
	481	土手内三丁目 2 号公園	太白区土手内三丁目 24-6
	482	横森 2 号公園	太白区金剛沢一丁目 31-50
	483	八木山弥生町 1 号公園	太白区八木山弥生町 9-30
	484	鉤取二丁目 3 号公園	太白区鉤取二丁目 226-46
	485	土手内二丁目公園	太白区土手内二丁目 78-44
	486	鉤取三丁目公園	太白区鉤取三丁目 62-33
	487	青山公園	太白区青山二丁目 36-23
	488	鉤取三丁目 2 号公園	太白区鉤取三丁目 87-7
	489	山田北前公園	太白区山田北前町 1010-23
	490	向山三丁目公園	太白区向山三丁目 13-143
	491	八木山弥生町 2 号公園	太白区八木山弥生町 9-10
	492	おおとや 3 号公園	太白区大堀町 9-53
	493	八木山南一丁目西公園	太白区八木山南一丁目 11-14
	494	鉤取三丁目 3 号公園	太白区鉤取三丁目 93-9
	495	西多賀四丁目公園	太白区西多賀四丁目 420-6 外

出典：自然公園法（自然公園）

自然環境保全法・宮城県自然環境保全条例（県自然環境保全地域・県緑地環境保全地域）

都市計画法（風致地区・都市公園）

広瀬川の清流を守る条例（環境保全区域）

仙台市公園・緑地等配置図（平成 21 年 4 月 1 日 仙台市）



表 6.1-103 自然との触れ合いの場 (14/17)

区分	番号	名称	所在地
都市公園	496	鉤取二丁目公園	太白区鉤取二丁目 39-4
	497	山田上ノ台町 2 号公園	太白区山田上ノ台町 59-3
	498	鉤取千本杉公園	太白区鉤取本町二丁目 31-39
	499	金剛沢一丁目公園	太白区金剛沢一丁目 34-96 外
	500	郡山源兵衛東公園	太白区郡山字源兵衛東 42-5 外
	501	鉤取二丁目 2 号公園	太白区鉤取二丁目 134-8
	502	泉崎二丁目公園	太白区泉崎二丁目 9
	503	恵和町公園	太白区恵和町 46-47
	504	おとや 4 号公園	太白区大壺町 23-6
	505	西の平二丁目公園	太白区西の平二丁目 2-153
	506	富田八幡東公園	太白区富田字八幡東 55-14
	507	富沢三丁目公園	太白区富沢三丁目 111-3
	508	鉤取三丁目 4 号公園	太白区鉤取三丁目 34-37
	509	金剛沢一丁目 2 号公園	太白区金剛沢一丁目 49-29
	510	青山二丁目 2 号公園	太白区青山二丁目 44-31
	511	長町南三丁目南公園	太白区長町南三丁目 29-1
	512	松ヶ丘公園	太白区松ヶ丘 1-1219 外
	513	金剛沢二丁目公園	太白区金剛沢二丁目 148-15
	514	金剛沢三丁目公園	太白区金剛沢三丁目 23-45 外
	515	西多賀四丁目 2 号公園	太白区西多賀四丁目 104-10
	516	鉤取三丁目 5 号公園	太白区鉤取三丁目 62-45 外
	517	金剛沢二丁目 2 号公園	太白区金剛沢二丁目 26-62 外
	518	緑ヶ丘一丁目公園	太白区緑ヶ丘一丁目 9-138 外
	519	泉崎一丁目公園	太白区泉崎一丁目 26
	520	鹿野三丁目公園	太白区鹿野三丁目 207-3
	521	金剛沢一丁目 3 号公園	太白区金剛沢一丁目 32-45
	522	金剛沢一丁目 4 号公園	太白区金剛沢一丁目 54-6
	523	山田上ノ台町 4 号公園	太白区山田上ノ台町 410-14 外
	524	越路 2 号公園	太白区長町字越路 19-1401 外
	525	八木山東一丁目公園	太白区八木山東一丁目 17-123
	526	郡山新橋南公園	太白区郡山字新橋南 5-4
	527	富沢二丁目公園	太白区富沢二丁目 206
	528	西の平二丁目 2 号公園	太白区西の平二丁目 2-270
	529	山田上ノ台町 5 号公園	太白区山田上ノ台町 305-18
	530	袋東 2 号公園	太白区大野田字袋東 1-15
	531	長町南三丁目北公園	太白区長町南三丁目 5-1
	532	西の平一丁目公園	太白区西の平一丁目 55-19
	533	大壺 5 号公園	太白区大壺町 28-24
	534	鹿野二丁目公園	太白区鹿野二丁目 68-4
	535	金剛沢三丁目 2 号公園	太白区金剛沢三丁目 23-62 外
	536	西の平一丁目 2 号公園	太白区西の平一丁目 46-70
	537	大壺 6 号公園	太白区大壺町 22-19
	538	郡山上野北公園	太白区郡山字上野 17-6
	539	郡山五丁目公園	太白区郡山五丁目 326-1
	540	鉤取三丁目 6 号公園	太白区鉤取三丁目 94-19 外
	541	青山一丁目東公園	太白区青山一丁目 61-124
	542	芦ノ口 2 号公園	太白区芦ノ口 13-26
	543	長町南四丁目北公園	太白区長町南四丁目 4
	544	八木山香澄町公園	太白区八木山香澄町 19-97
	545	西の平一丁目 3 号公園	太白区西の平一丁目 3-371
	546	西の平一丁目 4 号公園	太白区西の平一丁目 44-135
	547	八木山東一丁目 2 号公園	太白区八木山東一丁目 5-51
	548	土手内一丁目東公園	太白区土手内一丁目 17-52
	549	茂ヶ崎三丁目公園	太白区茂ヶ崎三丁目 48-11 外
	550	鉤取四丁目東公園	太白区鉤取四丁目 43-5

出典：自然公園法（自然公園）

自然環境保全法・宮城県自然環境保全条例（県自然環境保全地域・県緑地環境保全地域）

都市計画法（風致地区・都市公園）

広瀬川の清流を守る条例（環境保全区域）

仙台市公園・緑地等配置図（平成 21 年 4 月 1 日 仙台市）

表 6.1-104 自然との触れ合いの場 (15/17)

区分	番号	名称	所在地
都市公園	551	西多賀五丁目西公園	太白区西多賀五丁目 22-41
	552	向山一丁目公園	太白区向山一丁目 1-1 外
	553	郡山新橋南 2 号公園	太白区郡山字新橋南 17-18
	554	青山二丁目 3 号公園	太白区青山二丁目 40-94
	555	西の平二丁目 3 号公園	太白区西の平二丁目 1-291
	556	山田北前 3 号公園	太白区山田北前町 1034-3
	557	西の平一丁目 5 号公園	太白区西の平一丁目 3-333
	558	芦の口 3 号公園	太白区芦の口 3-103
	559	袋東 3 号公園	太白区大野田字袋東 14-18
	560	鉤取本町二丁目公園	太白区鉤取本町二丁目 29-8
	561	郡山新橋南 3 号公園	太白区郡山字新橋南 37-20
	562	鉤取三丁目 7 号公園	太白区鉤取三丁目 9-15
	563	金剛沢一丁目五号公園	太白区金剛沢一丁目 33-86
	564	鉤取本町二丁目東公園	太白区鉤取本町二丁目 1-28
	565	はたとや公園	太白区大堀町 2-1
	566	大谷地東公園	太白区大谷地 10-560
	567	鉤取四丁目西公園	太白区鉤取四丁目 16-47 外
	568	上野山一丁目東公園	太白区上野山一丁目 13-23
	569	長町南二丁目公園	太白区長町南二丁目 8-28 外
	570	西多賀三丁目南公園	太白区西多賀三丁目 441-6
	571	金剛沢一丁目西公園	太白区金剛沢一丁目 55-10
	572	鹿野本町東公園	太白区鹿野本町 39-5
	573	桜木町公園	太白区桜木町 19-924 外
	574	長町南一丁目公園	太白区長町南一丁目 188-5 外
	575	鉤取四丁目沢屋敷公園	太白区鉤取四丁目 205-14
	576	長町八丁目南公園	太白区長町八丁目 20-5
	577	郡山穴田東公園	太白区郡山字穴田東 13-7
	578	長町八丁目北公園	太白区長町八丁目 34-6 外
	579	鉤取本町二丁目南公園	太白区鉤取本町二丁目 26-29 外
	580	太子堂公園	太白区太子堂 2-28
	581	長町八丁目中公園	太白区長町八丁目 24-11
	582	鉤取四丁目北公園	太白区鉤取四丁目 211-21
	583	郡山五丁目南公園	太白区郡山五丁目 314-15
	584	長町八丁目西公園	太白区長町八丁目 1-14
	585	郡山三丁目公園	太白区郡山三丁目 22-17
	586	西多賀四丁目中公園	太白区西多賀四丁目 7-2
	587	郡山新橋北公園	太白区郡山字新橋北 8-14
	588	鉤取谷地田公園	太白区鉤取字谷地田 87
	589	門前町公園	太白区門前町 153-4
	590	向山三丁目西公園	太白区向山三丁目 11-56
	591	土手内一丁目南公園	太白区土手内一丁目 17-138
	592	長町副都心 1 号公園	太白区郡山二丁目 19 の部
	593	鉤取三丁目北公園	太白区鉤取三丁目 4-104
	594	長町二丁目公園	太白区長町二丁目 322-2 外
	595	金剛沢一丁目南東公園	太白区金剛沢一丁目 32-91
	596	西多賀四丁目東公園	太白区西多賀四丁目 402-8
	597	鉤取八幡公園	太白区鉤取一丁目 320-1 外
	598	福寿さくら公園	太白区鹿野一丁目 120-1 外
	599	西多賀三丁目北公園	太白区西多賀三丁目 135-26
	600	鉤取新田町中公園	太白区鉤取字新田町 26-42
	601	金剛沢二丁目 3 号公園	太白区金剛沢二丁目 26-128
	602	富沢公園	太白区富沢一丁目 2-2
	603	八本松公園	太白区八本松二丁目 1-64 外
	604	天沼公園	太白区三神峯二丁目 143 外
	605	広瀬川愛宕緑地	太白区越路地先

出典：自然公園法（自然公園）

自然環境保全法・宮城県自然環境保全条例（県自然環境保全地域・県緑地環境保全地域）

都市計画法（風致地区・都市公園）

広瀬川の清流を守る条例（環境保全区域）

仙台市公園・緑地等配置図（平成 21 年 4 月 1 日 仙台市）

表 6.1-105 自然との触れ合いの場 (16/17)

区分	番号	名称	所在地
都市公園	606	広瀬川八本松緑地	太白区八本松地先
	607	広瀬川飯田緑地	太白区飯田字河原 95-1 外
	608	大年寺山公園	太白区茂ヶ崎一丁目 12-1 外
	609	三神峯公園	太白区三神峯一丁目 1 外
	610	八木山公園	太白区八木山本町一丁目 43
	611	芦ノ口緑地	太白区八木山本町二丁目 39
	612	八木山南四丁目緑地	太白区八木山南四丁目 4-3
	613	緑ヶ丘 1 号緑地	太白区緑ヶ丘一丁目 6-28
	614	緑ヶ丘 2 号緑地	太白区緑ヶ丘一丁目 6-76 外
	615	緑ヶ丘 3 号緑地	太白区緑ヶ丘三丁目 40-13 外
	616	緑ヶ丘 4 号緑地	太白区緑ヶ丘三丁目 37-26 外
	617	大塙緑地	太白区大塙町 1-23 外
	618	八木山弥生町緑地	太白区八木山弥生町 1-216 外
	619	越路緑地	太白区長町字越路 19-1420 外
	620	金剛沢緑地	太白区八木山本町二丁目 42-1 外
	621	南光台一丁目公園	泉区南光台一丁目 158-444
	622	南光台南一丁目公園	泉区南光台南一丁目 1-349
	623	南光台南二丁目公園	泉区南光台南二丁目 1-350 外
	624	南光台南二丁目北公園	泉区南光台南二丁目 10-966
	625	南光台東一丁目南公園	泉区南光台東一丁目 35-453
	626	南光台東一丁目北公園	泉区南光台東一丁目 35-452
	627	黒松一丁目公園	泉区黒松一丁目 1-150
	628	黒松一丁目北公園	泉区黒松一丁目 1-824
	629	黒松二丁目東公園	泉区黒松二丁目 1-825
	630	南光台六丁目公園	泉区南光台六丁目 68-552
	631	南光台南三丁目南公園	泉区南光台南三丁目 10-870
	632	しらとり公園	泉区松森字明神 22-86
	633	南光台七丁目公園	泉区南光台七丁目 1-230
	634	前田公園	泉区松森字前田 58-23 外
	635	前田北公園	泉区松森字前田 45-12
	636	斉兵衛公園	泉区松森字斉兵衛 62 外
	637	明神南公園	泉区松森字明神 32-17
	638	八沢公園	泉区松森字八沢 26-8 外
	639	南光台六丁目西公園	泉区南光台六丁目 68-553
	640	南光台七丁目北公園	泉区南光台七丁目 1-108
	641	南光台東一丁目公園	泉区南光台東一丁目 1-229
	642	南光台東二丁目南公園	泉区南光台東二丁目 5-209
	643	南光台七丁目南公園	泉区南光台七丁目 1-228
	644	南光台南三丁目公園	泉区南光台南三丁目 35-454
	645	長岫公園	泉区南光台東三丁目 10
	646	南光台東二丁目公園	泉区南光台東二丁目 43
	647	斎兵衛東公園	泉区松森字斎兵衛 58-46 外
	648	陣ヶ原東公園	泉区松森字陣ヶ原 11-10
	649	南光台東二丁目東公園	泉区南光台東二丁目 27-127
	650	明神東公園	泉区松森字明神 26-7
	651	松森陣ヶ森公園	泉区松森字陣ヶ原 31-43
	652	松森前ヶ沢公園	泉区松森字明神 41-53 外
	653	松森明神公園	泉区松森明神 35-9
	654	松森前ヶ沢東公園	泉区松森字明神 39-12
	655	陣ヶ原南公園	泉区松森字陣ヶ原 23-33
	656	南光台一丁目南公園	泉区南光台一丁目 156-11
	657	陣ヶ原中央公園	泉区松森字陣ヶ原 29-11 外
	658	陣ヶ原西公園	泉区松森字陣ヶ原 55-6
	659	明神公園	泉区松森字明神 30-23
	660	南光台二丁目北公園	泉区南光台二丁目 68-584

出典：自然公園法（自然公園）

自然環境保全法・宮城県自然環境保全条例（県自然環境保全地域・県緑地環境保全地域）

都市計画法（風致地区・都市公園）

広瀬川の清流を守る条例（環境保全区域）

仙台市公園・緑地等配置図（平成 21 年 4 月 1 日 仙台市）

表 6.1-106 自然との触れ合いの場（17/17）

区分	番号	名称	所在地
都市公園	661	明神中公園	泉区松森字明神 27-16
	662	南光台五丁目公園	泉区南光台五丁目 86-662
	663	新田八沢公園	泉区松森字新田 209
	664	南光台四丁目公園	泉区旭丘堤一丁目 11-3
	665	南光台三丁目公園	泉区南光台三丁目 1 地内
	666	真美沢公園	泉区旭ヶ丘堤二丁目 1-590
	667	水の森公園	泉区上谷刈字赤坂 4 の一部
	668	黒松一丁目緑地	泉区黒松一丁目 1-916
	669	松森前ヶ沢緑地	泉区松森字前ヶ沢 2-48 外
	670	南光台二丁目緑地	泉区南光台二丁目 141-218 外

出典：自然公園法（自然公園）

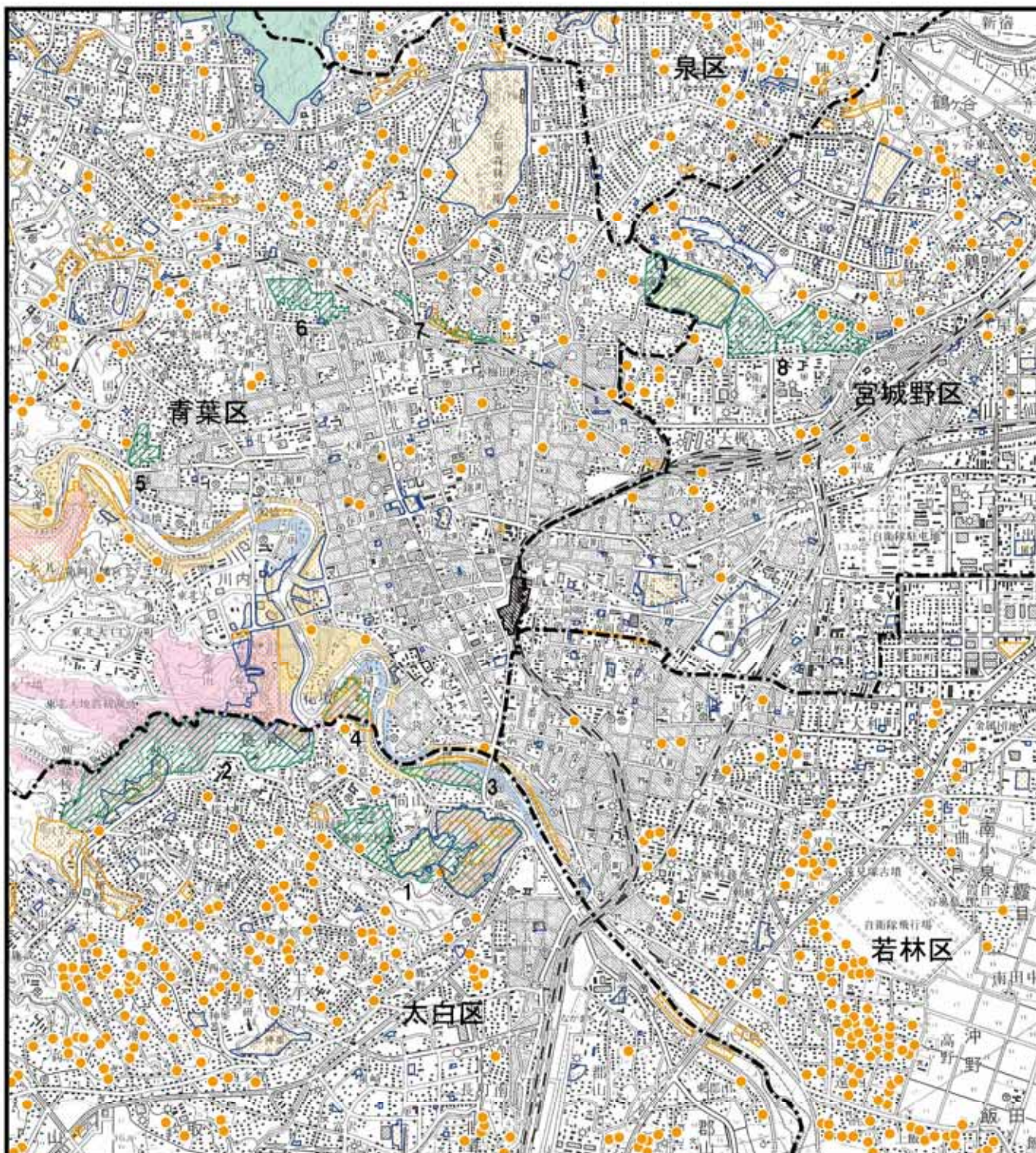
自然環境保全法・宮城県自然環境保全条例（県自然環境保全地域・県緑地環境保全地域）

都市計画法（風致地区・都市公園）

広瀬川の清流を守る条例（環境保全区域）

仙台市公園・緑地等配置図（平成 21 年 4 月 1 日 仙台市）





# 凡 例

対象事業計画地

区境界線

風致地区(1~8)

都市計画公園

都市公園

緑地環境保全地域  
(宮城県自然環境保全条例)

広瀬川の清流を守る条例

特別環境保全区域

第一種環境保全区域

第二種環境保全区域



S=1:50,000

0 500 1000 2000m

図 6.1-31

自然との触れ合いの場の分布

出典:自然公園法/自然環境保全法/宮城県自然環境保全条例/都市計画法/  
広瀬川の清流を守る条例/仙台市公園・緑地等配置図



法令に基づく地域指定はされていないものの主要な自然との触れ合いの場としては、表 6.1-107、表 6.1-108及び図 6.1-32に示すとおりであり、大崎八幡宮や榴岡天満宮等の寺社、青葉山公園や西公園等の公園、北目町通や青葉通等の街路等、51箇所があげられる。

表 6.1-107 自然との触れ合いの場（非地域指定）（1/2）

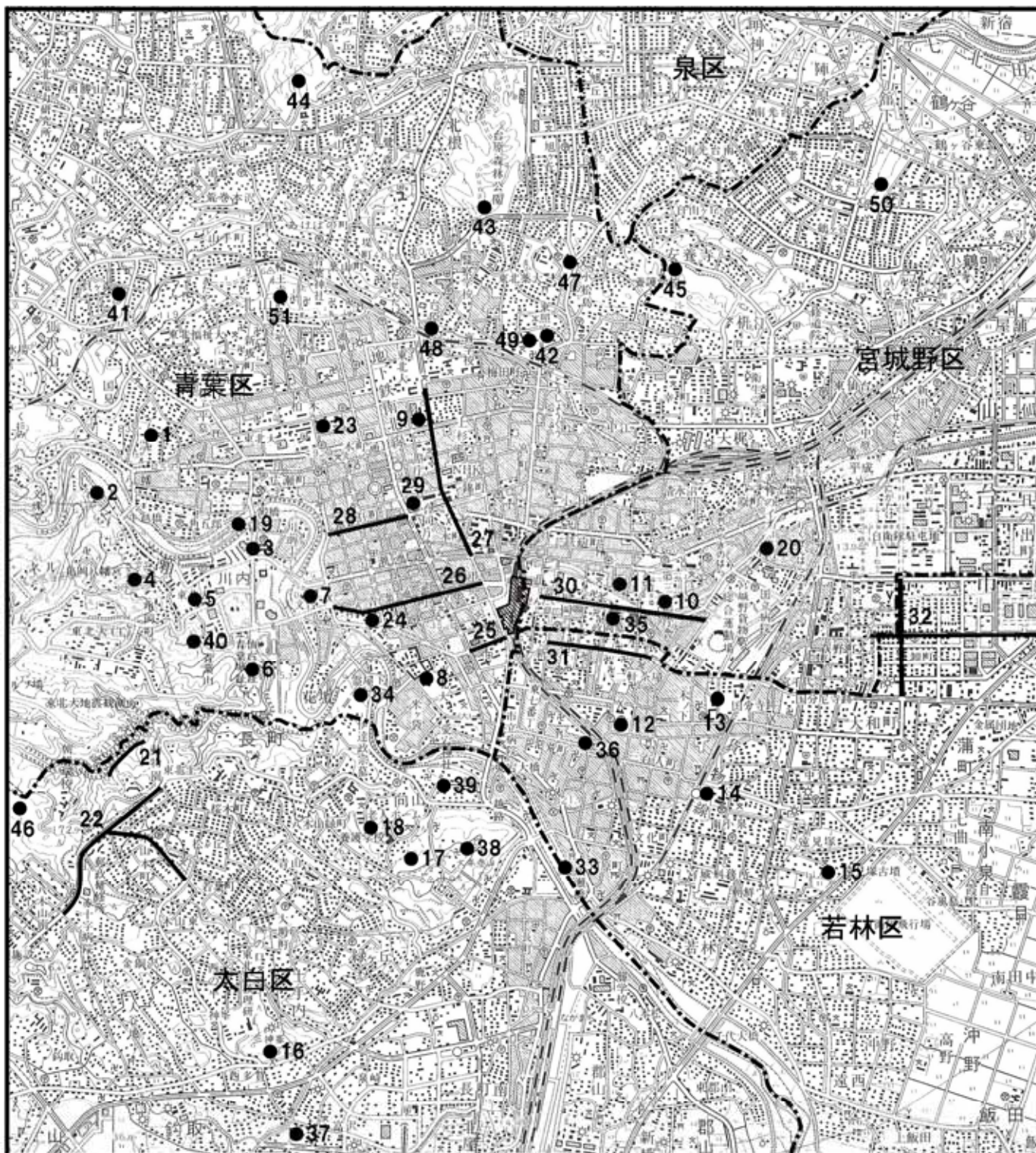
No.	名 称	所 在 地
1	大崎八幡宮	青葉区八幡四丁目
2	三居沢	青葉区荒巻字三居沢付近
3	宮城県美術館・仙台二高周辺	青葉区川内元支倉付近
4	亀岡八幡宮	青葉区川内亀岡 62
5	東北大学川内キャンパス	青葉区川内
6	青葉山公園	青葉区川内
7	西公園	青葉区桜ヶ岡公園
8	東北大学片平キャンパス	青葉区片平二丁目 1-1
9	勝山公園	青葉区上杉二丁目
10	榴岡公園	宮城野区五輪一丁目
11	榴岡天満宮	宮城野区榴ヶ岡 23
12	仙台一高のサクラ	若林区元茶畑 4
13	薬師堂周辺（薬師堂、木ノ下公園）	若林区木ノ下
14	若林区役所周辺	若林区保春院前丁,南小泉一丁目付近
15	遠見塚小学校周辺 （遠見塚小学校校門から遠見塚古墳）	若林区遠見塚一丁目付近
16	三神峯公園	太白区三神峯一丁目
17	野草園	太白区茂ヶ崎二丁目 1-1
18	宮城県中央児童館周辺	太白区向山三丁目
19	広瀬川中流域(牛越橋付近～大橋付近)	青葉区川内付近
20	苦竹のイチョウ(国立仙台病院東側)	宮城野区銀杏町
21	竜の口溪谷	太白区長町字越路～青葉区荒巻字青葉
22	八木山本町周辺「ケヤキ並木」、金剛沢緑地界隈	太白区八木山本町一丁目～二丁目,金剛沢
23	北六番丁公園（六幽庵庭園）	青葉区木町通二丁目 4-51
24	良覚院丁公園（緑水庵庭園）	青葉区片平一丁目 2-5
25	北目町通(ユリノキ並木)	青葉区北目町から中央四丁目
26	青葉通(ケヤキ並木)	青葉区中央一丁目から大町二丁目
27	愛宕上杉通(イチョウ並木)	青葉区本町一丁目から二丁目
28	定禅寺通(ケヤキ並木)	青葉区国分町二丁目付近
29	勾当台公園周辺(勾当台公園,勾当台通,外記丁線)	青葉区本町三丁目
30	宮城野通周辺(宮城野通「ケヤキ並木」,公開空地)	宮城野区榴岡四丁目
31	新寺界限(新寺小路緑道,松音寺,正楽寺, 光寿院,道仁寺,栽松院等)	若林区新寺・連坊・宮城野区榴岡
32	卸町通(ケヤキ並木)	若林区卸町
33	広瀬川下流域（宮沢橋～千代大橋下流付近）	若林区堰場付近から若林区若林七丁目付近
34	経ヶ峯（瑞鳳殿周辺）	青葉区霊屋下
35	三沢初子の墓等	宮城野区榴岡五丁目
36	三宝大荒神のイチョウ	若林区南鍛冶町 41-1
37	多賀神社	太白区富沢三丁目 15-1
38	大年寺山	太白区茂ヶ崎
39	愛宕山界限	太白区向山四丁目
40	東北大学植物園	青葉区川内 12-2
41	貝ヶ森中央公園	青葉区貝ヶ森一丁目
42	東照宮周辺	青葉区東照宮一丁目

出典：「杜の都・仙台 わがまち緑の名所 100 選ガイドブック」(平成 14 年 3 月 仙台市)




表 6.1-108 自然との触れ合いの場（非地域指定）(2/2)

No.	名 称	所 在 地
43	台原森林公園	青葉区台原森林公園
44	水の森公園	青葉区水の森四丁目他
45	与兵衛沼・大堤公園周辺	宮城野区蟹沢，安養寺付近
46	金剛沢国有林	太白区八木山南一丁目北隣
47	小松島公園周辺	青葉区小松島四丁目
48	台原緑地	青葉区台原一丁目，六丁目
49	とちのき公園	青葉区東照宮一丁目
50	鶴ヶ谷中央公園周辺	宮城野区鶴ヶ谷六丁目
51	北山界限 (輪王寺，資福寺，覚範寺，東昌寺，光明寺)	青葉区北山界限

出典：「杜の都・仙台 わがまち緑の名所 100 選ガイドブック」(平成 14 年 3 月 仙台市)



#### 凡 例

-  : 対象事業計画地
-  : 区境界線
-  : 自然との触れ合いの場



S=1:50,000

0 500 1000 2000m

図 6.1-32

自然との触れ合いの場の分布  
(法令に基づく指定を受けていない地区)

出典：「杜の都・仙台 わがまち緑の名所100選ガイドブック」(平成14年3月 仙台市)



イ．その他事業の立地上配慮を要する自然との触れ合いの場

名取川直轄総合水系環境整備事業

東北地方整備局が実施している「名取川直轄総合水系環境整備事業」では，名取川の河川環境を活用し，都市部において自然豊かな水辺空間を地域住民へ提供するため，親水性・景観性に優れた水辺環境の整備を行っている。

調査範囲内で実施されている事業概要は表 6.1-109に示すとおりである。

表 6.1-109 名取川直轄総合水系環境整備事業の概要

実施地区 / 事業内容	事業期間	事業概要
広瀬川地区 水辺の楽校	平成 10 年度 ～ 11 年度	緩傾斜堤防，アクセス施設整備（階段・スロープ），高水敷整正を行うことにより，自然環境学習のフィールドとして親水性，利活用性に配慮した環境整備を実施。
広瀬川地区 水環境整備	平成 12 年度 ～ 15 年度	導水施設（取水ポンプ場）・流量観測施設の設置を行うことにより，名取川より水を導水し，広瀬川および旧笹川の水量を確保する施設整備を実施。
笹川地区 利用推進	平成 16 年度 ～ 20 年度	都市景観に配慮した緑化護岸・アクセス施設整備（階段・スロープ）・散策路整備を行うことにより，水辺を活かしたまちづくりの支援を実施。
広瀬川地区 利用促進	平成 17 年度 ～ 21 年度	親水護岸の整備・アクセス施設整備（階段・スロープ）を行うことにより，ユニバーサルデザインを目指した安全でスムーズに水辺に近づく施設整備を推進し，弱者に対する積極的な支援を実施。

(3) 文化財

指定文化財等の状況

調査範囲における指定文化財等のうち、建造物、史跡及び天然記念物の分布状況は、表 6.1-110～表 6.1-114及び図 6.1-33に示すとおりである。

調査範囲には、文化財として、国指定の陸奥国分寺薬師堂、県指定の白山神社本殿等がある。天然記念物としては、国指定の「苦竹のイチョウ」「朝鮮ウメ」「青葉山」「東昌寺のマルミガヤ」及び市指定の「霊屋下セコイヤ類化石林」「仙台城二の丸跡南西境の杉並木（部分）」がある。

事業予定地周辺では、図 6.1-33に示したとおり、主に予定地の東側～南側に文化財が多く存在している。

なお、事業予定地内には指定文化財・登録文化財は存在しない。

表 6.1-110 指定文化財の状況(国指定文化財)(1/5)

国指定文化財					
No.	名称	員数	所在地	所有者(管理者)	指定年月日
有形文化財(建造物)					
1	国宝 大崎八幡宮 本殿 石の間 拝殿 附 棟札 1 枚	1 棟	青葉区八幡四丁目 6-1	大崎八幡宮	M.36.4.15
2	大崎八幡宮長床	1 棟	青葉区八幡四丁目 6-1	大崎八幡宮	S.41.6.11
3	陸奥国分寺薬師堂 附 厨子 1 基・棟札 1 枚	1 棟	若林区木ノ下三丁目 8-1	陸奥国分寺	M.36.4.15
4	東照宮本殿・唐門・透塀・ 鳥居・隨身門 附 厨子 1 基・棟札 1 枚・ 石灯籠 34 基	5 棟	青葉区東照宮一丁目 6-1	東照宮	S.28.3.31
史跡					
5	陸奥国分寺跡		若林区木ノ下二丁目・三丁目	仙台市	T.11.10.12
6	陸奥国分尼寺跡		若林区白萩町	仙台市	S.23.12.18
7	遠見塚古墳		若林区遠見塚一丁目ほか	仙台市	S.43.11.8
8	仙台城跡		青葉区荒巻字青葉無番地ほか	国・仙台市・ 東北大学(仙台市)	H.15.8.27
9	仙台郡山官衙遺跡群 郡山官衙遺跡 郡山廃寺跡		太白区郡山二丁目・三丁目 五丁目・六丁目	国・仙台市ほか	H.18.7.28
10	林子平墓		青葉区子平町 19-5	仙台市	S.17.7.21
天然記念物					
11	苦竹のイチョウ		宮城野区銀杏町	個人(仙台市)	T.15.10.20
12	朝鮮ウメ		若林区古城二丁目	国(宮城刑務所)	S.17.9.19
13	青葉山		青葉区荒巻字青葉 12 番地の内	東北大学	S.47.7.11
14	東昌寺のマルミガヤ		青葉区青葉町8-1	東昌寺	H.7.3.20

出典：「仙台市の文化財(指定文化財及び登録文化財)の種類と数」(平成 20 年 5 月 仙台市教育委員会)  
<http://www.city.sendai.jp/kyouiku/bunkazai/ichiran/index.html>

表 6.1-111 指定文化財の状況(県指定文化財)(2/5)

県指定文化財					
No.	名称	員数	所在地	所有者(管理者)	指定年月日
有形文化財(建造物)					
15	白山神社本殿	1 棟	若林区木ノ下三丁目 9-1	白山神社	S.30.3.25
16	大崎八幡宮石鳥居	1 基	青葉区八幡四丁目 6-1	大崎八幡宮	S.45.10.30
17	亀岡八幡宮石鳥居 附 鳥居額	1 基	青葉区川内亀岡町 62	亀岡八幡宮	S.45.10.30
18	宮城県知事公館正門 (旧仙台城門)	1 棟	青葉区広瀬町 5-43	宮城県	S.46.11.9
19	陸奥国分寺薬師堂仁王門	1 棟	若林区木ノ下三丁目 8-1	陸奥国分寺	S.50.4.30
20	東照宮手水舎 附 花崗岩造水盤	1 棟	青葉区東照宮一丁目6-1	東照宮	S.39.9.4

表 6.1-112 指定文化財の状況(市指定文化財)(3/5)

市指定文化財					
No.	名称	員数	所在地	所有者(管理者)	指定年月日
有形文化財(建造物)					
21	旧第四連隊兵舎	1 棟	宮城野区五輪一丁目 3-7	仙台市	S.53.6.16
22	大年寺惣門	1 棟	太白区茂ヶ崎四丁目	(仙台市)	S.60.9.4
23	成覚寺山門 (旧浄眼院殿霊屋門)	1 棟	若林区新寺三丁目 10-12	成覚寺	S.61.12.20
24	大満寺虚空蔵堂 附 厨子 1 基	1 棟	太白区向山四丁目 17-1	大満寺	S.62.3.30
25	泰心院山門 (旧仙台藩藩校養賢堂正門)	1 棟	若林区南鍛冶町 100	泰心院	S.62.3.30
26	愛宕神社本殿・拝殿 附 棟札 3 枚	2 棟	太白区向山四丁目 17-1	愛宕神社	H.8.1.30
27	毘沙門堂唐門	1 棟	若林区荒町 206 番地	満福寺	H.8.1.30
28	旧姉齒家茶室(残月亭) 附 扁額「残月亭」1 面	1 棟	青葉区川内三の丸跡	仙台市	H.9.7.1
29	善応寺開山堂	1 棟	宮城野区燕沢二丁目 3-1	善応寺	S.43.2.15
30	荘厳寺山門	1 棟	青葉区新坂町 12-1	荘厳寺	S.61.12.20
31	輪王寺山門	1 棟	青葉区北山一丁目 6 番街区	輪王寺	S.61.12.20
32	大願寺山門 (旧万寿院殿霊屋門)	1 棟	青葉区新坂町 7-1	大願寺	S.62.3.30
史跡					
33	三沢初子の墓等		宮城野区榴岡五丁目 4	仙台市	S.47.2.1
34	刀工本郷国包各代の墓所		若林区新寺二丁目 7-33	善導寺	S.55.10.20
35	経ヶ峯伊達家墓所		青葉区霊屋下	仙台市ほか	S.59.7.21
36	善応寺横穴古墳群		宮城野区燕沢二丁目	善応寺	S.43.2.15
37	松森焔硝蔵跡		泉区南光台東二丁目 35-8	仙台市	S.62.5.1
天然記念物					
38	霊屋下セコイヤ類化石林		青葉区米ヶ袋一丁目, 三丁目, 霊屋下	宮城県	S.48.8.6
39	仙台城二の丸跡南西境の 杉並木(部分)	13 本	青葉区川内 12-2	東北大学	H.18.12.5

出典:「仙台市の文化財(指定文化財及び登録文化財)の種類と数」(平成 20 年 5 月 仙台市教育委員会)  
<http://www.city.sendai.jp/kyouiku/bunkazai/ichiran/index.html>

表 6.1-113 登録文化財の状況(国登録文化財)(4/5)

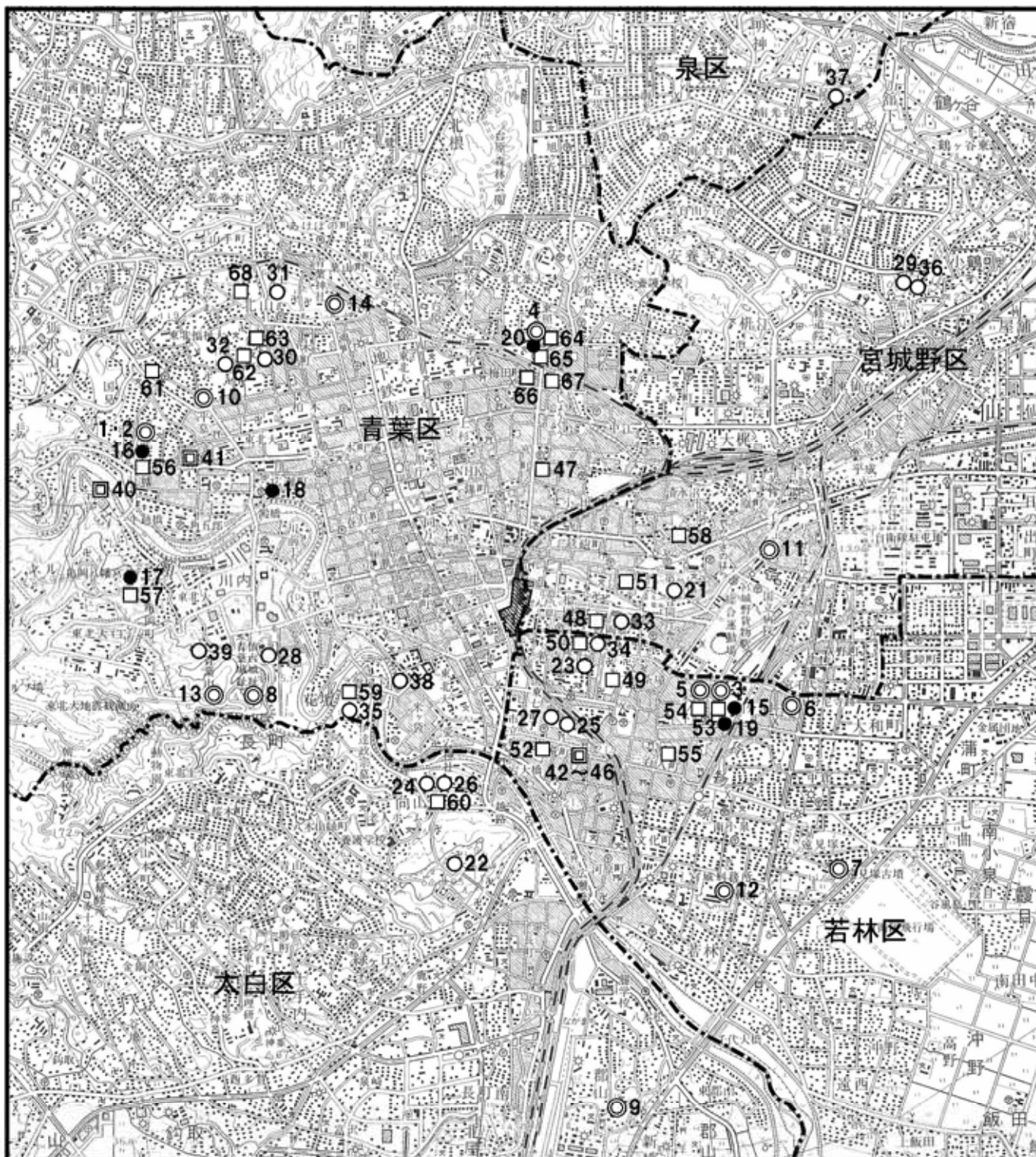
国登録文化財					
No.	名称	員数	所在地	所有者(管理者)	指定年月日
有形文化財(建造物)					
40	三居沢発電所	1 棟	青葉区荒巻三居沢 16	東北電力株式会社 宮城支店	H.11.9.7
41	庄子屋醤油店店舗及び住宅	1 棟	青葉区八幡	個人	H.12.12.20
42	門間筆笥店主屋	1 棟	若林区南鍛冶町 143	(株)門間筆笥店	H.14.3.12
43	門間筆笥店板倉	1 棟	若林区南鍛冶町 143	(株)門間筆笥店	H.14.3.12
44	門間筆笥店稲荷社	1 棟	若林区南鍛冶町 143	(株)門間筆笥店	H.14.3.12
45	門間筆笥店指物工房	1 棟	若林区南鍛冶町 143	(株)門間筆笥店	H.14.3.12
46	門間筆笥店塗り工房	1 棟	若林区南鍛冶町 143	(株)門間筆笥店	H.14.3.12

表 6.1-114 登録文化財の状況(市登録文化財)(5/5)








市登録文化財					
No.	名称	員数	所在地	所有者(管理者)	指定年月日
有形文化財(建造物)					
47	安藤家住宅	1 棟	青葉区宮町	個人	H.7.9.5
48	釈迦堂	1 棟	宮城野区榴岡四丁目 11-11	孝勝寺	H.7.9.5
49	松音寺山門	1 棟	若林区新寺四丁目 6-28	松音寺	H.7.9.5
50	正楽寺本堂・山門	2 棟	若林区新寺二丁目 6-35	正楽寺	H.7.9.5
51	榴岡天満宮唐門	1 棟	宮城野区榴岡 23	榴岡天満宮	H.7.9.5
52	仏眼寺本堂	1 棟	若林区荒町 35	仏眼寺	H.7.9.5
53	陸奥国分寺鐘楼	1 棟	若林区木ノ下三丁目 8	陸奥国分寺	H.7.9.5
54	陸奥国分寺准胝観音堂	1 棟	若林区木ノ下二丁目 4	陸奥国分寺	H.7.9.5
55	冷源寺山門	1 棟	若林区成田町 125	冷源寺	H.7.9.5
56	大崎八幡宮石段	1 基	青葉区八幡四丁目 6-1	大崎八幡宮	H.7.9.5
57	亀岡八幡宮石段	1 基	青葉区川内亀岡町 62	亀岡八幡宮	H.7.9.5
58	善入院観音堂	1 棟	宮城野区原町一丁目 1-67	善入院	H.8.3.5
59	瑞鳳寺高尾門	1 棟	青葉区霊屋下 23-5	瑞鳳寺	H.8.3.5
60	愛宕神社神門	1 棟	太白区向山四丁目 17-1	愛宕神社	H.8.3.5
61	壽徳寺山門	1 棟	青葉区国見一丁目 15-1	壽徳寺	H.7.9.5
62	稱念寺本堂	1 棟	青葉区新坂町 10-3	稱念寺	H.7.9.5
63	昌繁寺山門、観音堂	2 棟	青葉区新坂町 13-1	昌繁寺	H.7.9.5
64	東照宮石段	2 基	青葉区東照宮一丁目 6-1	東照宮	H.7.9.5
65	仙岳院本堂	1 棟	青葉区東照宮一丁目 1-16	仙岳院	H.8.3.5
66	清浄光院本堂	1 棟	青葉区宮町五丁目 1-11	清浄光院	H.8.3.5
67	延寿院本堂・地蔵堂	2 棟	青葉区宮町五丁目 6-18	延寿院	H.8.3.5
68	北山羽黒神社境内社	1 棟	青葉区北山二丁目 8-15	羽黒神社	H.8.3.5

出典：「仙台市の文化財(指定文化財及び登録文化財)の種類と数」(平成 20 年 5 月 仙台市教育委員会)  
<http://www.city.sendai.jp/kyouiku/bunkazai/ichiran/index.html>





# 凡 例

-  : 対象事業計画地
-  : 区境界線
-  : 国指定文化財(1～14)
-  : 県指定文化財(15～20)
-  : 市指定文化財(21～39)
-  : 国登録文化財(40～46)
-  : 市登録文化財(47～68)

出典:「仙台市の文化財(指定文化財及び登録文化財)の種類と数」  
(平成20年5月 仙台市教育委員会)

<http://www.city.sendai.jp/kyouiku/bunkazai/ichiran/index.html>

※ただし、所有者が個人の場合は図示しないこととした。



S=1:50,000

0 500 1000 2000m

図 6.1-33  
文化財の分布状況

(4) 埋蔵文化財包蔵地(遺跡)の状況

ア．遺跡の状況

調査範囲における埋蔵文化財包蔵地(遺跡)の状況は、表 6.1-115、表 6.1-116及び図 6.1-34に示すとおりである。

なお、事業予定地内には埋蔵文化財は存在しない。

表 6.1-115 埋蔵文化財包蔵地(遺跡)の状況(1/2)

No.	名称	所在地
太白区		
1	愛宕山横穴墓群	向山四丁目
2	泉崎浦遺跡	泉崎一丁目地内
3	裏町古墳	西多賀一丁目
4	兜塚古墳	根岸町
5	北目城跡	郡山字館ノ内 ほか
6	教塚古墳	泉崎一丁目
7	郡山遺跡	郡山二～六丁目
8	下ノ内浦遺跡	長町南4丁目地内
9	砂押古墳	砂押町
10	宗禅寺横穴墓群	根岸町
11	土手内遺跡	土手内1丁目
12	富沢遺跡	富沢，泉崎，長町南 ほか
13	富沢窯跡	三神峯一丁目
14	長町駅東遺跡	長町6丁目
15	西台畑遺跡	郡山二丁目
16	原遺跡	西多賀三丁目
17	三神峯遺跡	三神峯一丁目

出典：「仙台市の遺跡」(平成20年9月 仙台市文化財課)

<http://www.city.sendai.jp/kyouiku/bunkazai/iseki/00000010.html>

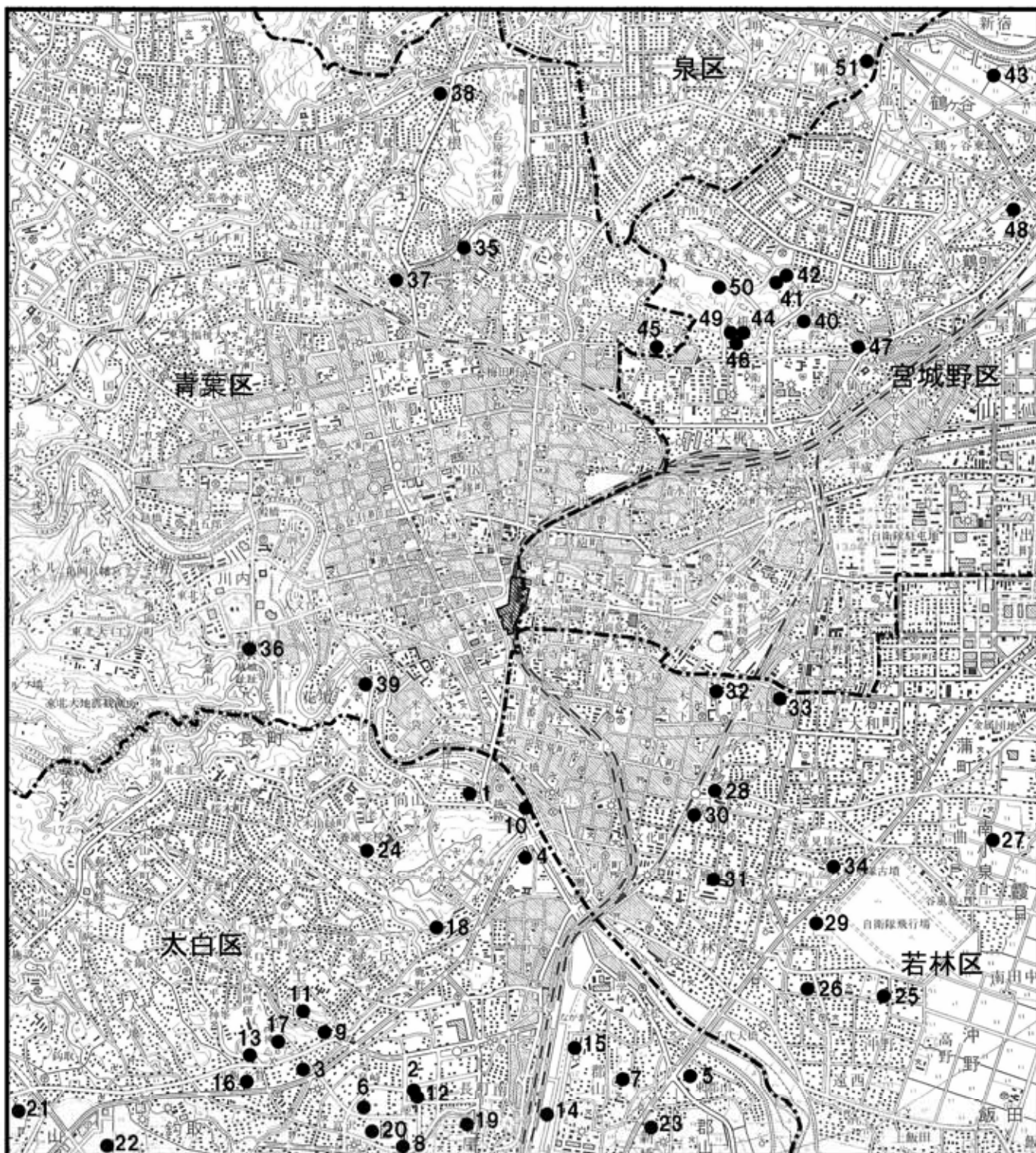
表 6.1-116 埋蔵文化財包蔵地(遺跡)の状況(2/2)

No.	名称	所在地
太白区		
18	茂ヶ崎横穴墓群	二ツ沢
19	元袋遺跡	大野田字元袋，袋東地内
20	山口遺跡	富沢一丁目 ほか
21	山田上ノ台遺跡	太白区山田上ノ台町
22	山田条里遺跡	鉤取字東根添，山田字田中前 ほか
23	矢来遺跡	郡山字新橋北
24	八木山緑町遺跡	八木山緑町
若林区		
25	沖野城跡	沖野七丁目
26	神柵遺跡	沖野二丁目
27	仙台東郊条里跡	蒲町
28	法領塚古墳	一本杉町
29	南小泉遺跡	南小泉，遠見塚，古城 ほか
30	養種園遺跡	南小泉一丁目
31	若林城跡	古城二丁目
32	陸奥国分寺跡	木ノ下 2 丁目，3 丁目
33	陸奥国分尼寺跡	白萩町
34	遠見塚古墳	遠見塚 1 丁目 ほか
青葉区		
35	五本松窯跡	青葉区台原森林公園ほか
36	仙台城跡	川内・荒巻字青葉
37	堤町窯跡 B 地点	青葉区堤町 2 丁目ほか
38	新妻家墓地	青葉区北根四丁目
39	経ヶ峯	霊屋下
宮城野区		
40	安養寺下窯跡	宮城野区東仙台六丁目
41	安養寺中囲窯跡	宮城野区安養寺三丁目
42	安養寺配水場前窯跡	宮城野区安養寺三丁目
43	岩切畑中遺跡	宮城野区岩切字稻荷西
44	神明社窯跡 A 地区	宮城野区柊江
45	庚申前窯跡	宮城野区二の森
46	神明社窯跡	宮城野区柊江
47	大蓮寺窯跡	宮城野区東仙台六丁目
48	燕沢遺跡	宮城野区燕沢東 3 丁目ほか
49	柊江遺跡	宮城野区柊江
50	与兵衛沼窯跡	宮城野区小松島新堤ほか
泉区		
51	長岫遺跡	泉区南光台東二丁目




出典：「仙台市の遺跡」(平成 20 年 9 月 仙台市文化財課)

<http://www.city.sendai.jp/kyouiku/bunkazai/iseki/00000010.html>





凡 例

-  : 対象事業計画地
-  : 区境界線
-  : 埋蔵文化財包蔵地(遺跡)(1~51)



S=1:50,000

0 500 1000 2000m

図 6.1-34

埋蔵文化財包蔵地(遺跡)の状況

出典:「仙台市の遺跡」(平成20年9月 仙台市文化財課)  
<http://www.city.sendai.jp/kyouiku/bunkazai/iseki/00000010.html>



#### 6.1.6 その他

##### (1) 電波障害

###### ア．電波障害の状況

計画地は平坦な仙台市街地に位置しており、周辺には既に多くの中高層の建築物が立地している地域である。電波障害に関する苦情について仙台市都市整備局建築指導課に問い合わせたところ、該当する統計は行っていなかった。

##### (2) 日照障害

###### ア．日照障害の状況

計画地は平坦な仙台市街地に位置しており、周辺には既に多くの中高層の建築物が立地している地域である。日照障害に関する苦情について仙台市都市整備局建築指導課に問い合わせたところ、該当する統計は行っていなかった。

##### (3) 風害

###### ア．風害の状況

計画地は平坦な仙台市街地に位置しており、周辺には既に多くの中高層の建築物が立地している地域である。風害に関する苦情について仙台市都市整備局建築指導課に問い合わせたところ、該当する統計は行っていなかった。